

第17回 都城市市民意識調査

調査結果報告書

令和5年 11月

総合政策部 秘書広報課

目次

第1章 調査の概要	1
第2章 調査結果の分析	
1 回答者の属性について	2
2 市の取り組みについて	3
3 住みやすさについて	13
4 国際交流について	18
5 男女共同参画について	20
6 環境問題について	21
7 エコ活動について	23
8 郷土料理について	24
9 地場産品やふるさと納税などについて	25
10 中心市街地中核施設「Mallmall(まるまる)」について	26
11 都城志布志道路について	28
12 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の利用について	29
13 Web口座振替について	30
14 市の対外的PRについて	31
15 スポーツについて	32
16 健康づくりについて	33
17 心の健康について	35
18 福祉の充実について	36
19 社会保障について	37
20 子育てについて	38
21 都城教育の日について	39
22 家庭の日について	40
23 市議会活動について	42
24 各設問の「その他」の意見	別冊
第3章 資料	
1 全体集計	43
2 アンケート調査票	55

第1章 調査の概要

1 調査目的

- (1) 市民の意識を把握し、市政運営の基礎資料とする。
- (2) 市政に対する市民の関心と理解を深める。

2 調査方法

郵送自書式 もしくは Web回答方式

3 調査期間

令和5年6月12日(月)から令和5年7月14日(金)まで

4 調査対象

令和5年4月30日時点で都城市在住の満18歳以上の男女 3,000人（住民基本台帳より無作為抽出とした）

5 回答結果

1,212人（回答率 40.4%）
※7月31日到着分までを有効回答として分析した。

6 調査内容

- | | | |
|-----------------|--------------|------------|
| (1) 市の取り組み | (11) SNSの利用 | (21) 家庭の日 |
| (2) 住みやすさ | (12) Web口座振替 | (22) 市議会活動 |
| (3) 国際交流 | (13) 市の対外的PR | |
| (4) 男女共同参画 | (14) スポーツ | |
| (5) 環境問題 | (15) 健康づくり | |
| (6) エコ活動 | (16) 心の健康 | |
| (7) 郷土料理 | (17) 福祉の充実 | |
| (8) 地場産品やふるさと納税 | (18) 社会保障 | |
| (9) 中心市街地中核施設 | (19) 子育て | |
| (10) 都城志布志道路 | (20) 都城教育の日 | |

7 集計方法

階層別集計及びクロス集計

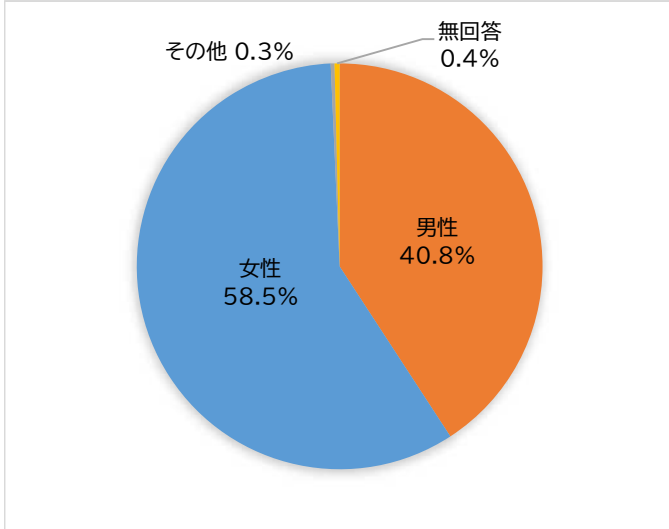
8 数値の端数処理方法

回答比率は、少数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。

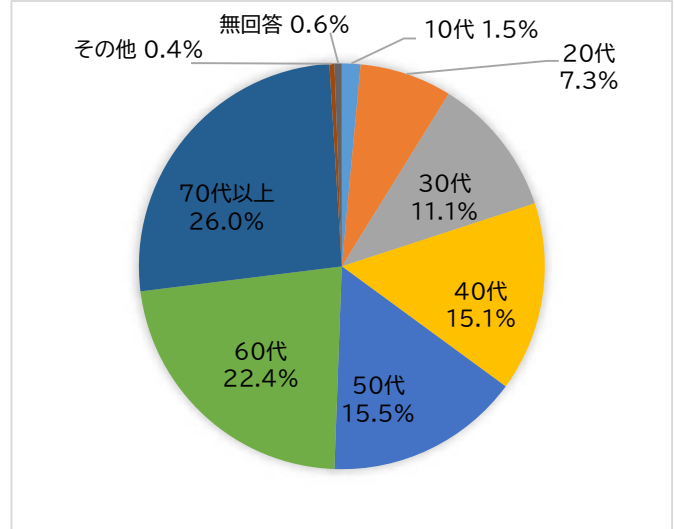
第2章 調査結果の分析

1 回答者の属性

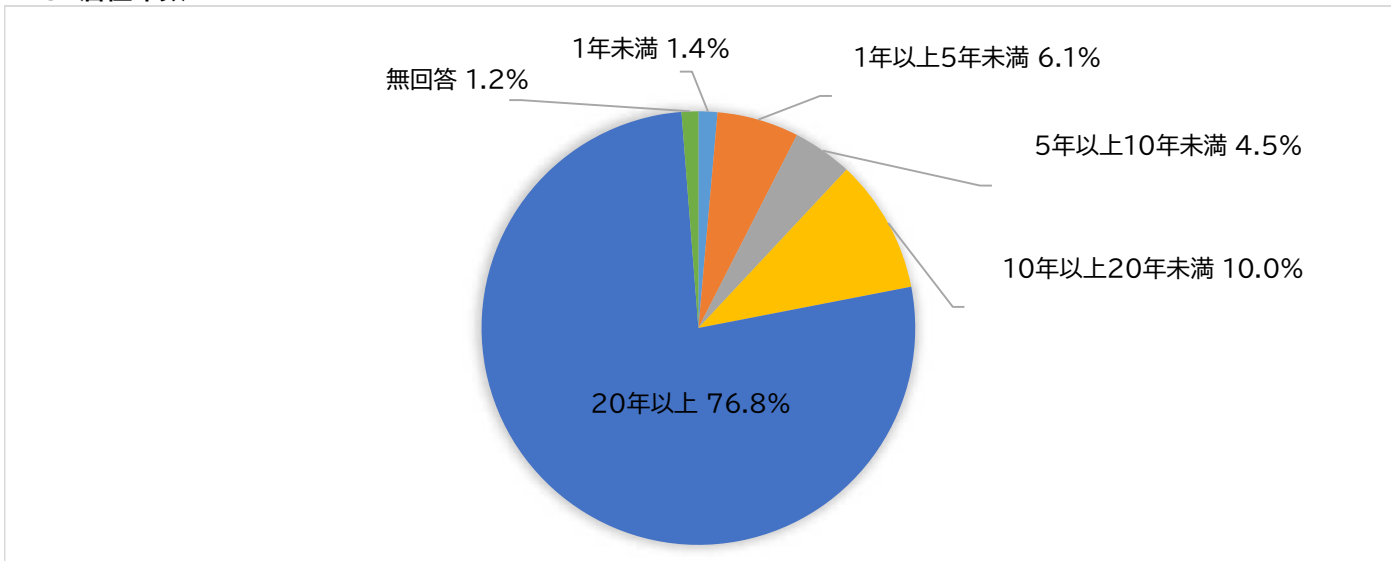
1-1 性別



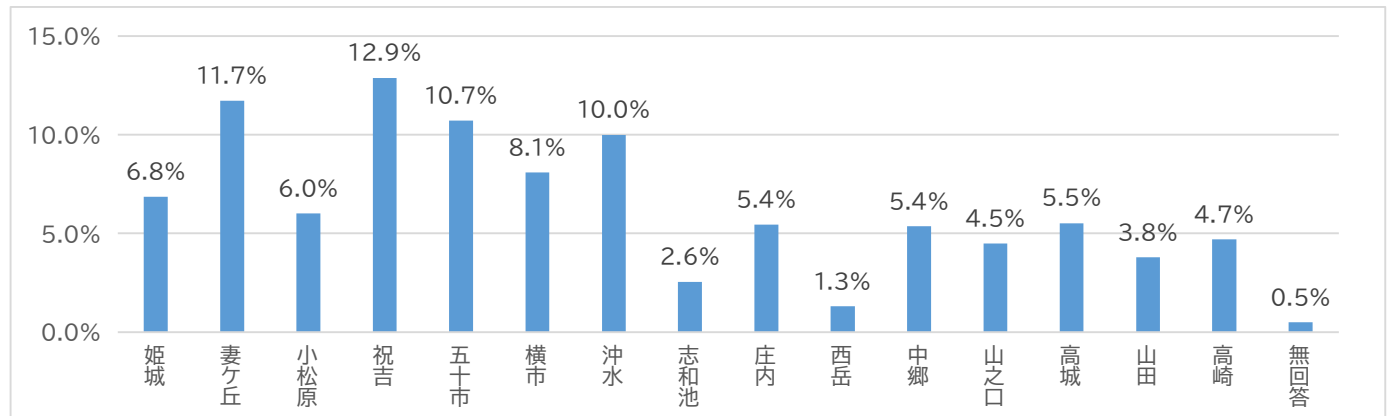
1-2 年代



1-3 居住年数



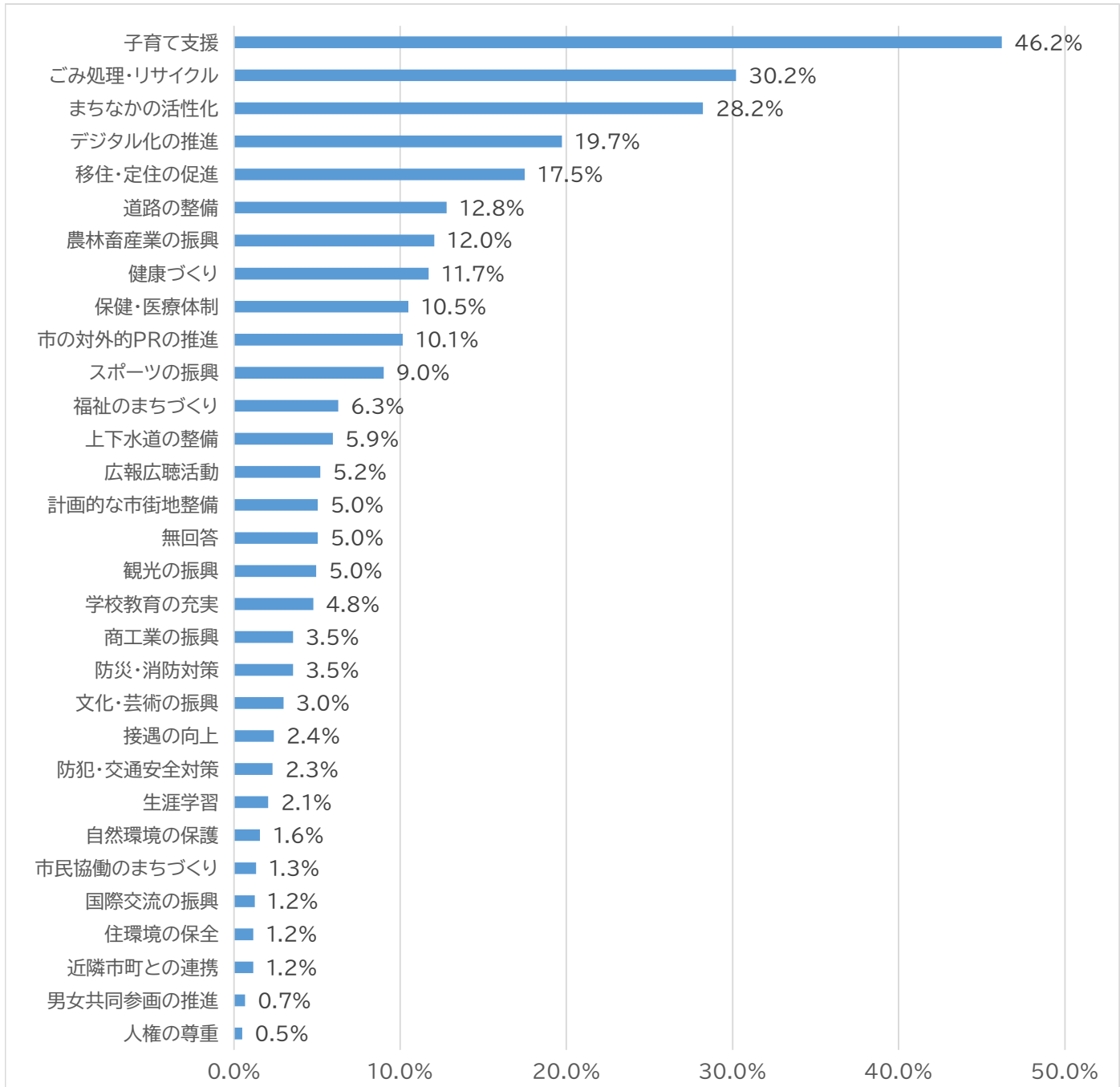
1-4 地区



2 市の取り組みについて

2-1 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んでください。

全体



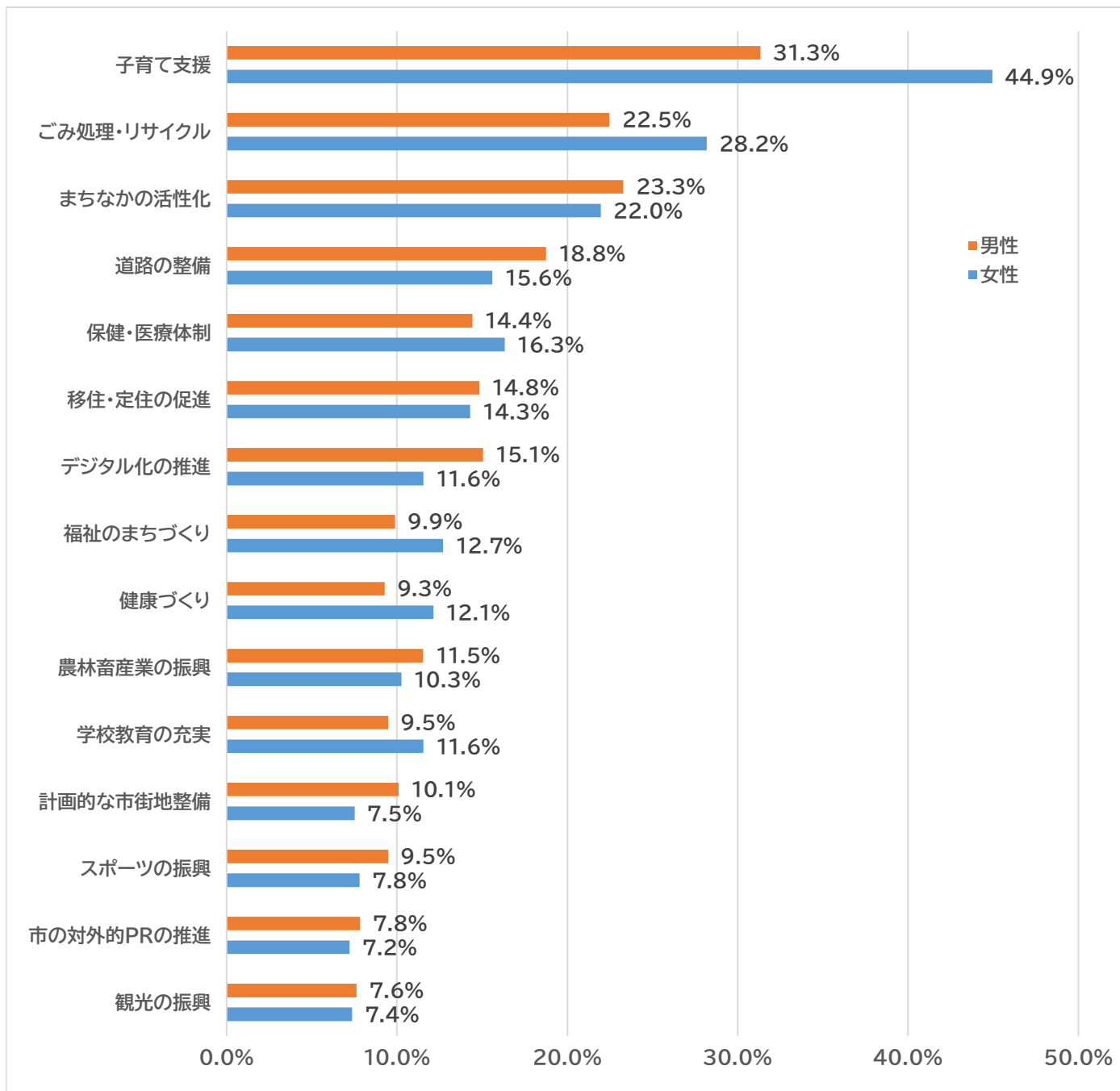
・「子育て支援」の項目が46.2%と最も高く、次いで「ごみ処理・リサイクル」30.2%、「まちなかの活性化」28.2%、「デジタル化の推進」19.7%となりました。

・前回(令和4年度)3番目であった「子育て支援」が1番目に上昇しました。それ以外の項目を見ると「移住・定住の促進」について、昨年度22番目であったものが、5番目と上昇しています。

2 市の取り組みについて

2-1 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んでください。

男女別 (総計上位15項目 *「無回答」除く)



・男女で回答に差のある項目が複数ある結果となりました。差が大きかった項目のうち、男性が高いものが「デジタル化の推進」で差が3.5ポイントとなっており、女性が高い項目は、「子育て支援」で差が13.6ポイントでした。

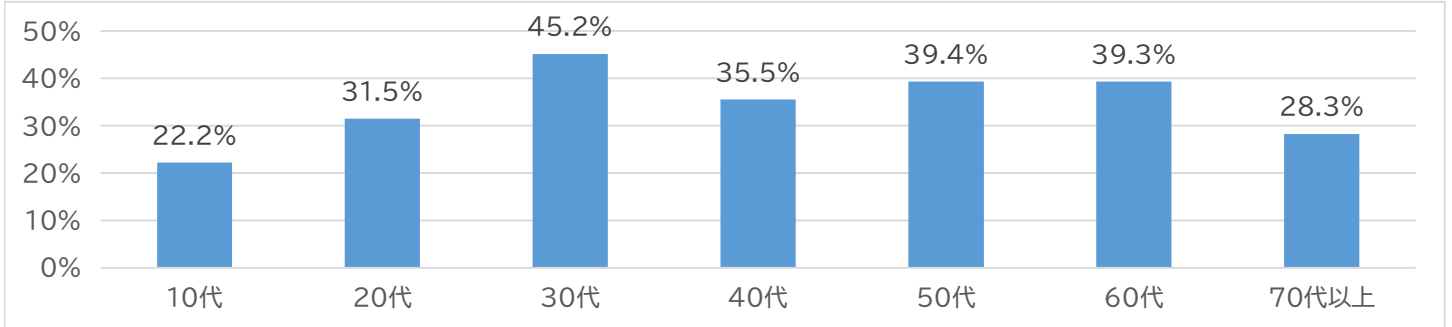
・男女共に「子育て支援」が1番目という結果になりました。

2 市の取り組みについて

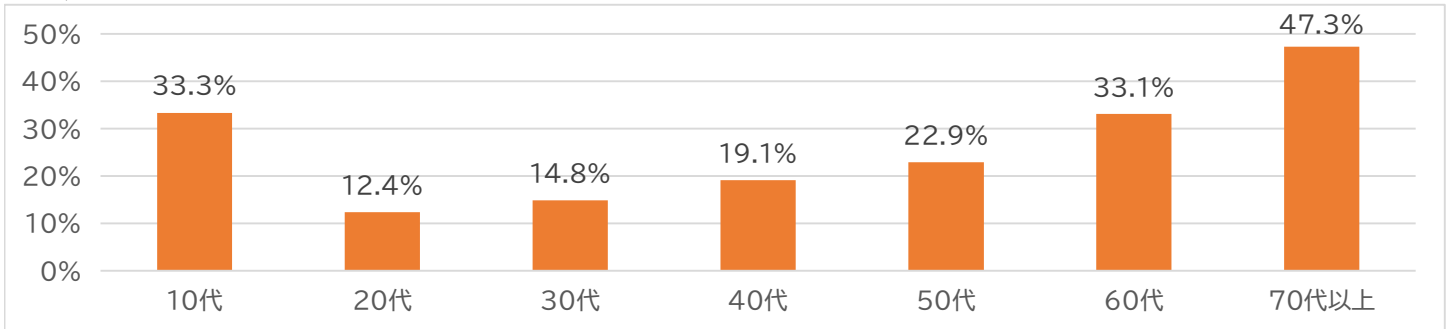
2-1 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んでください。

年代別

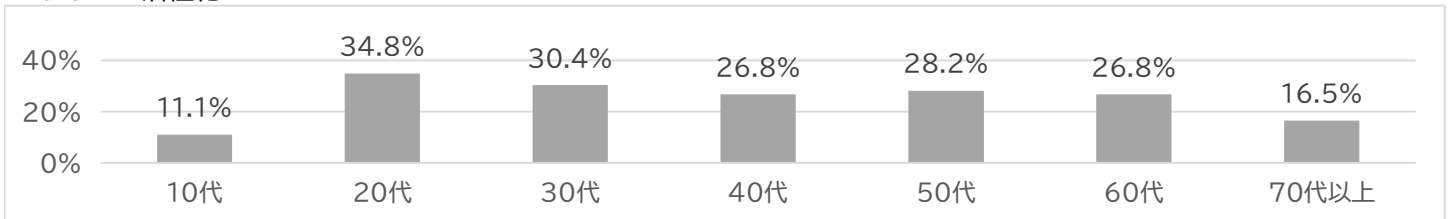
子育て支援



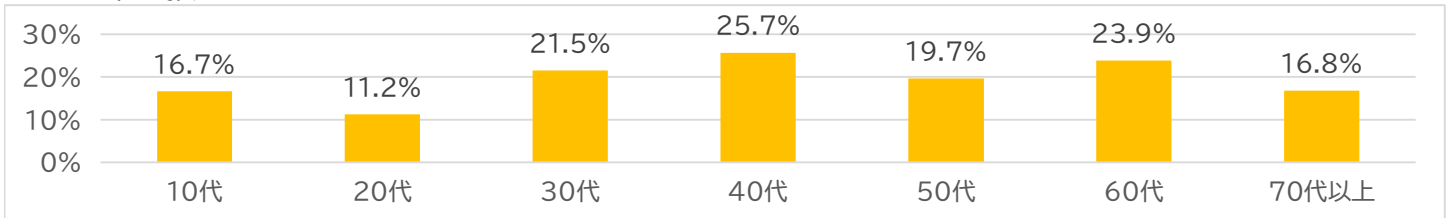
ごみ処理・リサイクル



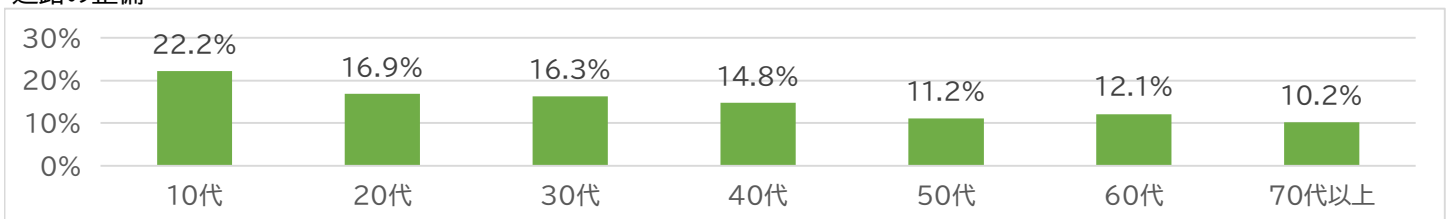
まちなかの活性化



デジタル化の推進



道路の整備

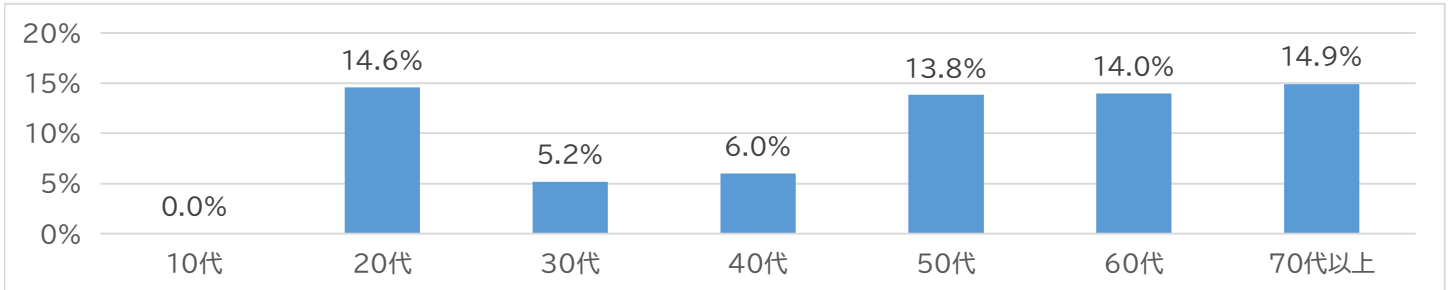


2 市の取り組みについて

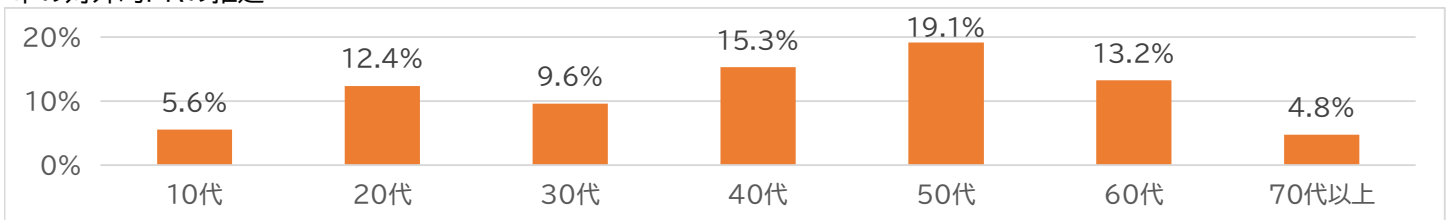
2-1 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んでください。

年代別

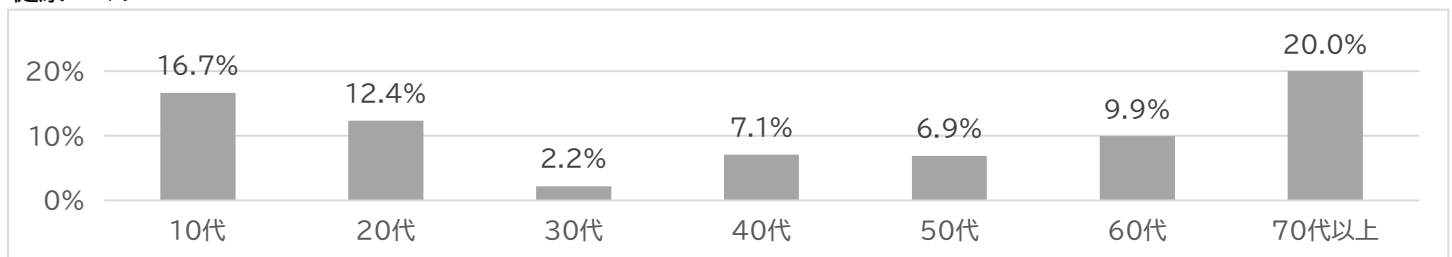
移住・定住の促進



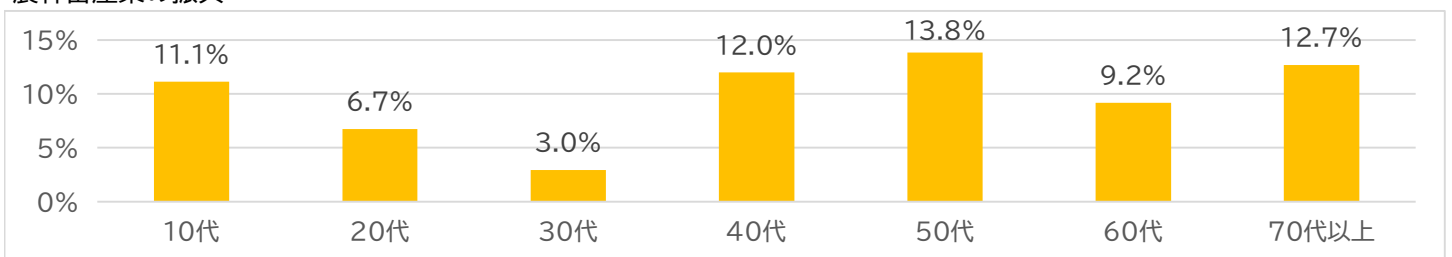
市の対外的PRの推進



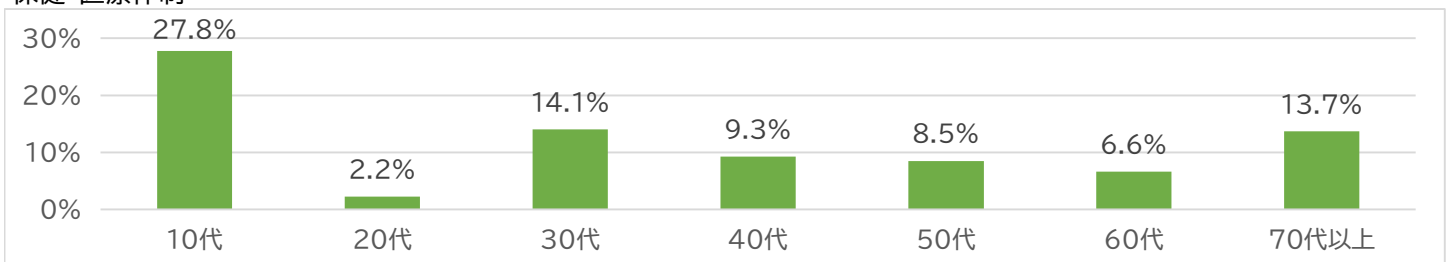
健康づくり



農林畜産業の振興



保健・医療体制

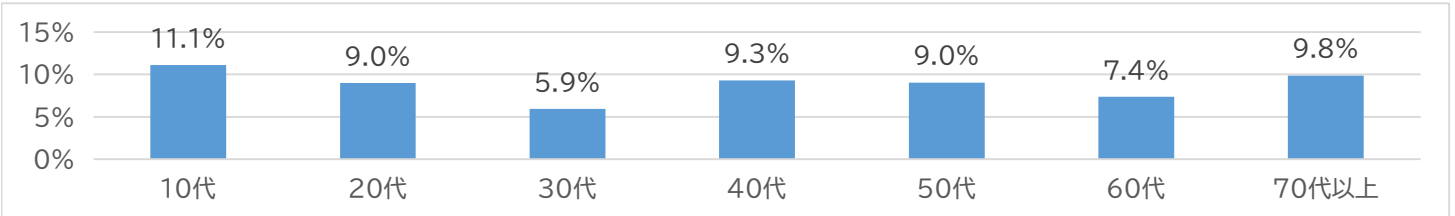


2 市の取り組みについて

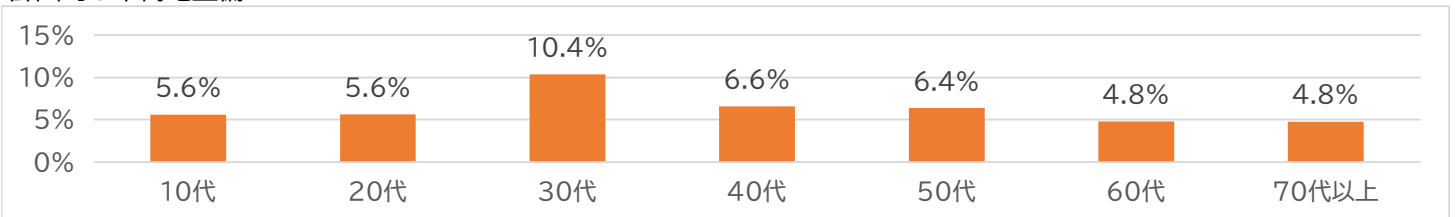
2-1 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んでください。

年代別

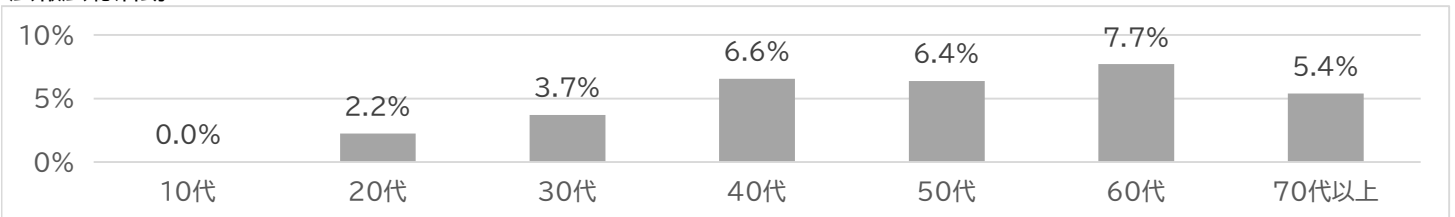
スポーツの振興



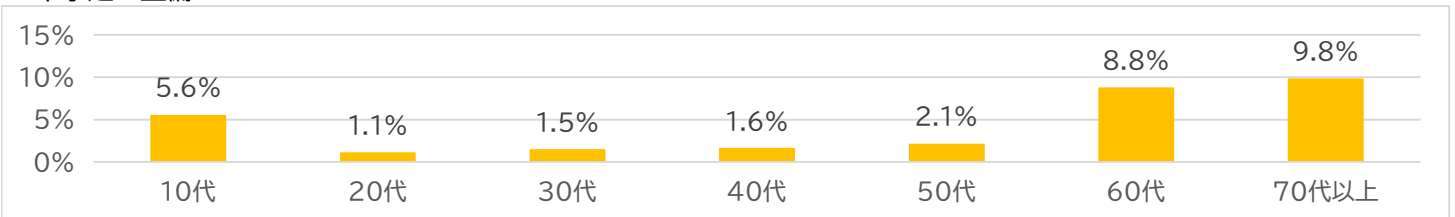
計画的な市街地整備



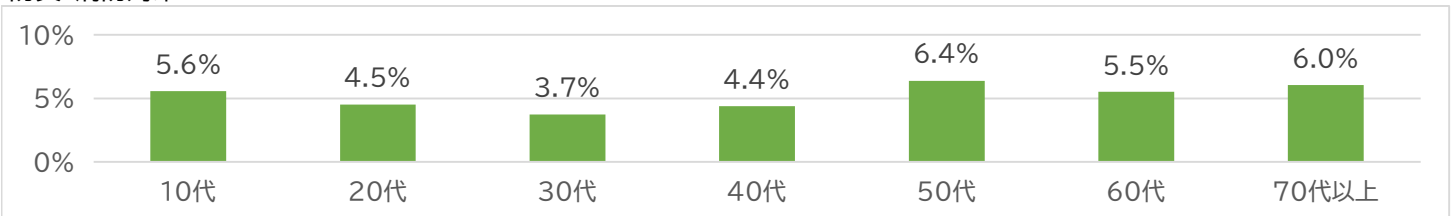
広報広聴活動



上下水道の整備



防災・消防対策

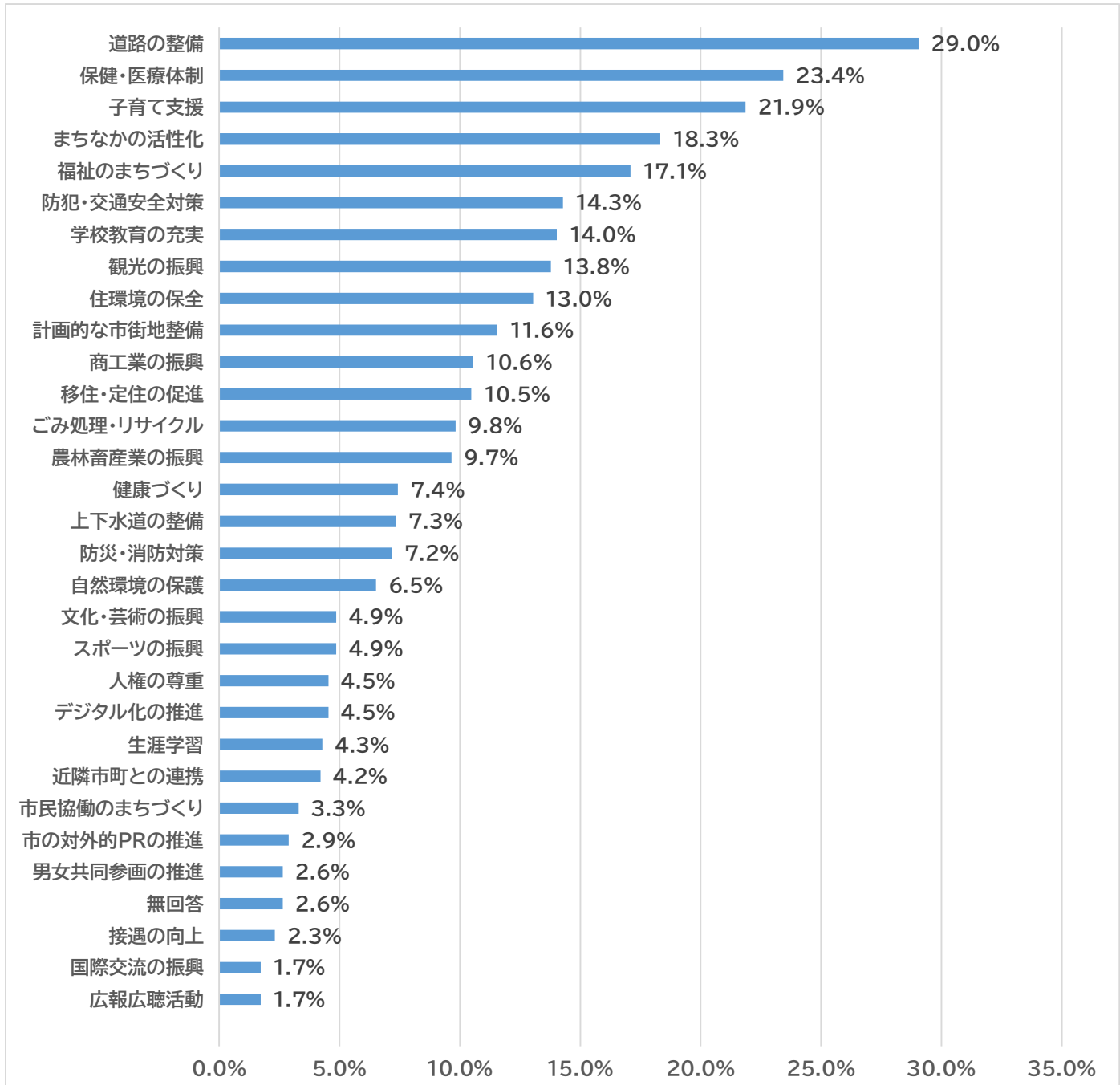


・全体でも1番評価を得た「子育て支援」については、30代の45.2%を最高に、40代から60代でも30%以上となり、幅広い世代で高い評価となりました。次いで全体で2番目の評価を得た「ごみ処理・リサイクル」については、70代以上で高い評価となりました。

2 市の取り組みについて

2-2 市が行っている施策や事業の中から、「今後、もっと力を入れてほしいもの」を3つまで選んでください。

全体



・今後力を入れてほしいものとして最も高い結果となったのは、昨年度に引き続き「道路の整備」となり、29.0%でした。

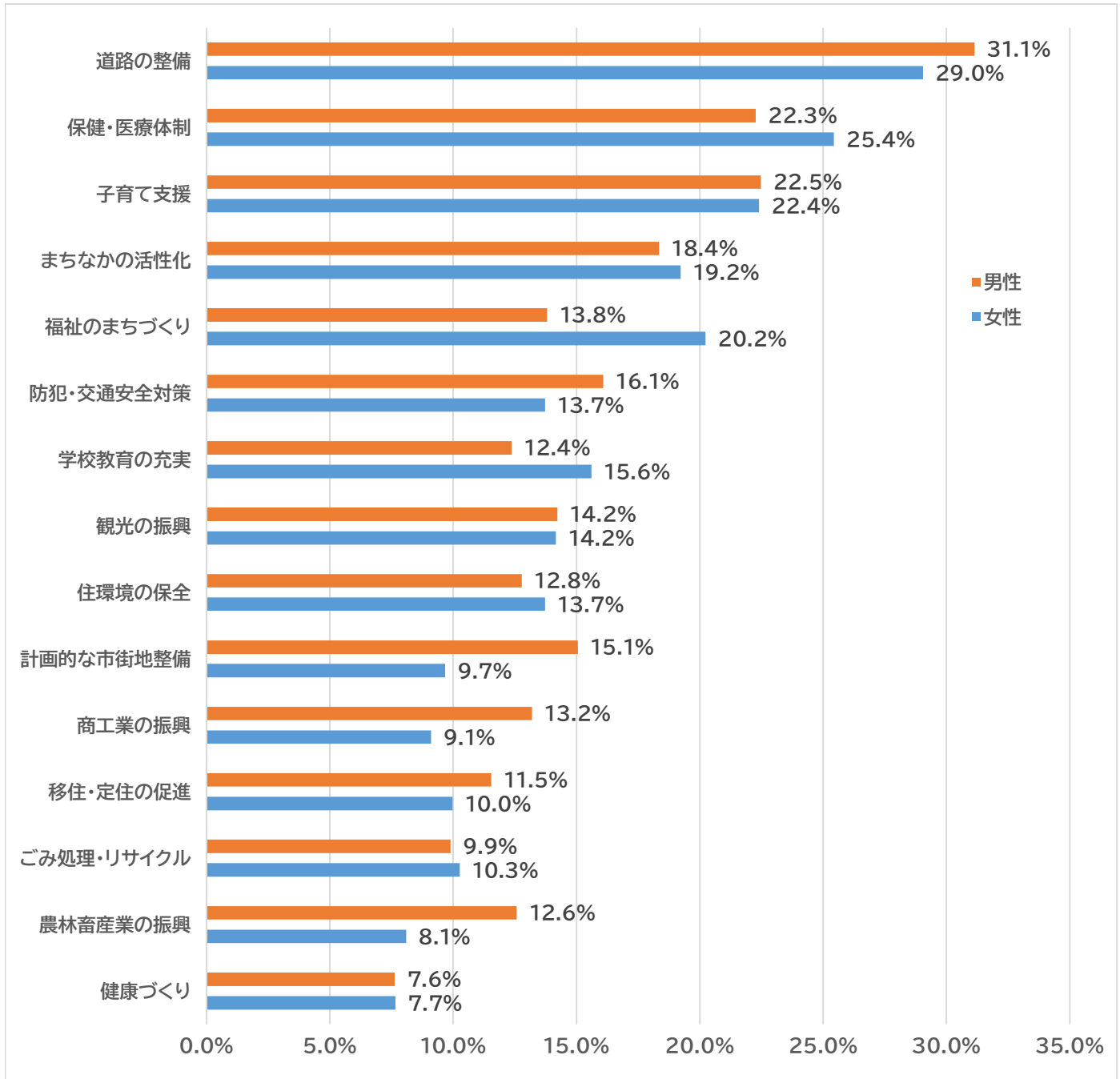
・「以前と比べて良くなっているもの」から「今後力を入れてほしいもの」を引いて結果を比較した際、最も差が大きかった項目は「子育て支援」の+24.3ポイント、次いで「ごみ処理・リサイクル」で+20.4ポイントでした。マイナスで差が大きかった項目は「道路の整備」の-16.2ポイント、「保健・医療体制」の-12.9ポイントでした。

差が大きい項目については、「良くなっている」と強く感じられている項目であり、マイナスの差が大きい項目は、「力を入れてほしい」と強く感じられている項目となります。

2 市の取り組みについて

2-2 市が行っている施策や事業の中から、「今後、もっと力を入れてほしいもの」を3つまで選んでください。

男女別 (総計上位15項目 *「無回答」除く)



・「以前と比べて良くなっているもの」と同様、男女で回答に差のある項目が複数ある結果となりました。

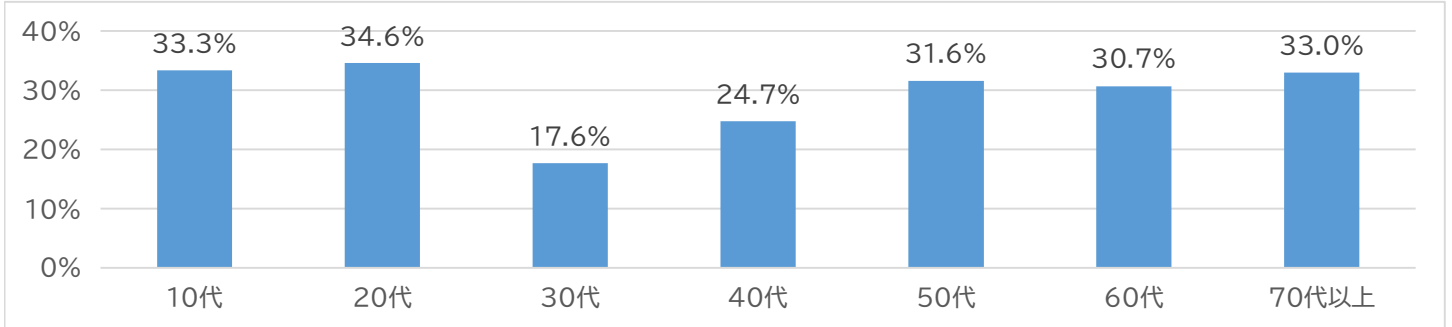
・差が大きかった項目のうち、男性が高いものは「計画的な市街地整備」で差が5.4ポイント、女性が高い項目は「福祉のまちづくり」で差が6.4ポイントでした。

2 市の取り組みについて

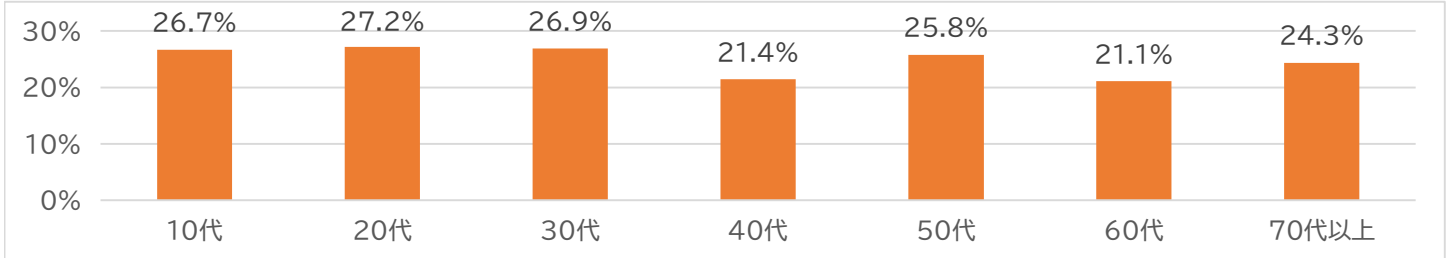
2-2 市が行っている施策や事業の中から、「今後、もっと力を入れてほしいもの」を3つまで選んでください。

年代別

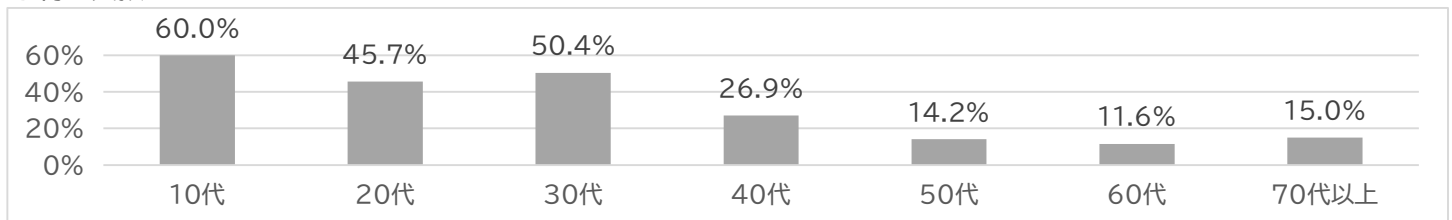
道路の整備



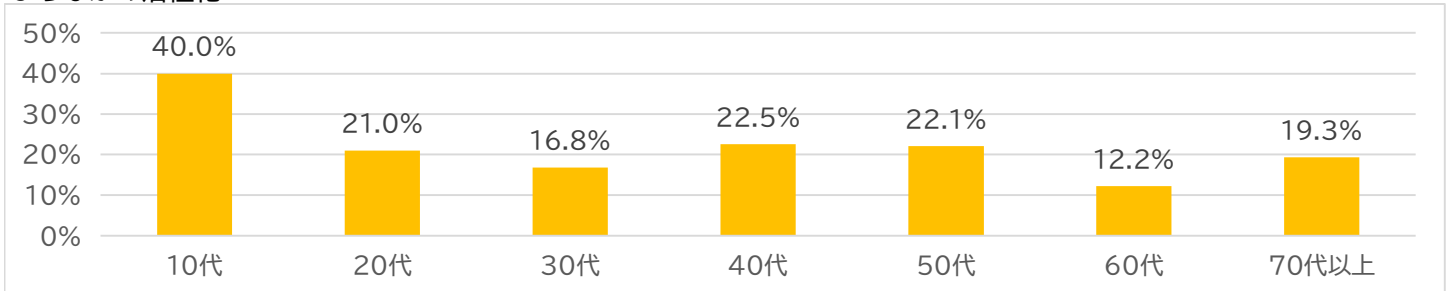
保健・医療体制



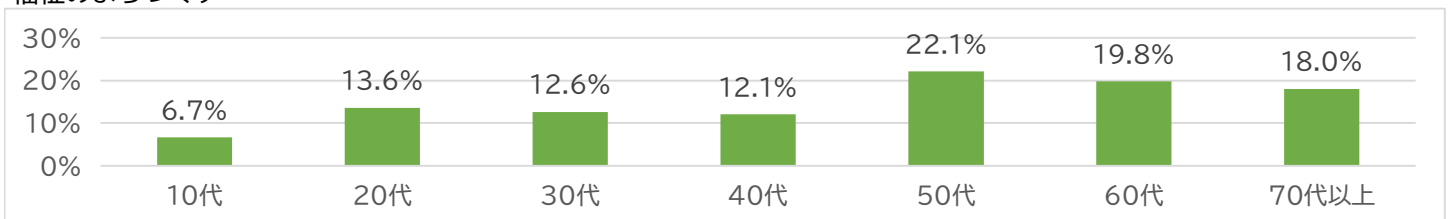
子育て支援



まちなかの活性化



福祉のまちづくり

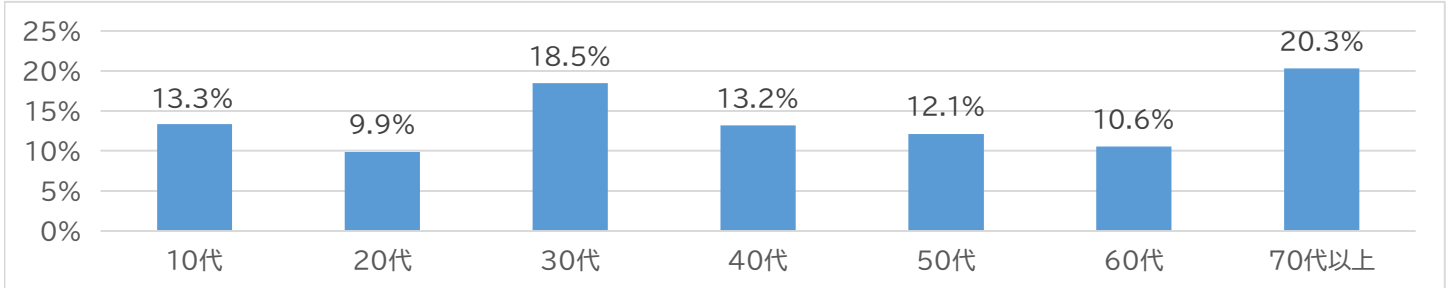


2 市の取り組みについて

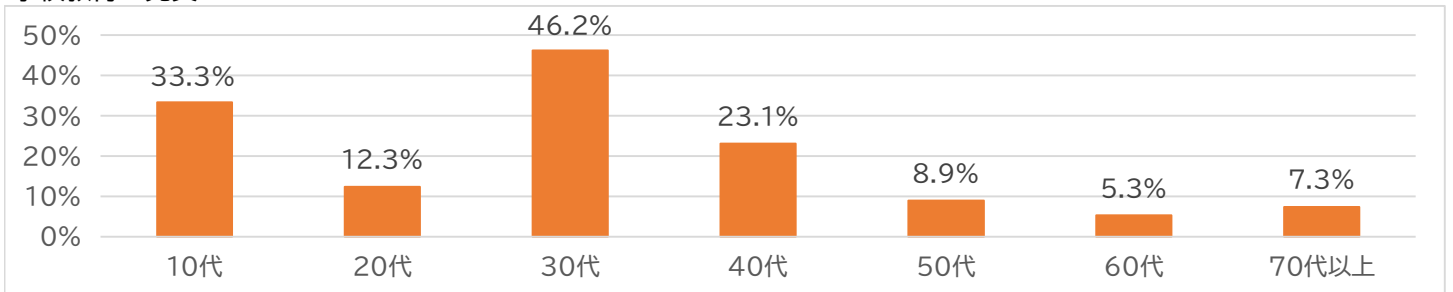
2-2 市が行っている施策や事業の中から、「今後、もっと力を入れてほしいもの」を3つまで選んでください。

年代別

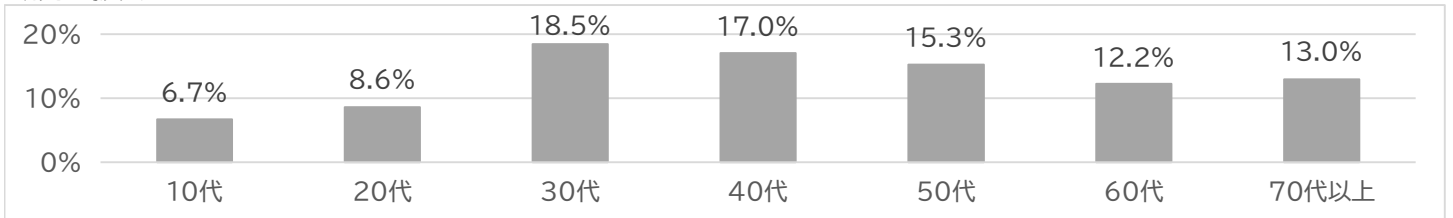
防犯・交通安全対策



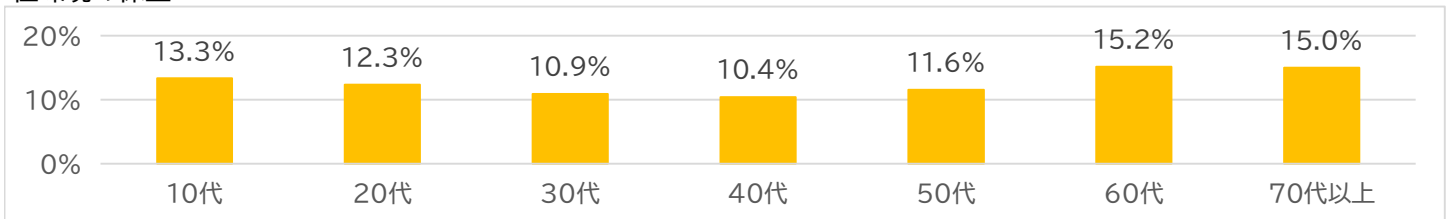
学校教育の充実



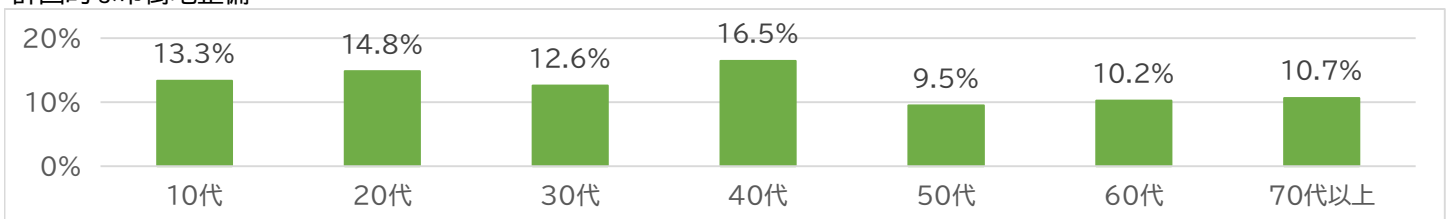
観光の振興



住環境の保全



計画的な市街地整備

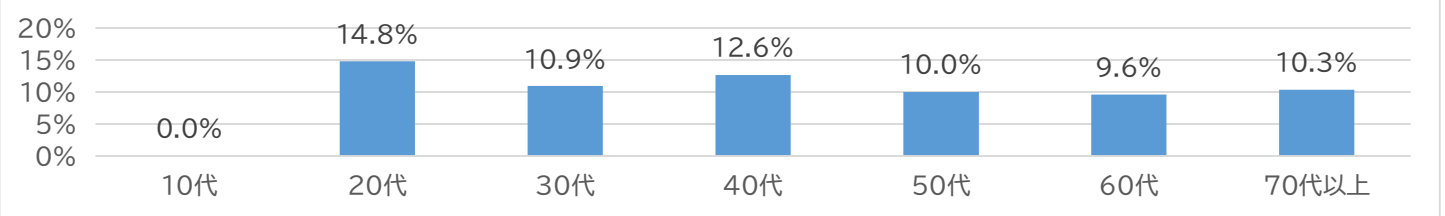


2 市の取り組みについて

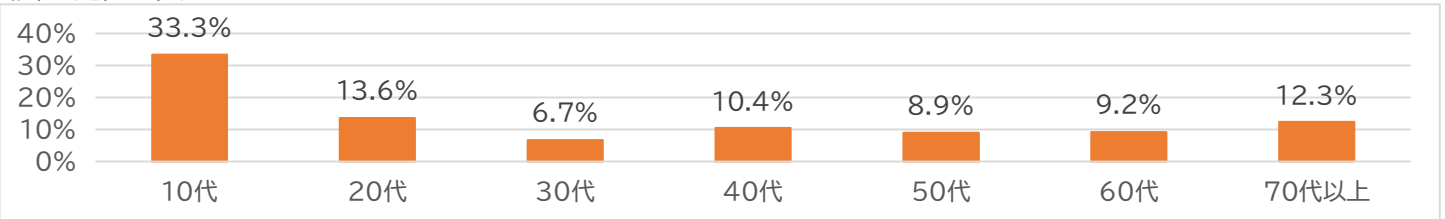
2-2 市が行っている施策や事業の中から、「今後、もっと力を入れてほしいもの」を3つまで選んでください。

年代別

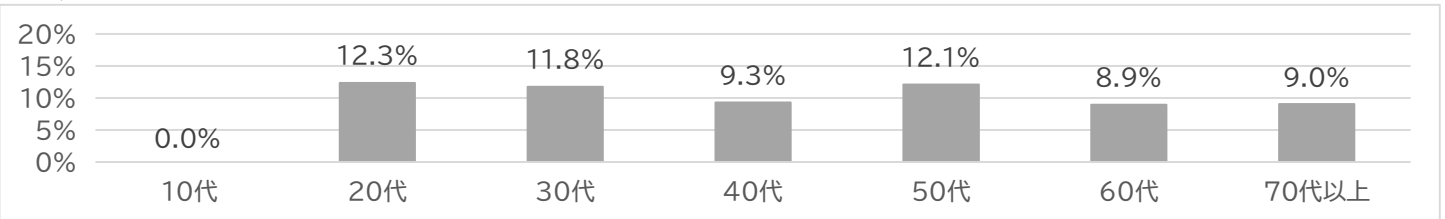
商工業の振興



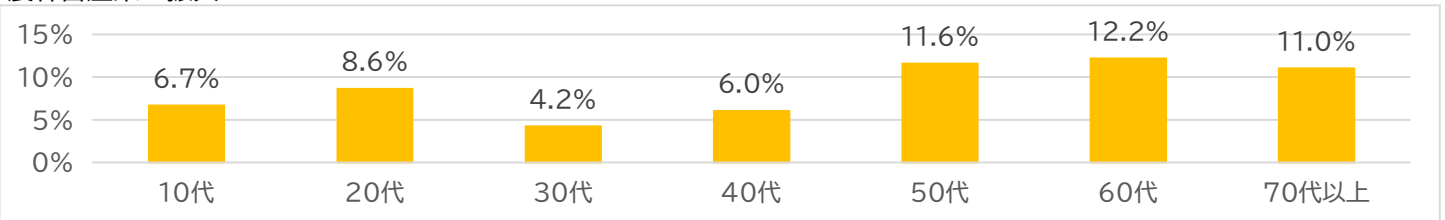
移住・定住の促進



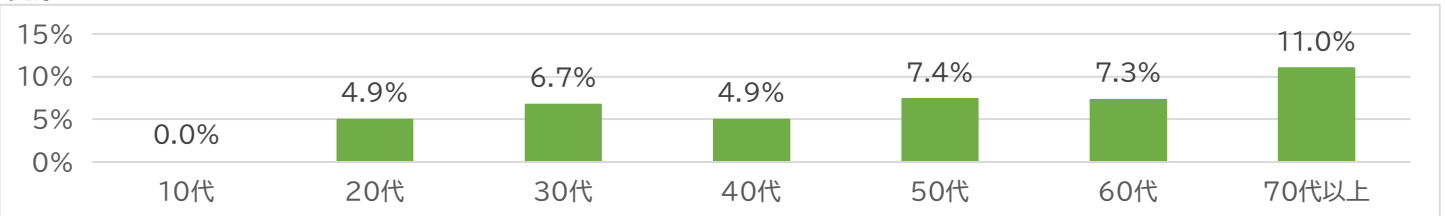
ごみ処理・リサイクル



農林畜産業の振興



健康づくり

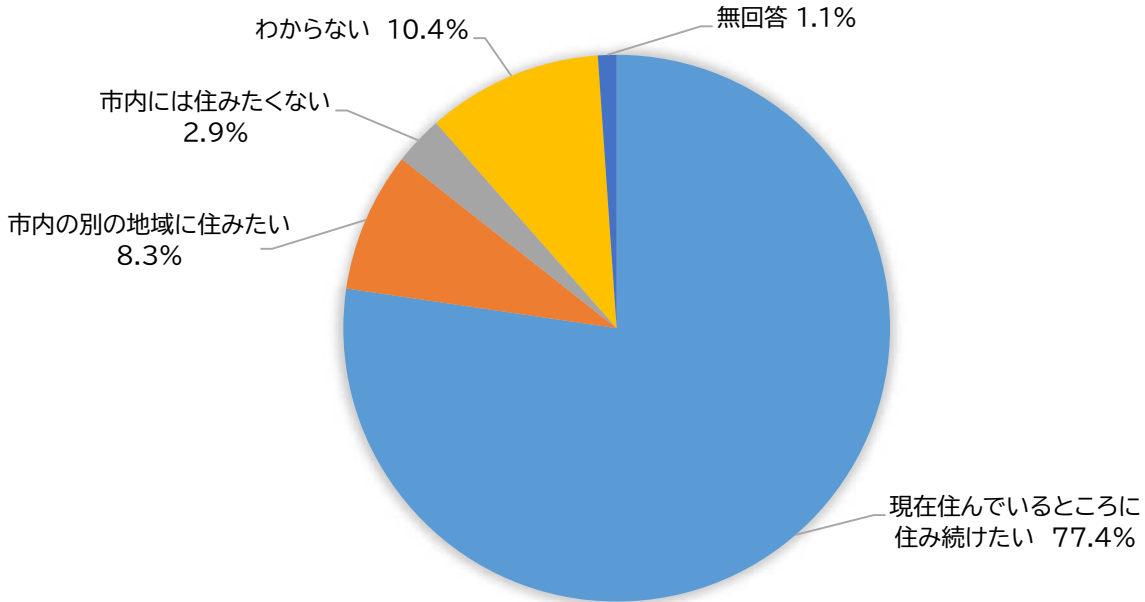


- ・年代が上がるにつれ高くなる傾向がみられたのは、「福祉のまちづくり」、「健康づくり」の2項目でした。
- ・年代が上がるにつれ低くなる傾向がみられたのは、「子育て支援」の1項目でした。

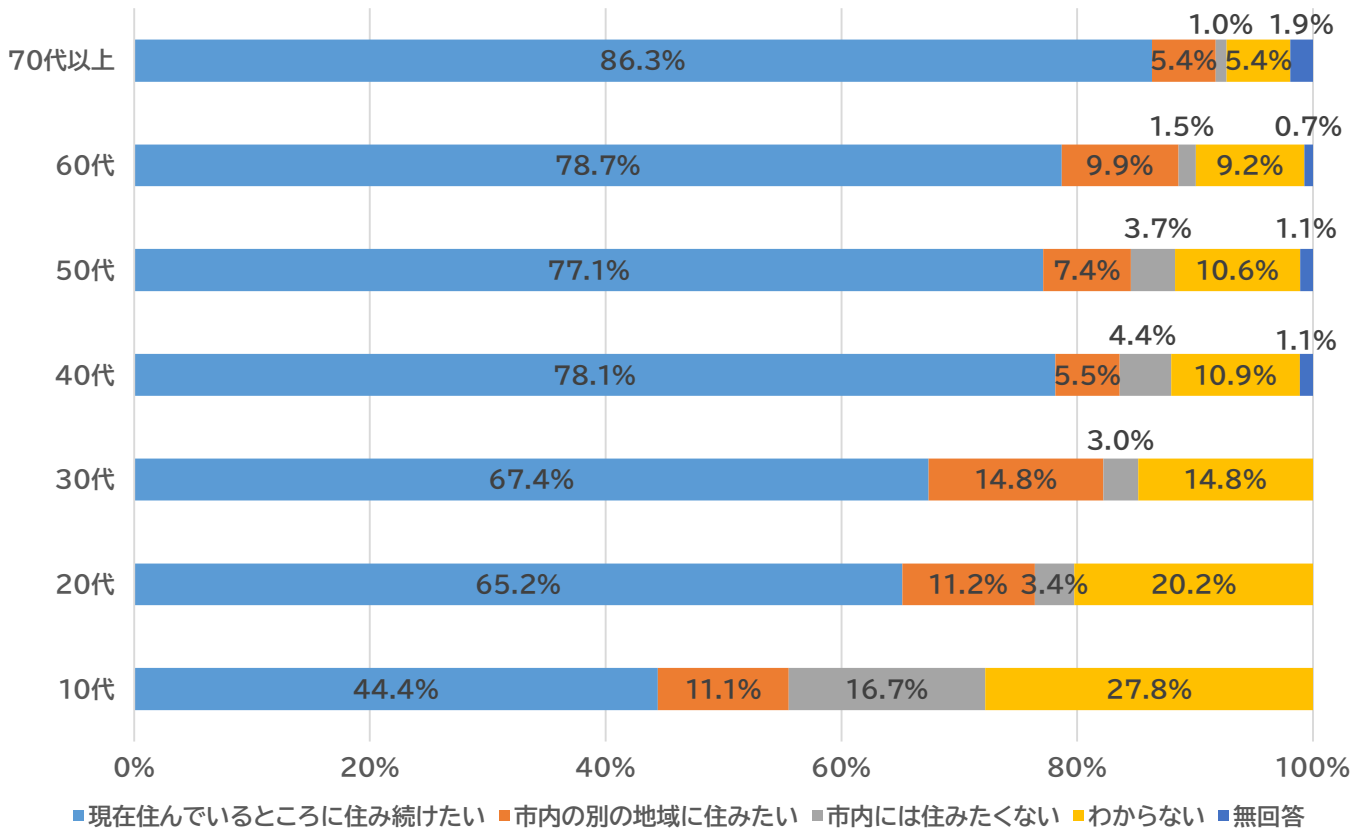
3 住みやすさについて

3-1 これからも都城市に住み続けたいですか。

全体



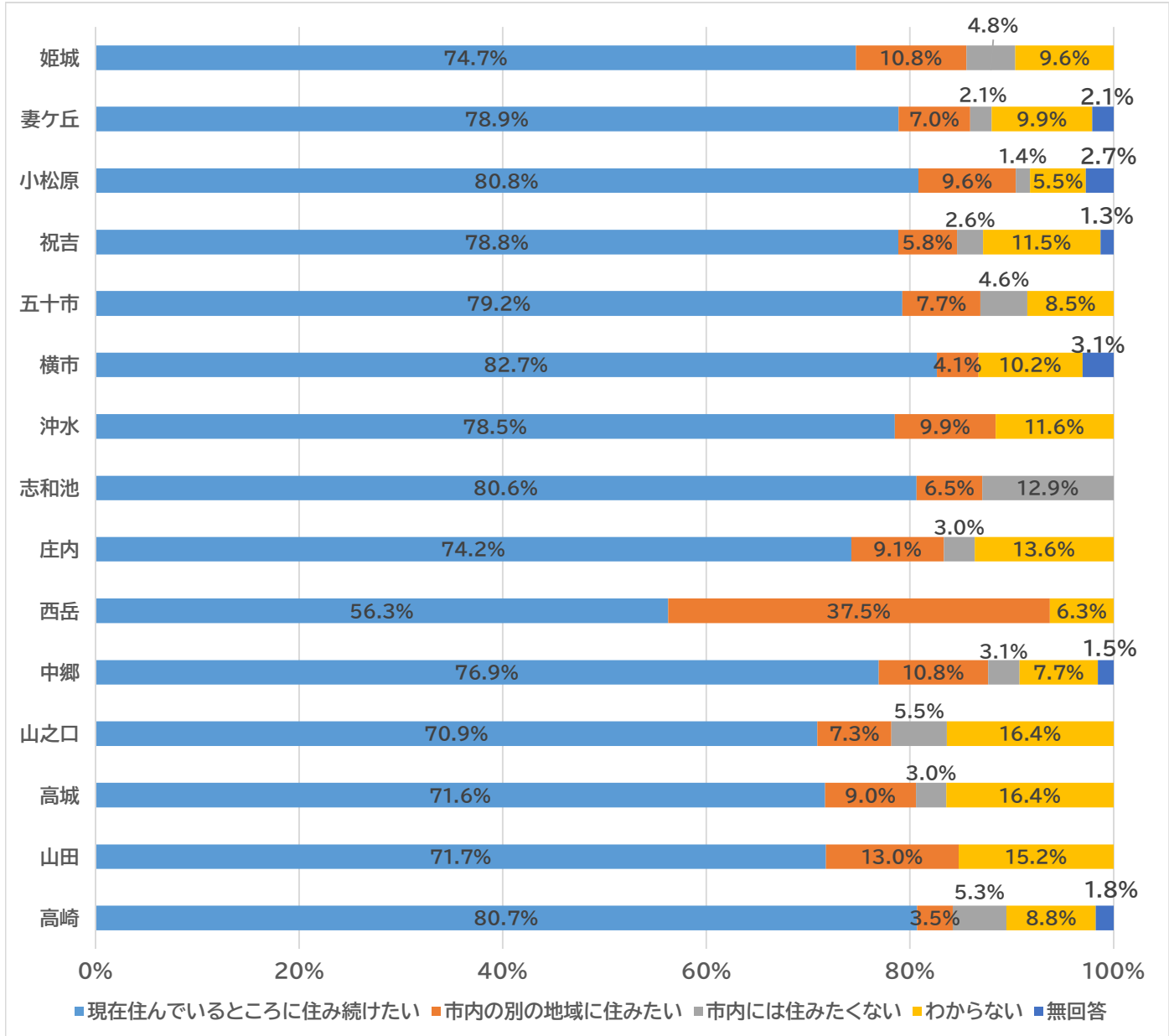
年代別



3 住みやすさについて

3-1 これからも都城市に住み続けたいですか。

地区別



・全体でみると、「現在住んでいるところに住み続けたい」と感じている人が77.4%でした。前回(令和4年度)の調査結果76.5%と比較すると、0.9ポイント増加しています。

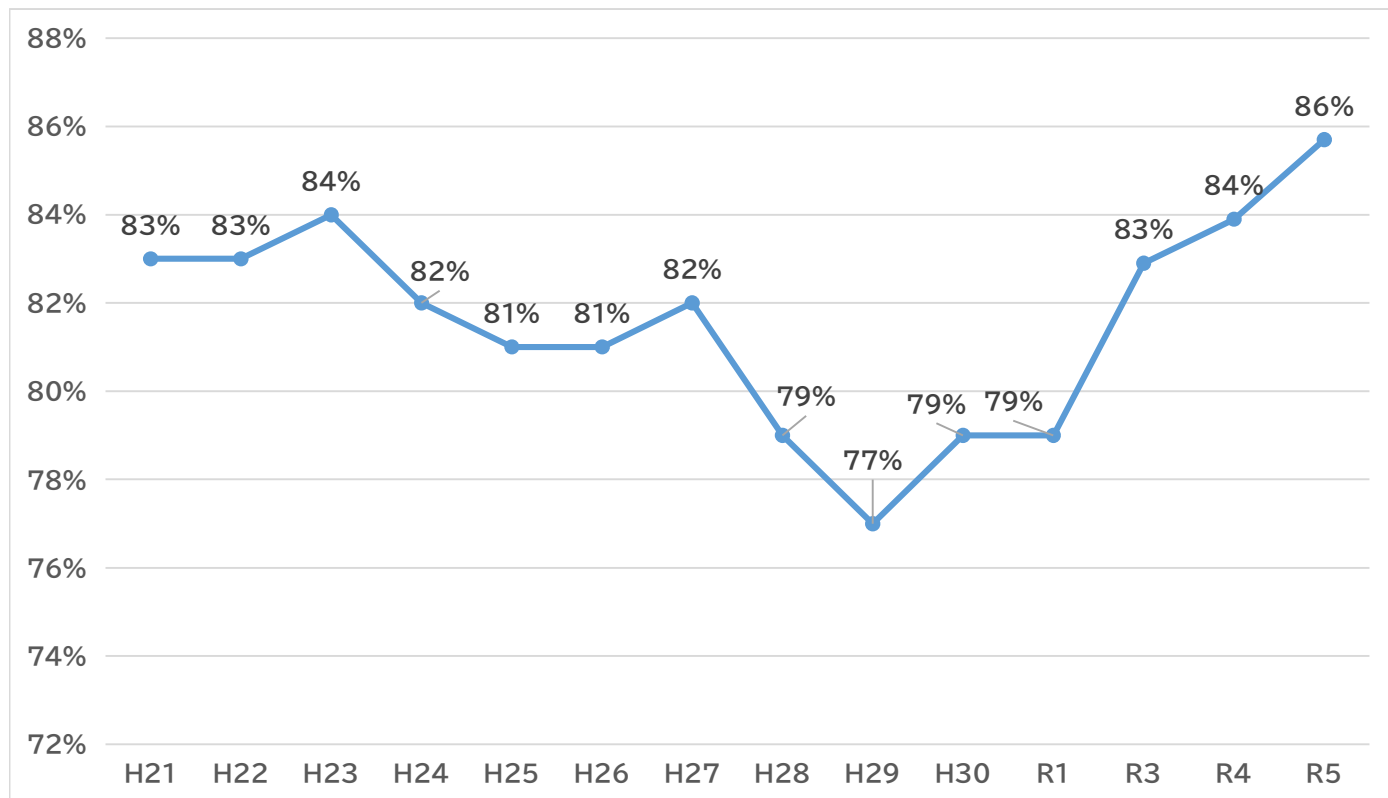
・年代別でみると、「現在住んでいるところに住み続けたい」の割合は70代以上の86.3%が最も高く、10代の44.4%が最も低い結果となっており、年代が上がるにつれて高くなる傾向があります。

・地区別で見ると、横市地区の82.7%が最も高く、順に小松原地区の80.8%、高崎地区の80.7%となっています。

3 住みやすさについて

3-1 これからも都城市に住み続けたいですか。

推移

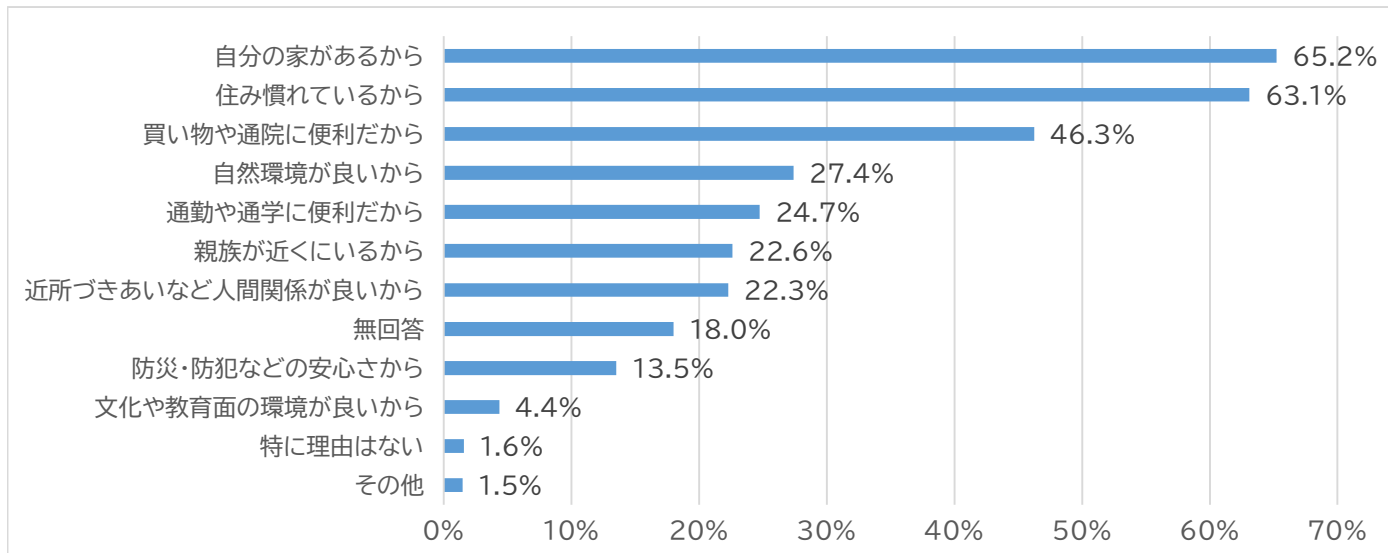


・「現在住んでいるところに住み続けたい」「市内の別の地域に住みたい」を合計した、都城市に「住み続けたい」の数値は、約86%となりました。令和4年度と比較すると、「現在住んでいるところに住み続けたい」は0.9ポイントの増加、「市内の別の地域に住みたい」は0.8ポイントの増加となっています。

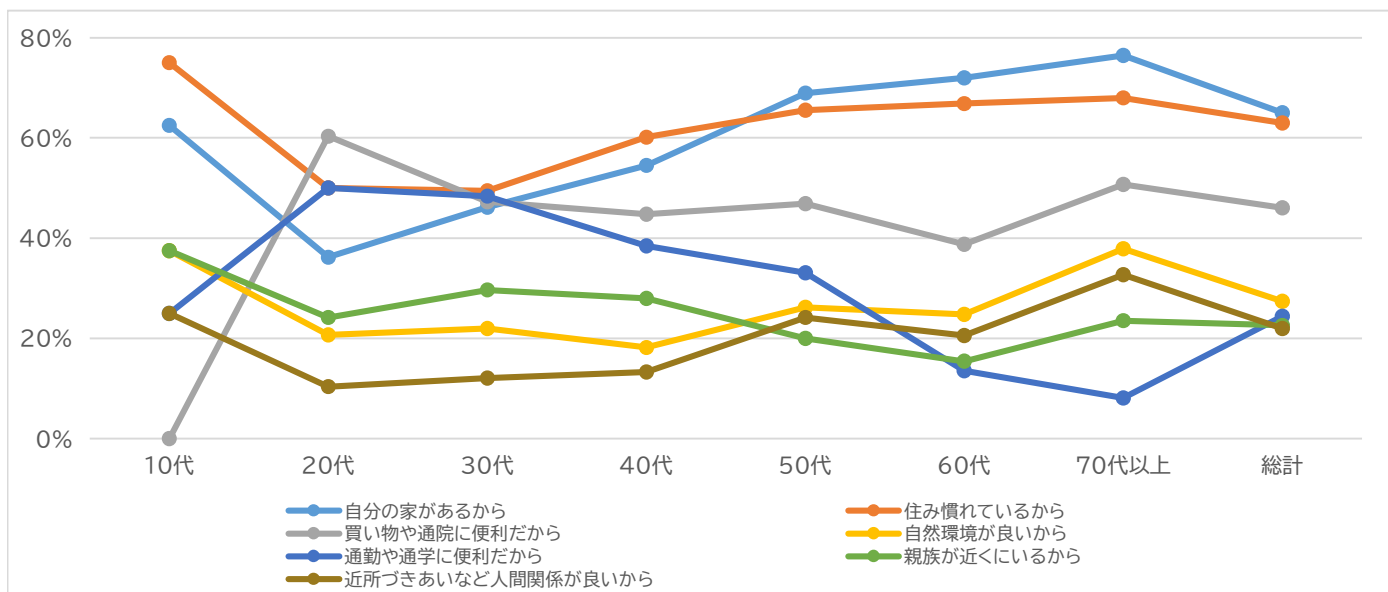
3 住みやすさについて

3-2 質問3-1で「1.現在住んでいるところに住み続けたい」と回答した方にお尋ねします。住み続けたいと答えた理由を教えてください。(複数回答)

全体



年代別 (総計上位7項目)

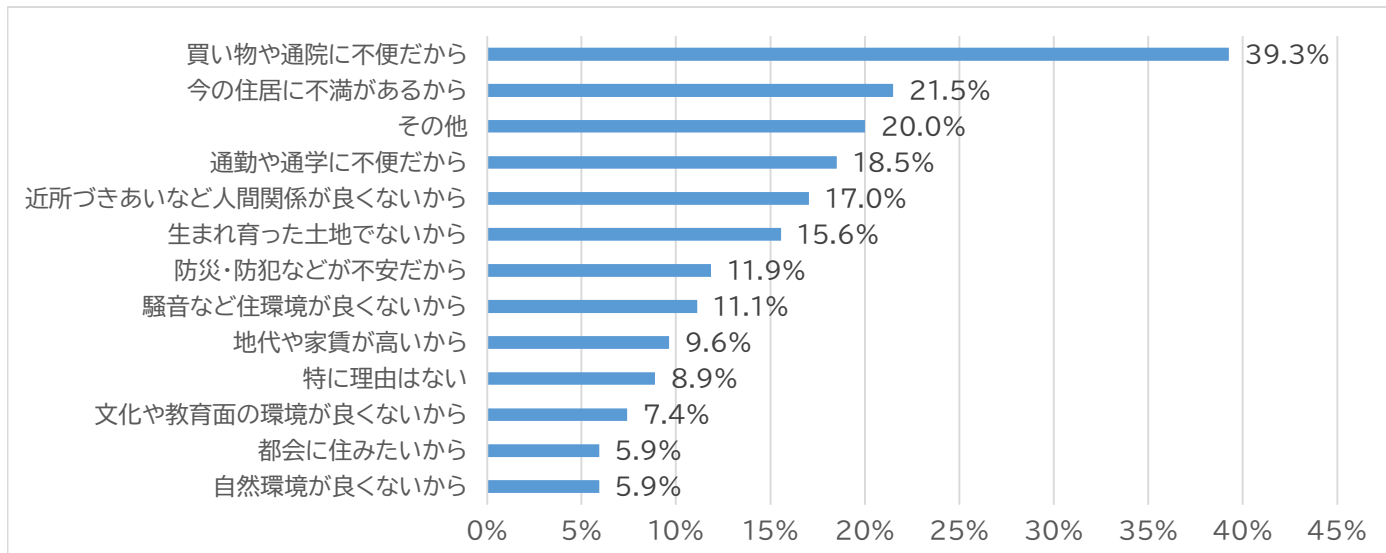


・「自分の家がある」「住み慣れている」の2項目が高い結果となりましたが、この2項目は年代が上がるにつれて高くなっている項目でもあるため、全体の回答者数の年代分布も影響していると考えられます。その他の項目でみると20代以上の約半数の人が「買い物や通院に便利」と感じており、子育て世代を中心に「通勤や通学に便利」の項目も高い結果となりました。

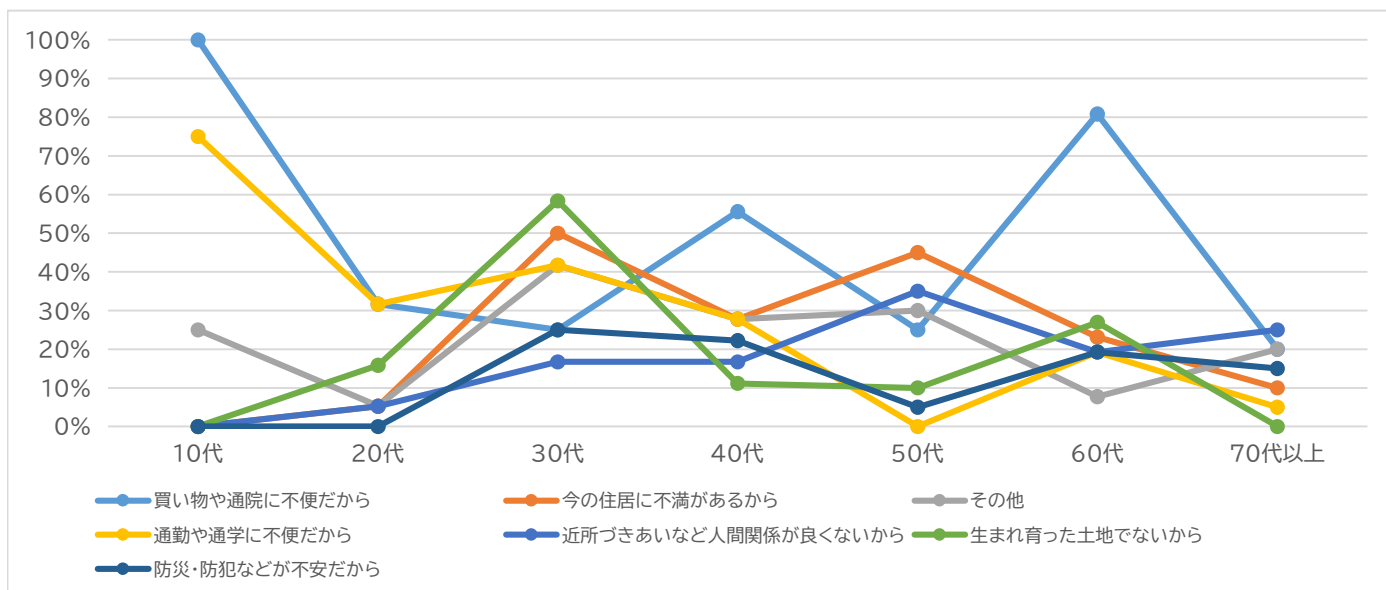
3 住みやすさについて

3-3 質問3-1で「2.市内の別の地域に住みたい」「3.市内には住みたくない」と回答した方にお尋ねします。別の地域に住みたい、住みたくないと答えた理由を教えてください。(複数回答)

全体



年代別 (総計上位7項目)



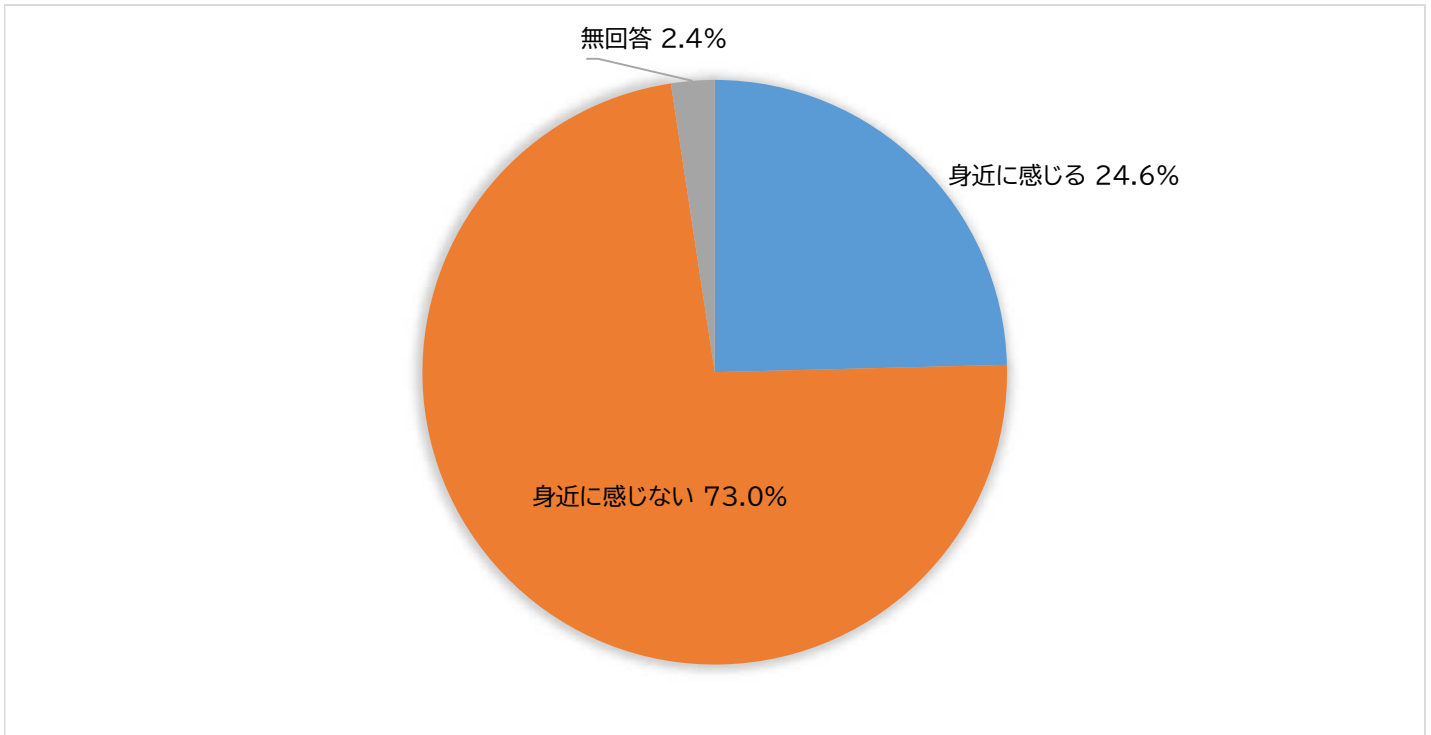
・「市内の別の地域に住みたい」「市内には住みたくない」理由としては、「買い物や通院が不便だから」の39.3%が最も高い結果となり、次いで「今の住居に不満があるから」の21.5%となっています。

・年代別で見ると、10代・40代・60代で「買い物や通院が不便」と感じている人が多く、若い世代では「通勤や通学に不便」と感じている人が多い結果となりました。

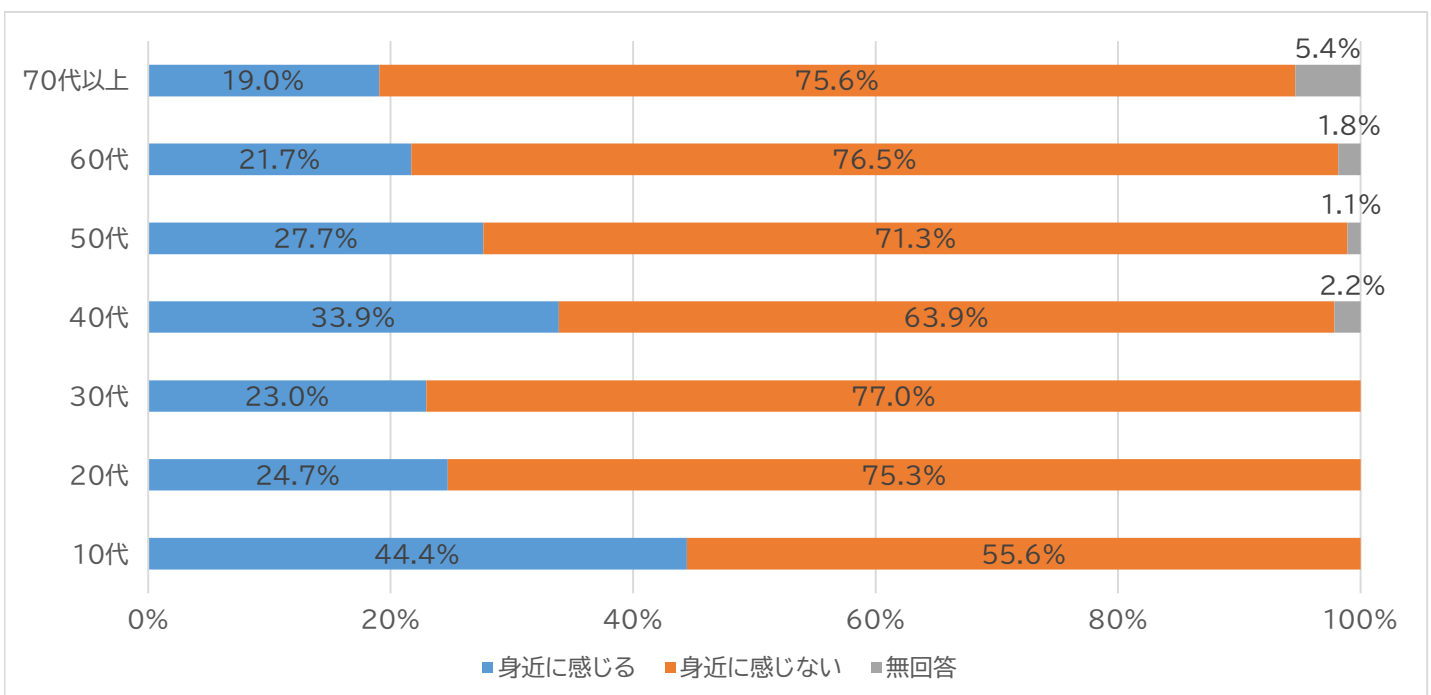
4 国際交流について

4-1 外国の方を身近に感じますか。

全体



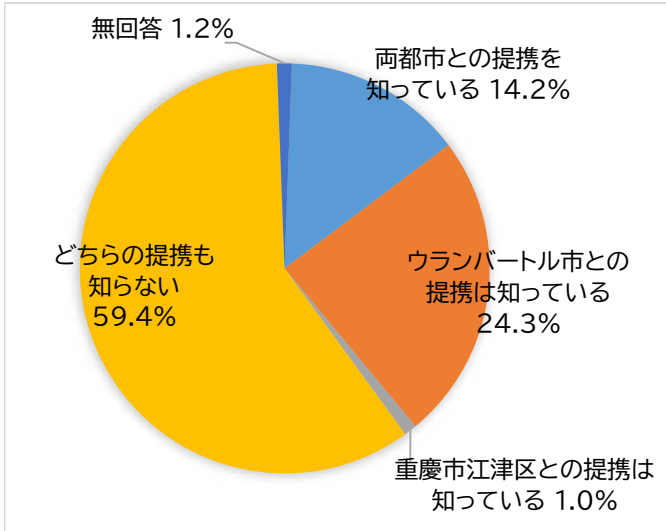
年代別



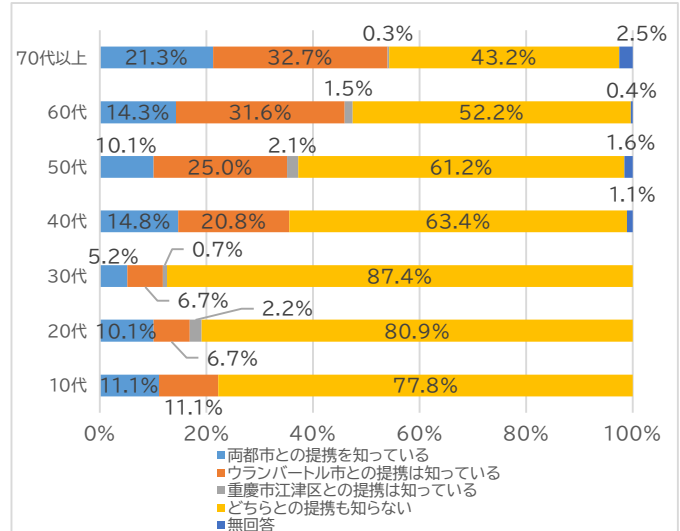
4 国際交流について

4-2 都城市が、中国重慶市江津区およびモンゴル国ウランバートル市と友好交流都市の提携を行っていることを知っていますか。

全体

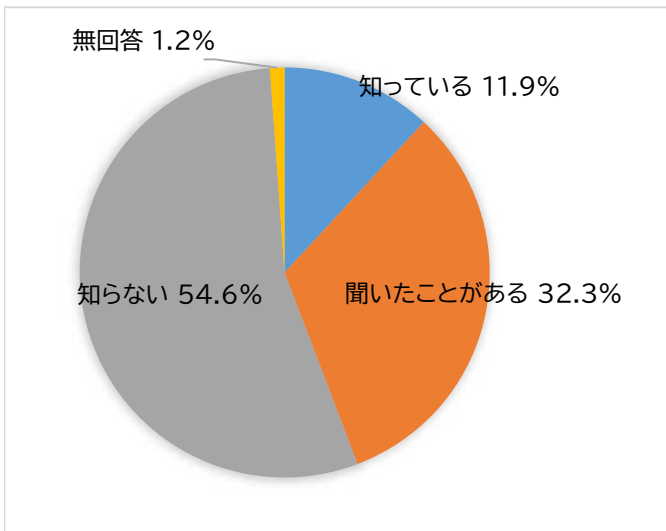


年代別

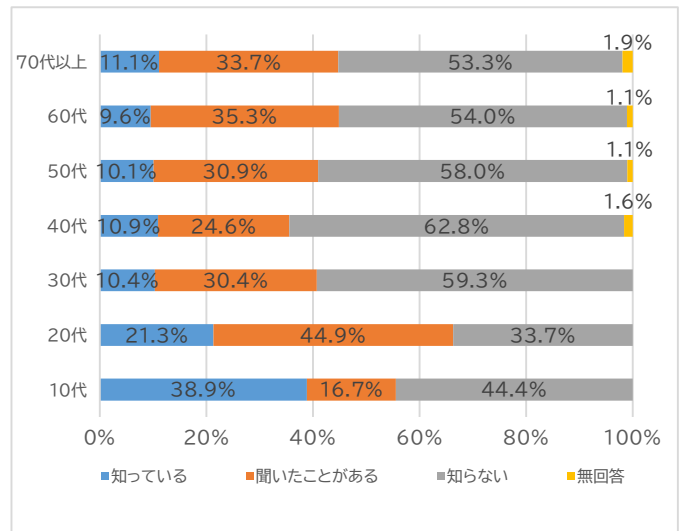


4-3 「多文化共生社会」を知っていますか。

全体



年代別



・「外国の方を身近に感じるか」について、「身近に感じる」と答えた人が24.6%に対して「身近に感じない」と答えた人が73.0%となりました。年代別に見ると、「身近に感じる」と答えた人は、10代が44.4%と高い結果となり、次いで40代の33.9%となっています。

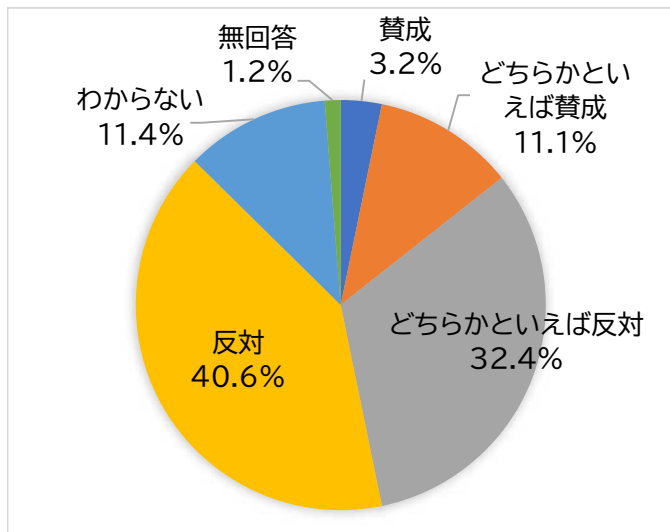
・「都城市が、中国重慶市江津区及びモンゴル国ウランバートル市と友好交流都市の提携を行っていることを知っているか」については、「どちらの提携も知らない」と答えた人が最も多く59.4%でした。次いで「ウランバートル市との提携は知っている」と答えた人が24.3%でした。

・「多文化共生社会」については、「知っている」「聞いたことがある」と答えた人の合計が、20代が66.2%、次いで10代が55.6%と高い結果となりました。

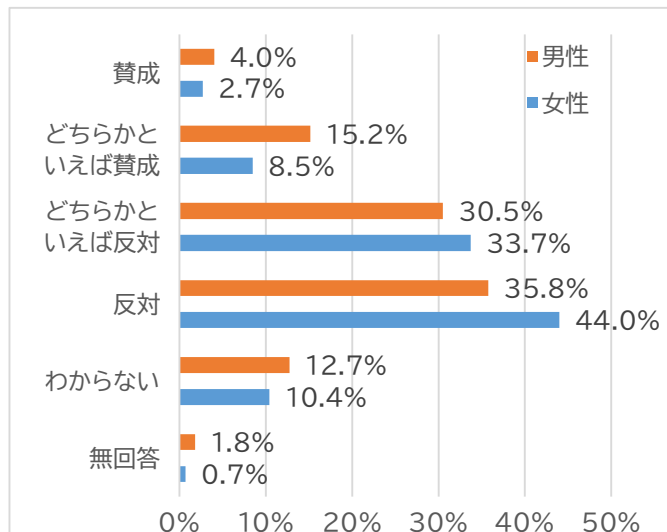
5 男女共同参画について

5-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような性別によって役割を固定する考え方についてどう思いますか。

全体

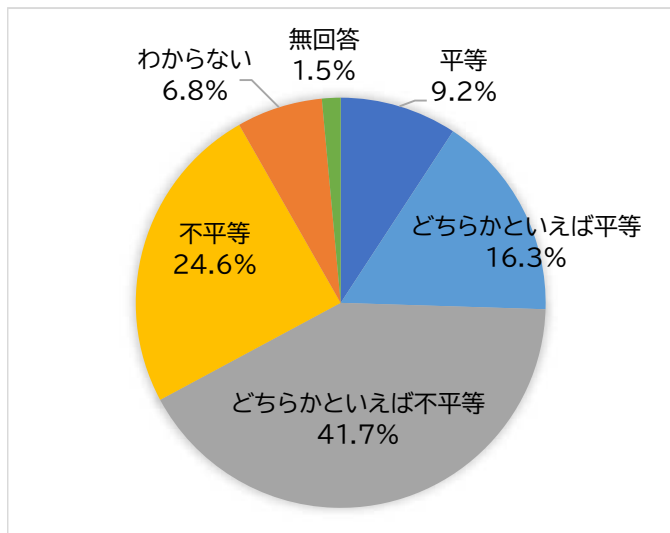


男女別

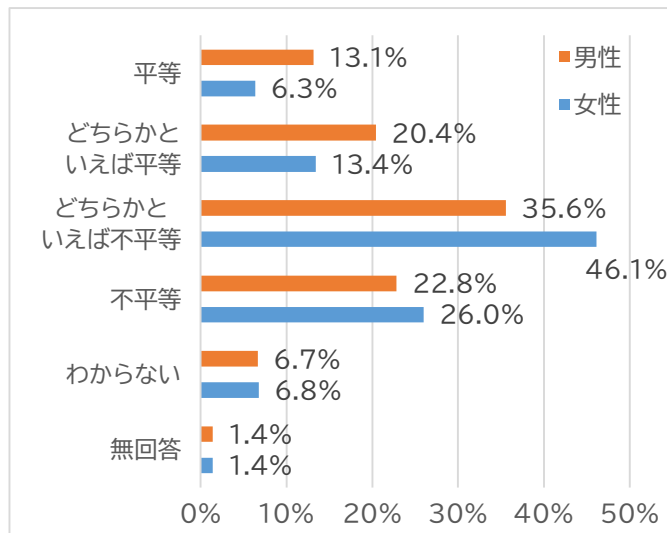


5-2 「社会(政治や職場など)において、男女の地位は平等だ」と思いますか。

全体



男女別



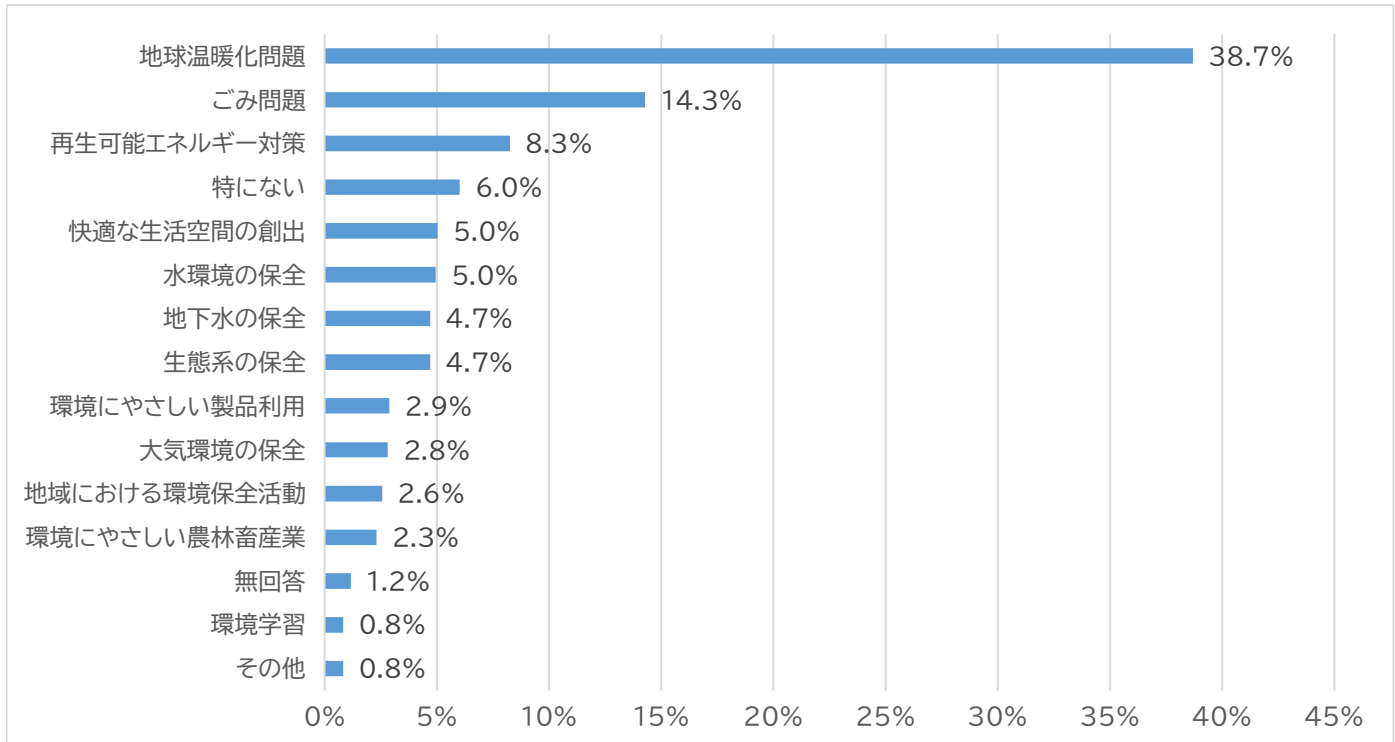
・性別によって役割を固定する考え方について、「反対」「どちらかという」と回答した人が73.0%となりました。男女別で見ると、男性は66.3%、女性は77.7%という結果となり、前回(令和4年度)の男性71.3%、女性78.6%と比較すると、男性は5ポイント、女性は0.9ポイントの減少となりました。

・「男女の地位は平等だと思うか」についても、「不平等」「どちらかという」と回答した人が66.3%となりました。男女別で見ると、男性は58.4%、女性は72.1%という結果となり、前回(令和4年度)の男性59.5%、女性66.0%と比較すると、男性は1.1ポイントの減少、女性は6.1ポイントの増加となっています。

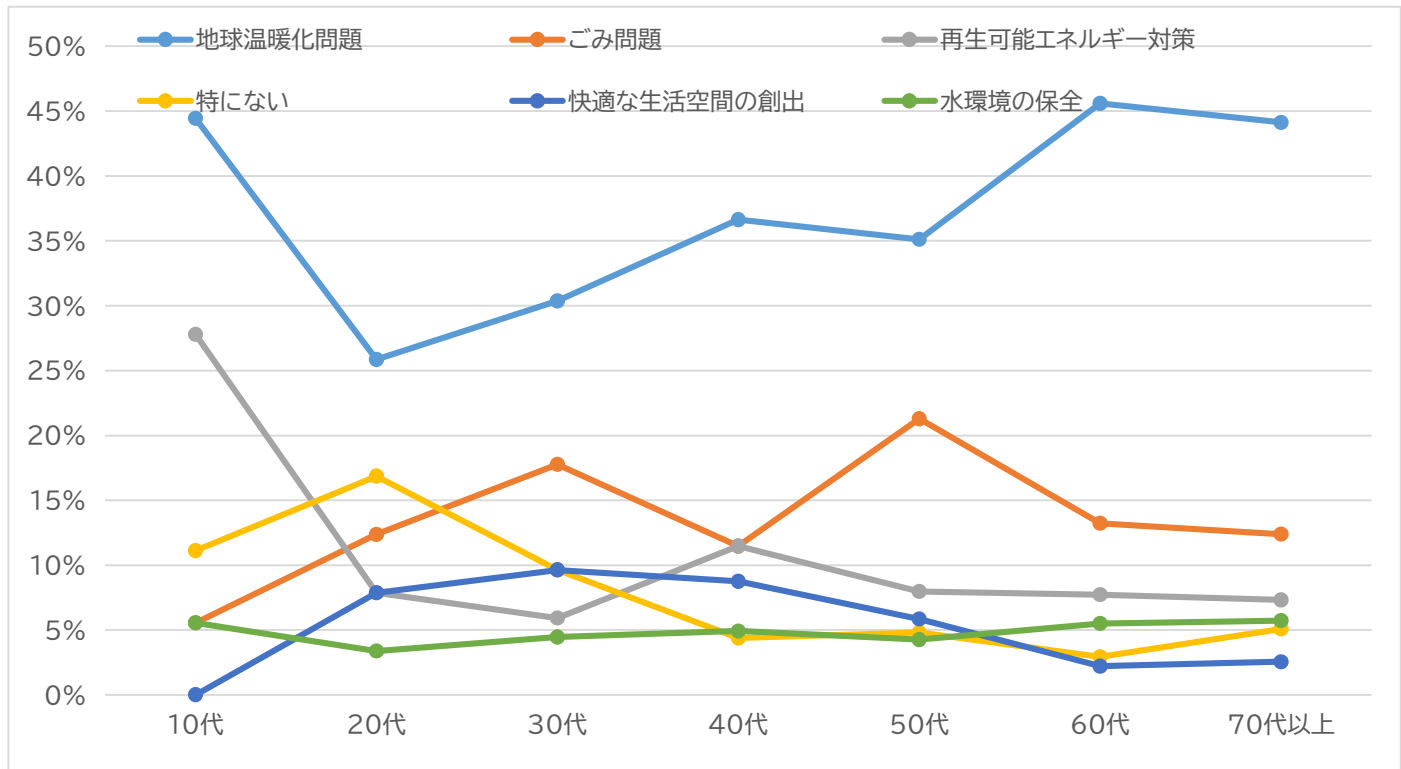
6 環境問題について

6-1 最も関心のある環境問題を、1つだけ選んでください。

全体



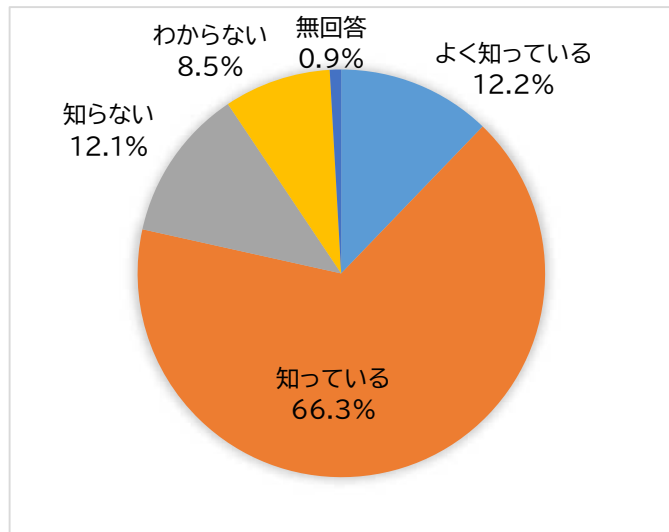
年代別 (上位6項目)



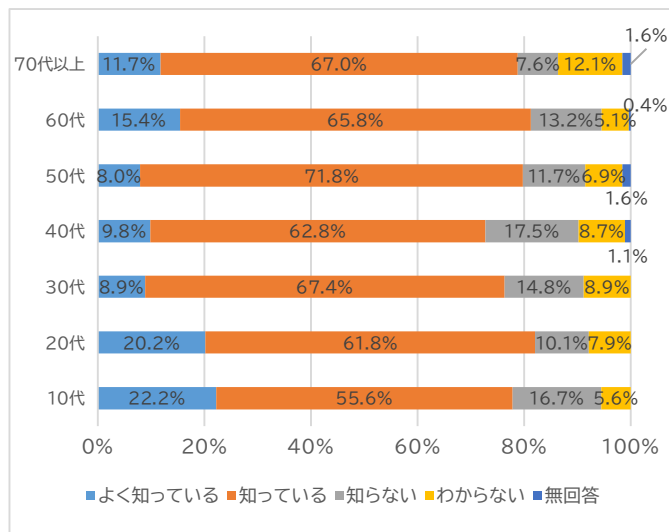
6 環境問題について

6-2 「野生生物や希少な動植物の減少または絶滅」が環境問題となっていることを知っていますか。

全体

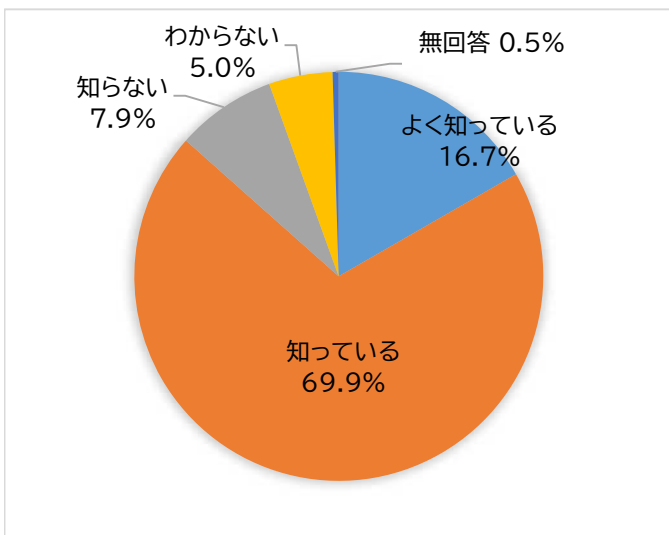


年代別

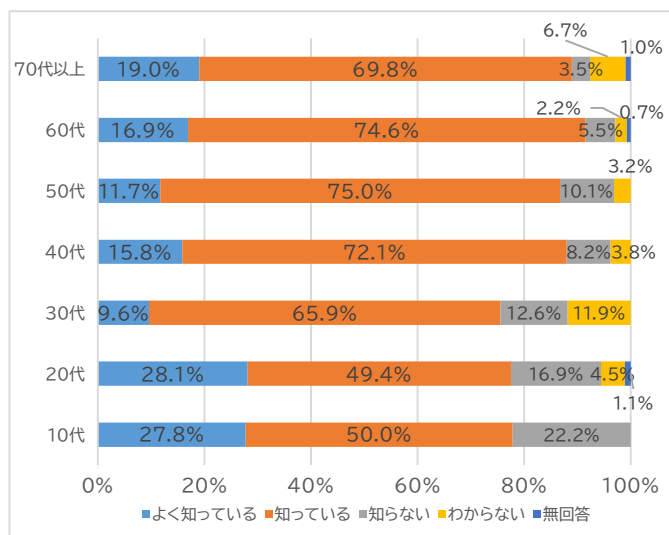


6-3 「外来生物による生態系への影響」が環境問題となっていることを知っていますか。

全体



年代別



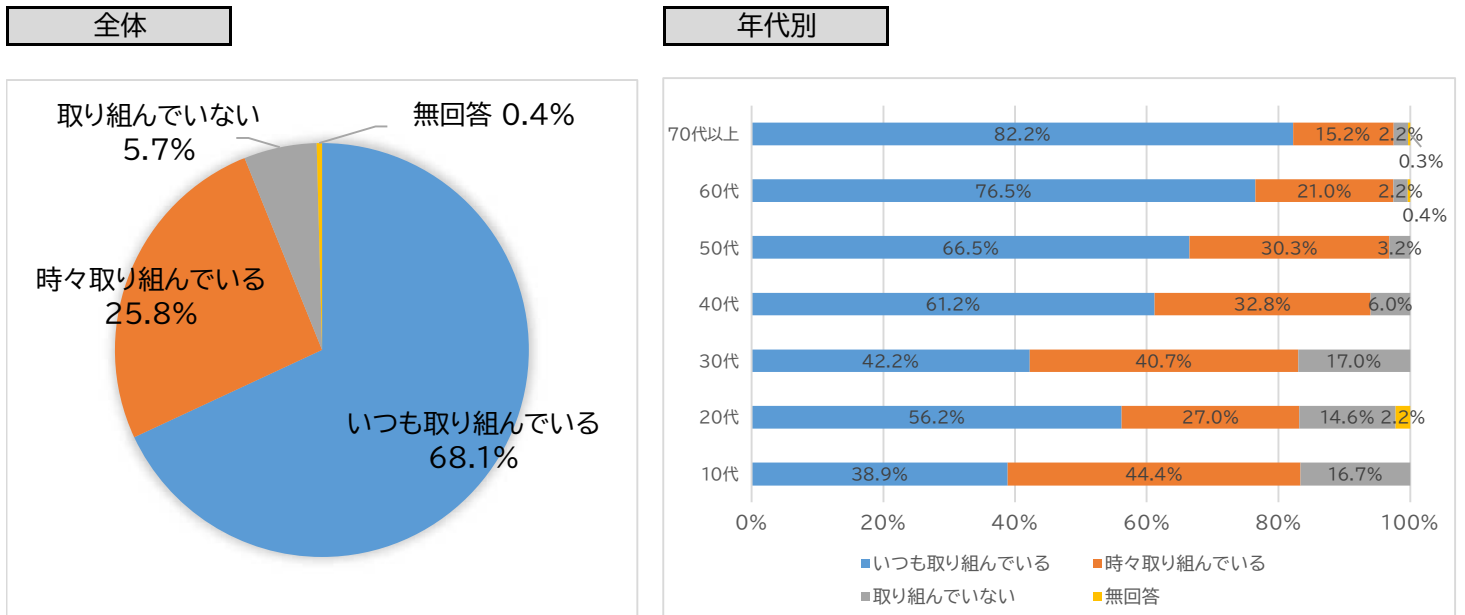
・前々回(令和3年度)及び前回(令和4年度)の調査結果と同じく、「地球温暖化問題」が最も高い結果となり38.7%となっています。また、14.3%の「ごみ問題」と合わせて半数を占め、前回に続いて2つの問題への関心の高さが分かる結果となりました。年代別に見ても傾向はおおむね似たものとなりました。

・「野生生物や希少な動植物の減少や絶滅」が環境問題となっていることを知っているかについては、「よく知っている」「知っている」と答えた人の合計が78.5%となりました。年代別に見ても、全ての年代で70%を超える割合となっています。

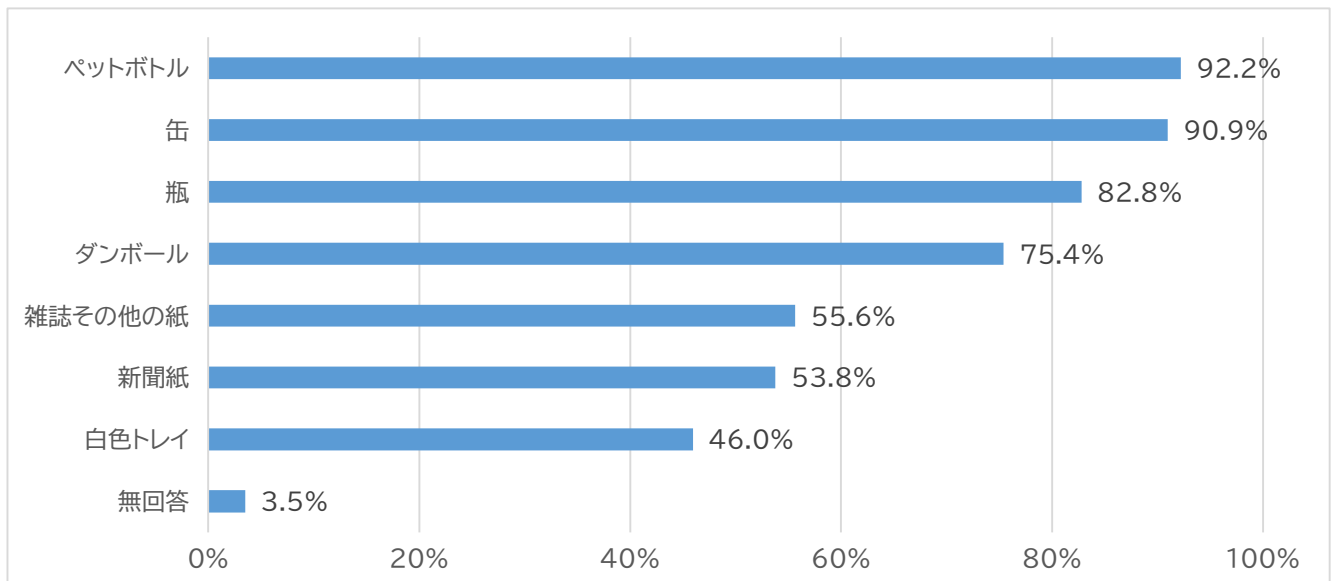
・「外来生物による生態系への影響」が環境問題となっていることを知っているかについては、「よく知っている」「知っている」と答えた人の合計が86.6%となりました。年代別に見ても、全ての年代で70%を超える割合となっています。

7 エコ活動について

7-1 家庭において白色トレイ、ペットボトルのリサイクルなど、ごみの減量化や資源化に取り組んでいますか。



7-2 質問7-1で「1.いつも取り組んでいる」「2.時々取り組んでいる」を選んだ方へお尋ねします。 次のうち、取り組んでいるものはどれですか。(当てはまるもの全てに○)



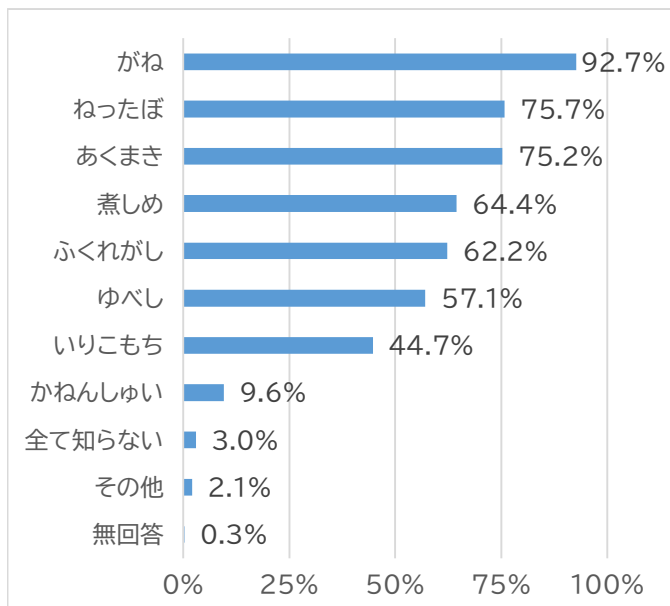
・「ごみの減量化や資源化に取り組んでいるか」について、「いつも取り組んでいる」「時々取り組んでいる」と答えた人の合計は93.9%でした。前回(令和4年度)の96.1%と比較すると2.2ポイント減少しました。年代別で見ると、年代が上がるにつれ「いつも取り組んでいる」と答えた人の割合が高くなる傾向が見られました。

・ごみの減量化や資源化の具体的な取組内容は、「ペットボトル」が92.2%、「缶」が90.9%、「瓶」が82.8%となっています。

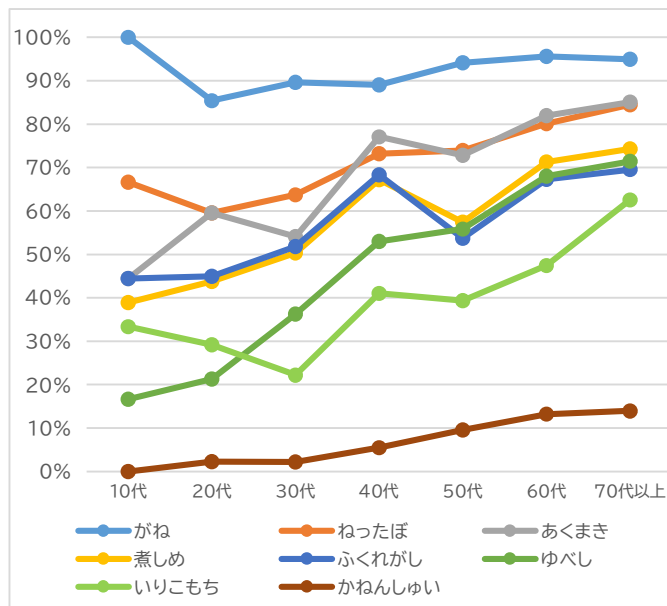
8 郷土料理について

8-1 都城の郷土料理だと知っている料理は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

全体

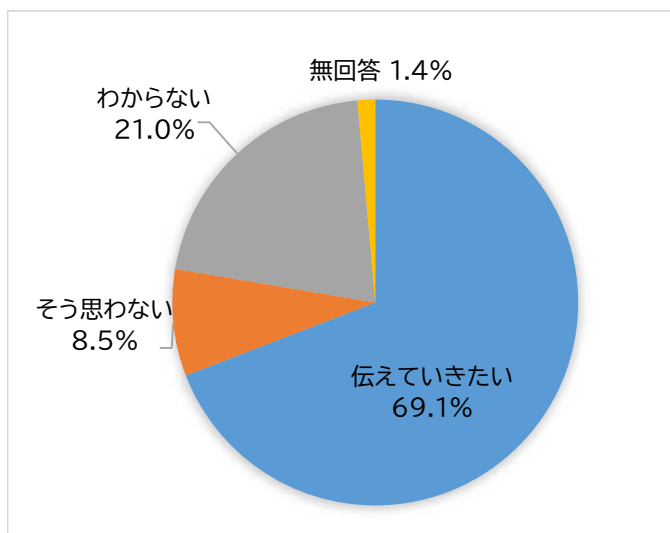


年代別 (総計上位8項目)

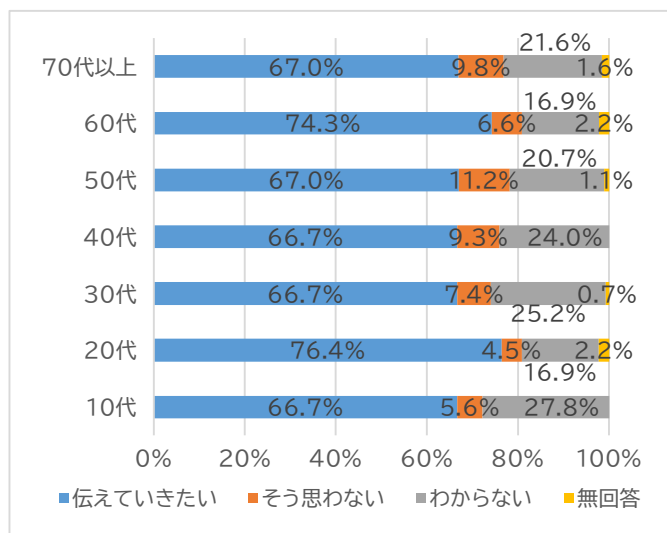


8-2 郷土料理を代々伝えていきたいと思いませんか。

全体



年代別

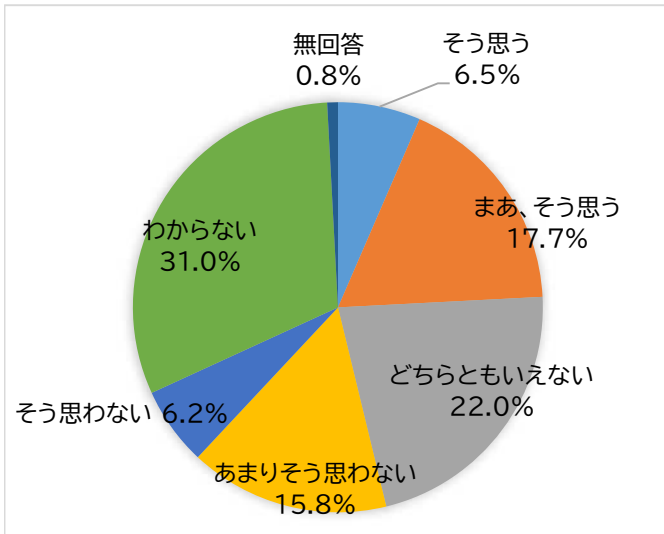


・「郷土料理だと知っている料理」については、「がね」が唯一の90%超えとなり、年代別に見ても、全年代において最も認知度の高い結果となりました。その他の料理については、各年代で多少の差はあるものの、おおむね似た傾向となりました。

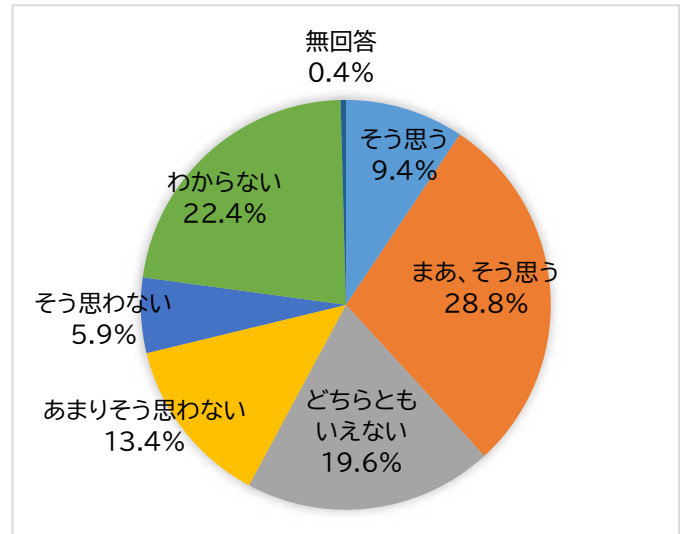
・「郷土料理を代々伝えていきたいか」については、「伝えていきたい」と答えた人が69.1%となりました。前回(令和4年度)の66.8%と比較すると2.3ポイント増加しました。全ての年代において、「伝えていきたい」の回答が65%を超えています。

9 地場産品やふるさと納税などについて

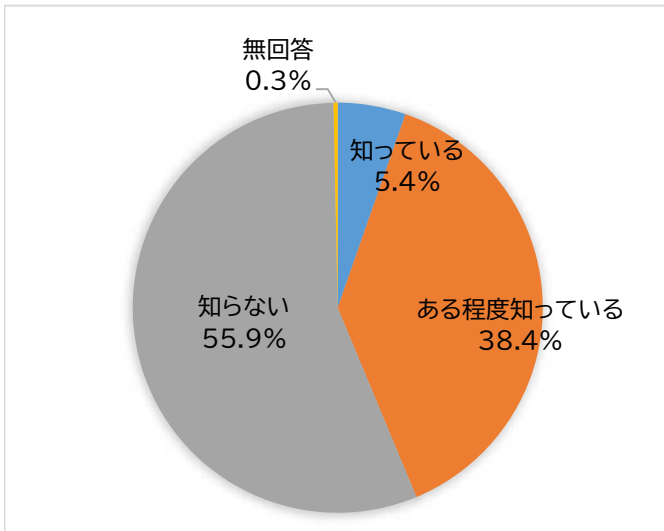
9-1 農林畜産業者の所得向上を目指す取り組みとして、6次産業化が地域に浸透していると思いますか。



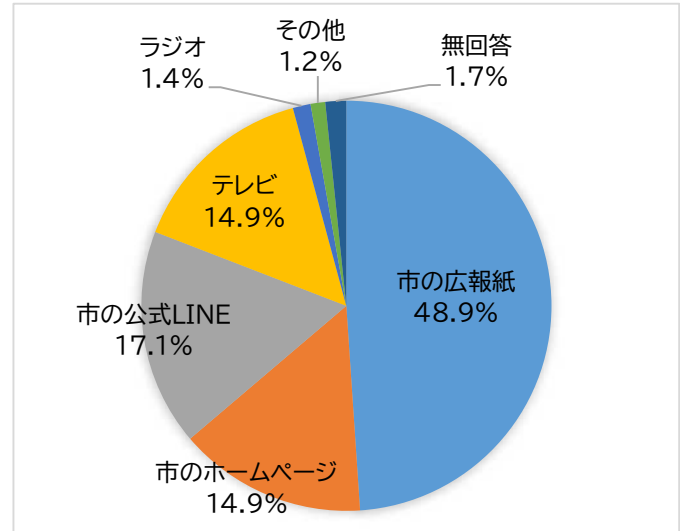
9-2 道の駅都城などを活用した地場産品の販売促進と販路拡大への取り組みが進んでいると思いますか。



9-3 ふるさと納税でいただいた寄附金がどのように使われているかを知っていますか。



9-4 ふるさと納税でいただいた寄附金の使い道をどのような方法で知りたいですか。



・「6次産業化が地域に浸透していると思うか」について、「そう思う」「まあ、そう思う」と答えた人の合計は24.2%、「そう思わない」「あまりそう思わない」と答えた人の合計は22.0%となり、「そう思う」「まあ、そう思う」のと答えた人の合計が2.2ポイント多い結果となりました。

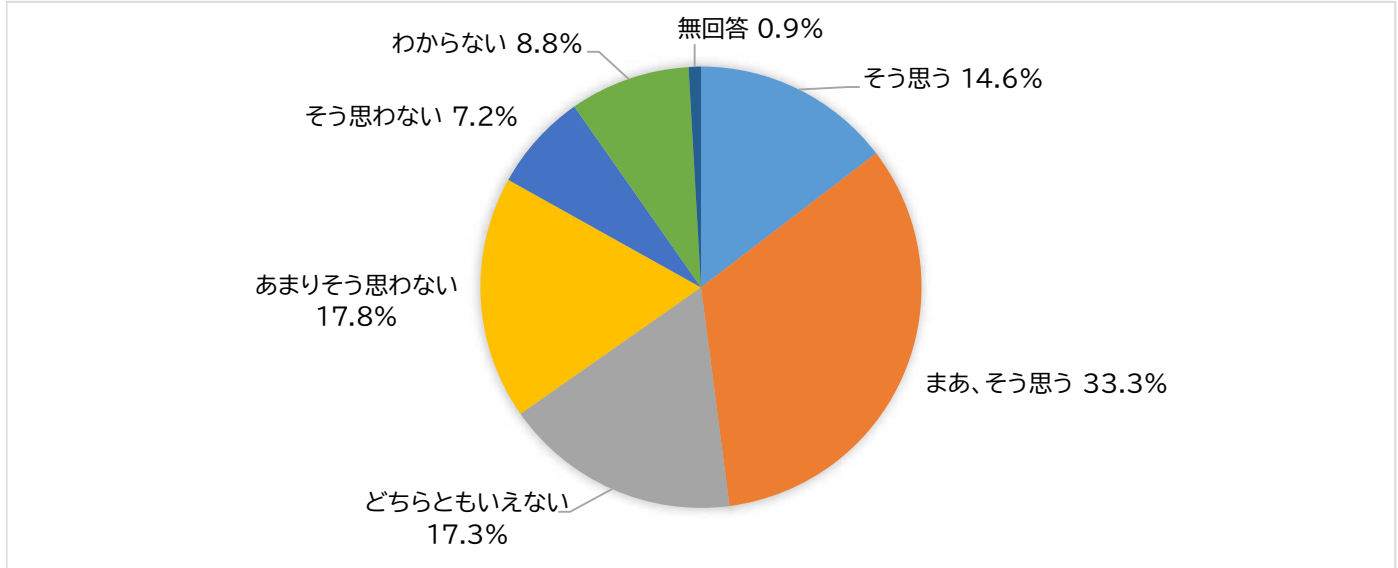
・「ふるさと納税でいただいた寄附金の使い道」については、「知っている」「ある程度知っている」の合計が43.8%、前回(令和4年度)は、「知っている」「ある程度知っている」と答えた人の合計は35.8%でしたので、8ポイント高い結果となりました。

・「ふるさと納税でいただいた寄附金の使い道をどのような方法で知りたいか」については、「市の広報紙」の48.9%が最も高い結果となりました。

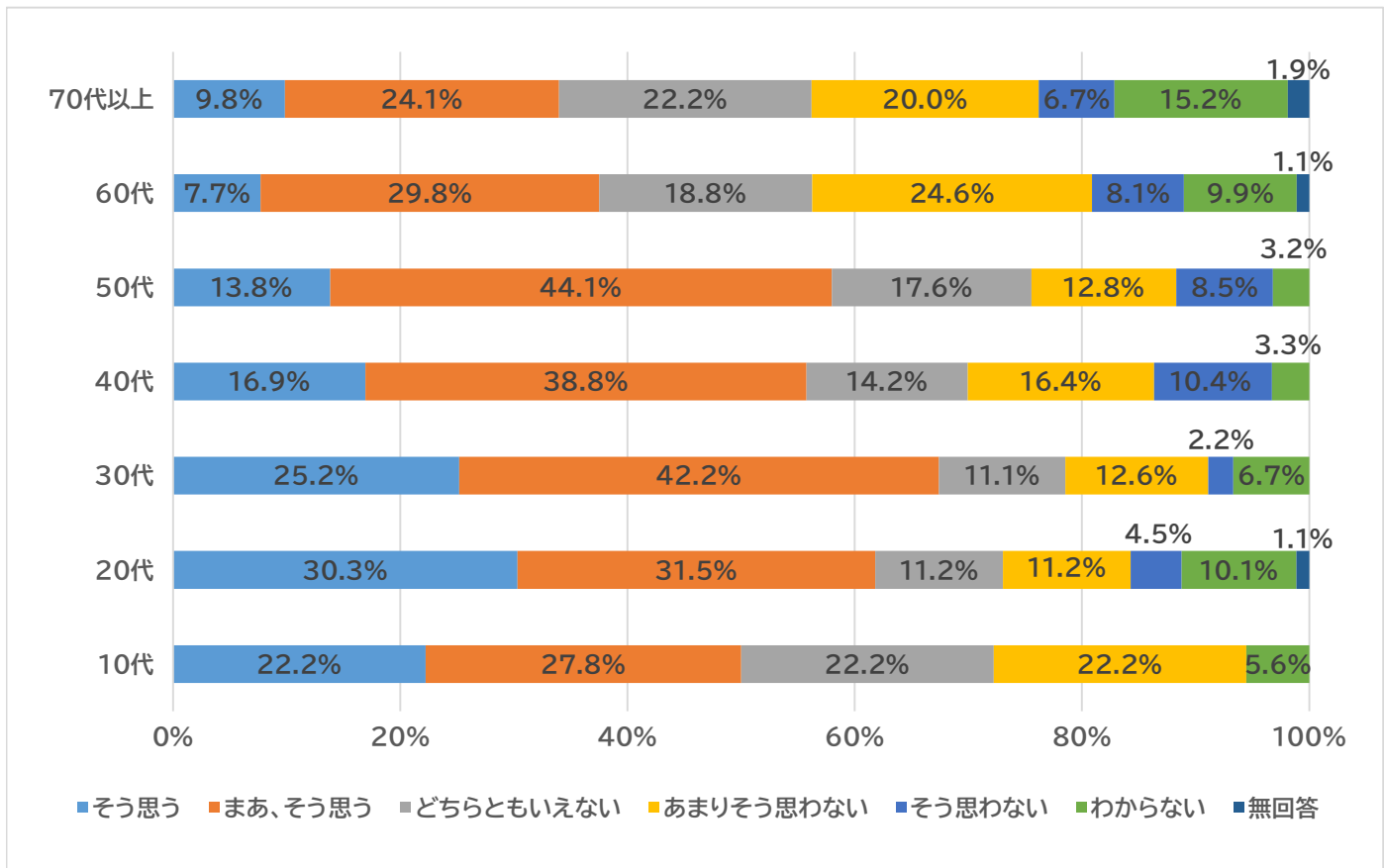
10 中心市街地中核施設「Mallmall(まるまる)」について

10-1 中心市街地中核施設「Mallmall」が整備されて、中心市街地が活性化してきていると思いますか。

全体

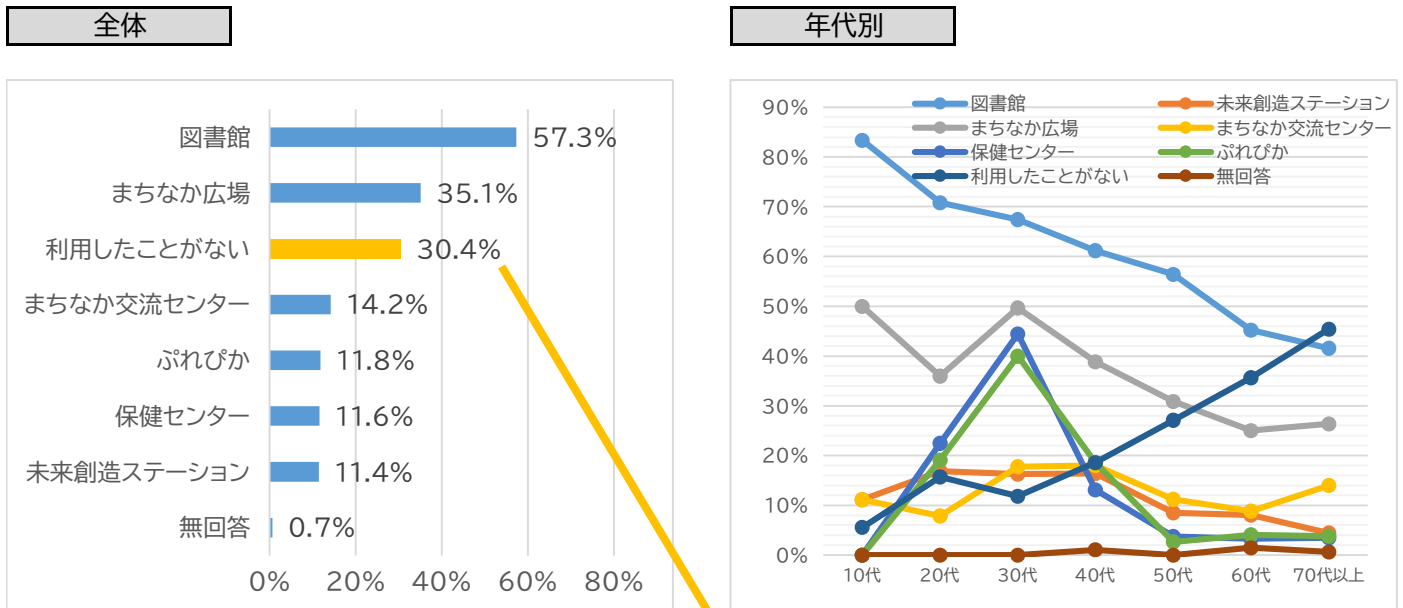


年代別

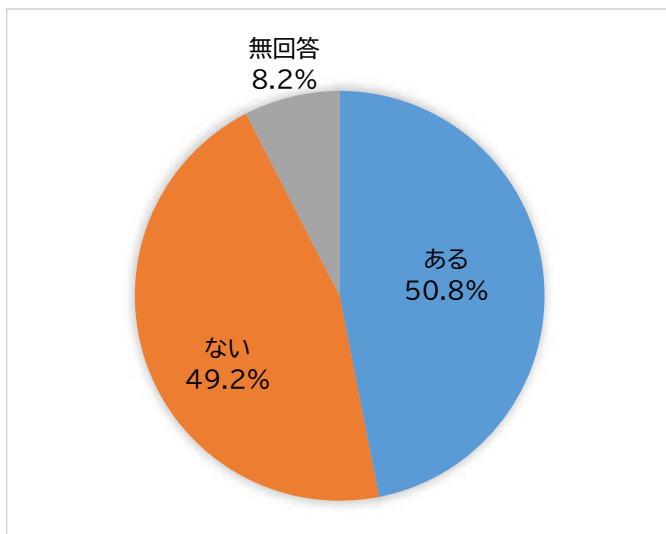


10 中心市街地中核施設「Mallmall(まるまる)」について

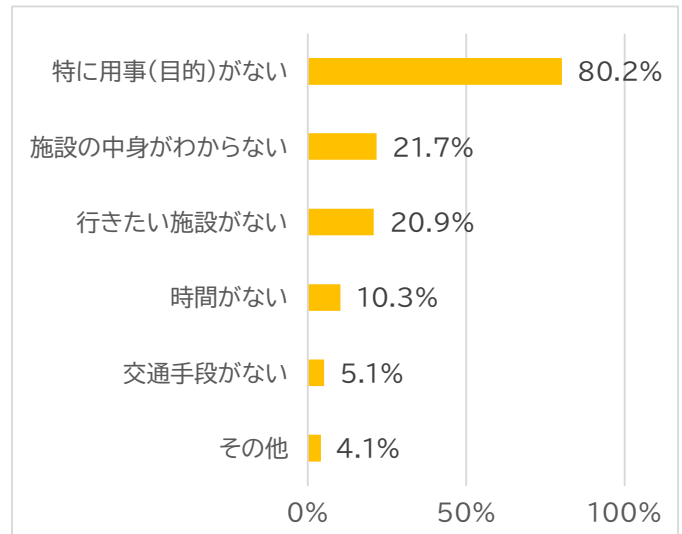
10-2 中心市街地中核施設「Mallmall」のどの施設を利用したことがありますか。(当てはまるもの全てに○)



10-3 10-2で選択肢の「1～6の施設を利用した」と回答された方へお尋ねします。施設利用の前後で、周辺商店街などを利用したことがありますか。



10-4 質問10-2で「7.利用したことがない」と回答された方へお尋ねします。施設を利用したことがない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)



・「中心市街地中核施設「Mallmall(まるまる)」が整備されて活性化していると思うか」について、「そう思う」「まあ、そう思う」と答えた人の合計は47.9%となり、前回(令和4年度)の45.8%と比較すると2.1ポイントの増加となりました。

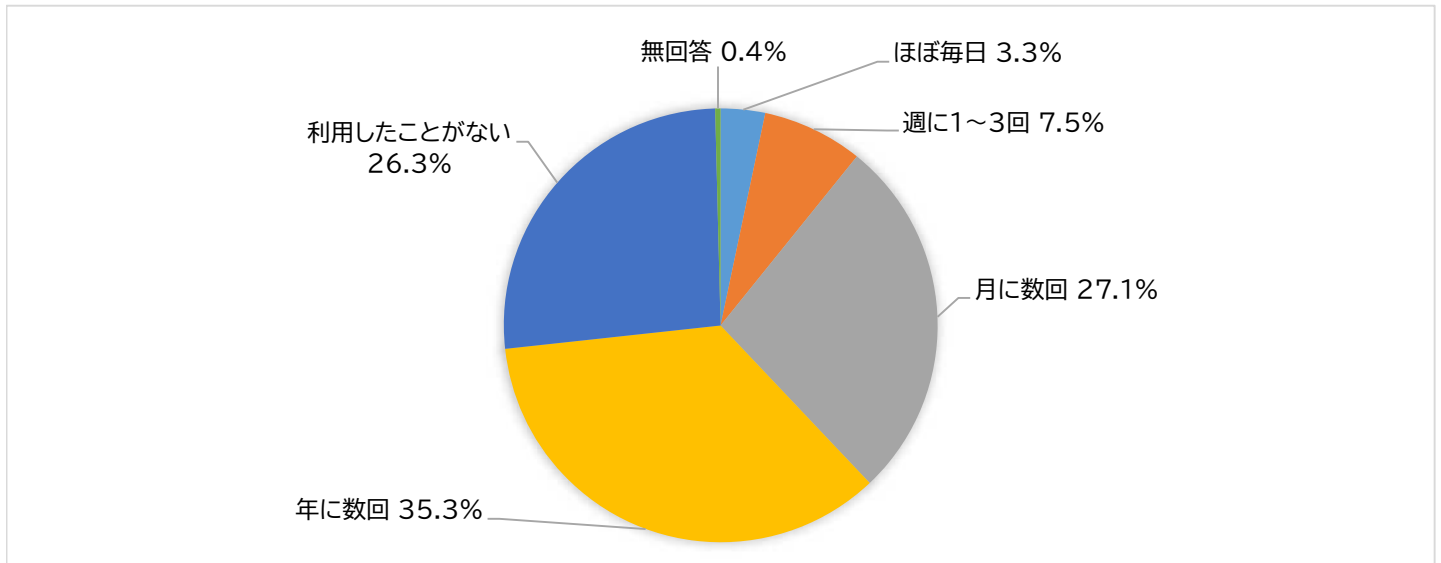
・「どの施設を利用したことがあるか」については、「図書館」が最も多く57.3%、次いで「まちなか広場」が35.1%でした。「利用したことがない」と答えた人は30.4%で、前回(令和4年度)の36.9%と比較すると、6.5ポイント減となりました。

・利用したことがある人のうち、「施設を利用する前後の周辺商店街等の利用」については、「ある」と回答した方が50.8%となり、前回(令和4年度)の44.6%と比較すると6.2ポイントの増加となっています。

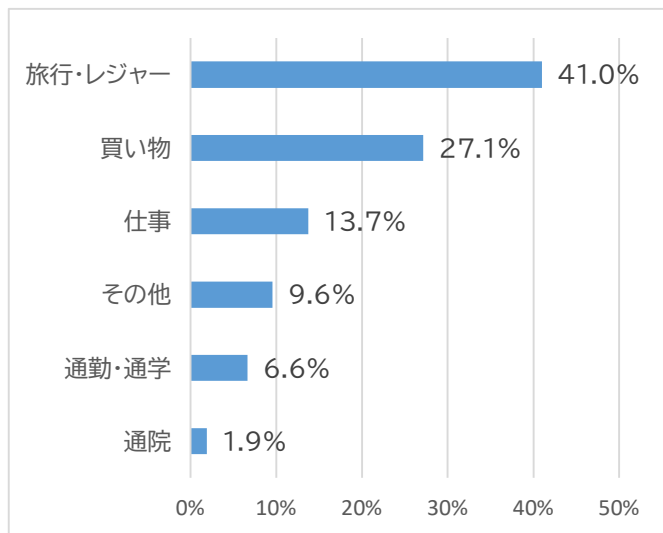
・「利用したことがない」理由については「特に用事(目的)がない」が最も高く、80.2%でした。

11 都城志布志道路について

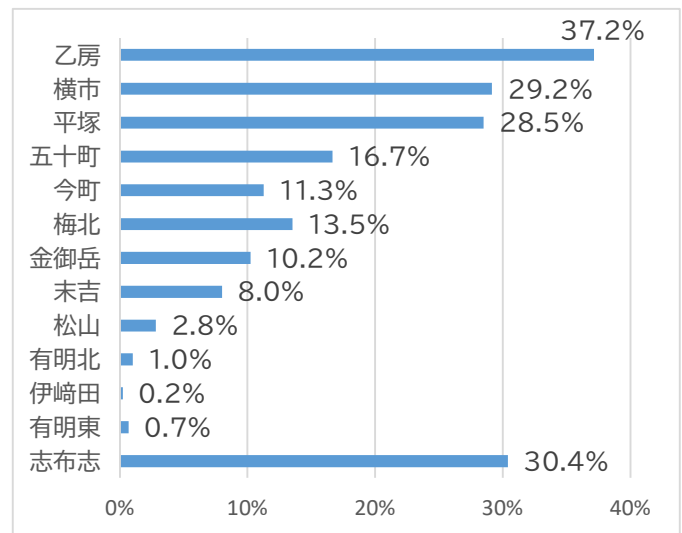
11-1 都城志布志道路は、令和4年3月末に乙房IC(インターチェンジ)から志布志IC区間が開通していますが、どのくらいの頻度で利用されていますか。



11-2 質問11-1で都城志布志道路を利用したことがある方へお尋ねします。どのような目的で利用されていますか。主な目的を1つ選んでください。



11-3 11-1で都城志布志道路を利用したことがある方へお尋ねします。主に乗り降りするインターチェンジを2つ教えてください。



・「都城志布志道路の利用の頻度」については、「ほぼ毎日」「週に1~3回」「月に数回」「年に数回」と答えた人の合計は、73.2%の回答となりました。

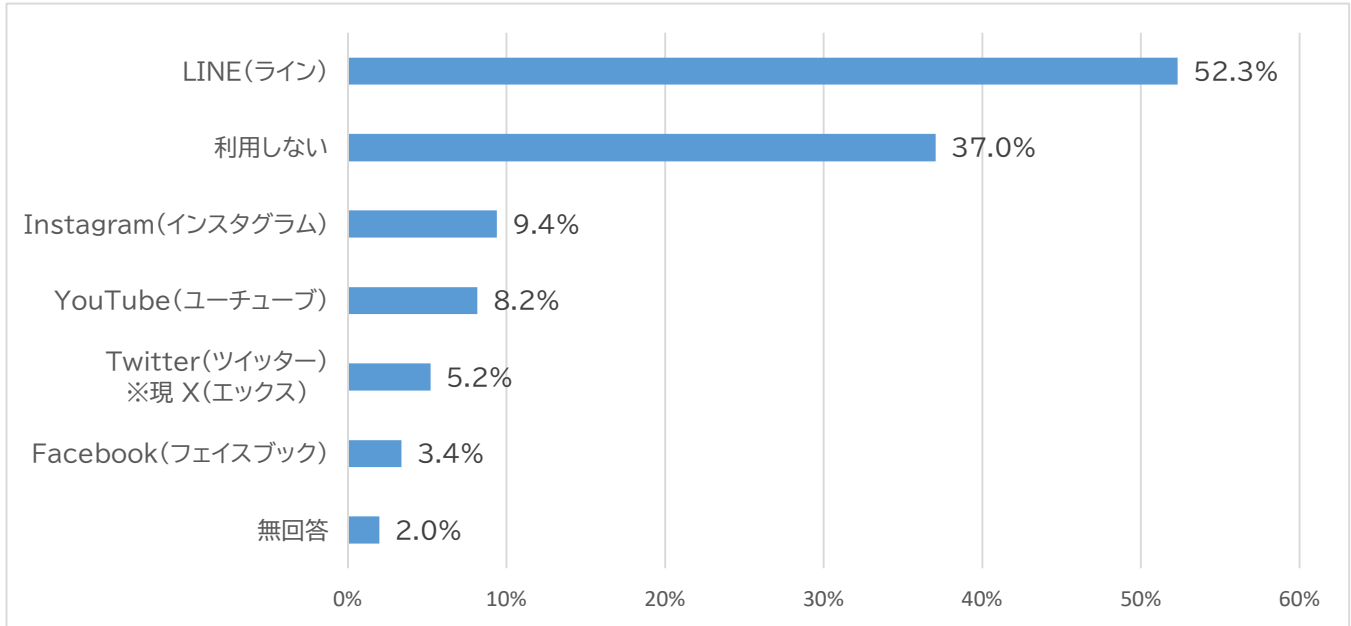
・利用したことがある人のうち「都城志布志道路の利用の目的」については、「旅行・レジャー」が41.0%と最も多く、次いで「買い物」の27.1%、「仕事」の13.7%となりました。

・利用したことがある人のうち「都城志布志道路の主に乗り降りするインターチェンジ」については、「乙房」が37.2%と最も多く、次いで「志布志」の30.4%という結果となりました。

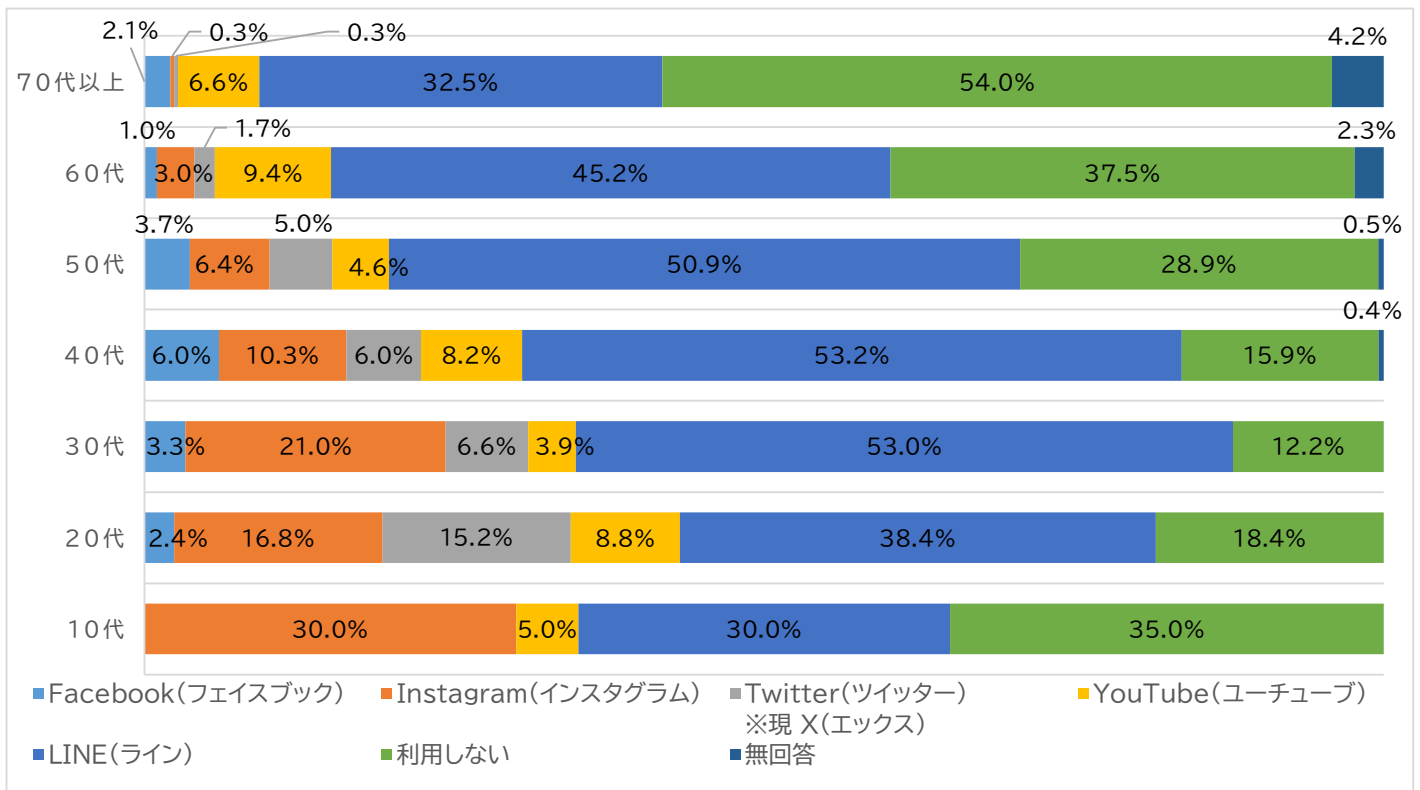
12 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の利用について

12-1 あなたが市の情報(消防・防災含む)を収集するとき、利用しているSNSはどれですか。(当てはまるもの全てに○)

全体



年代別



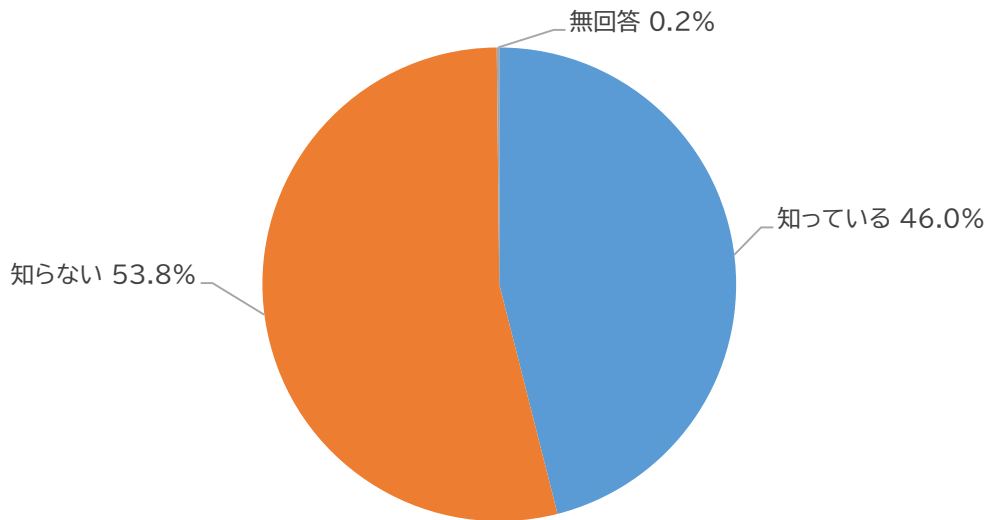
・「市の情報(消防・防災含む)を収集するとき、利用しているSNS」については、「LINE(ライン)」が52.3%と最も多い結果となり、年代別でも「LINE(ライン)」が最も多い結果となりました。

・「市の情報(消防・防災含む)を収集するとき、利用しているSNS」を「利用しない」と答えた方が37.0%となり、年代が上がるにつれ多くなる傾向がありました。70代以上では54.0%の人が「利用しない」と回答しています。

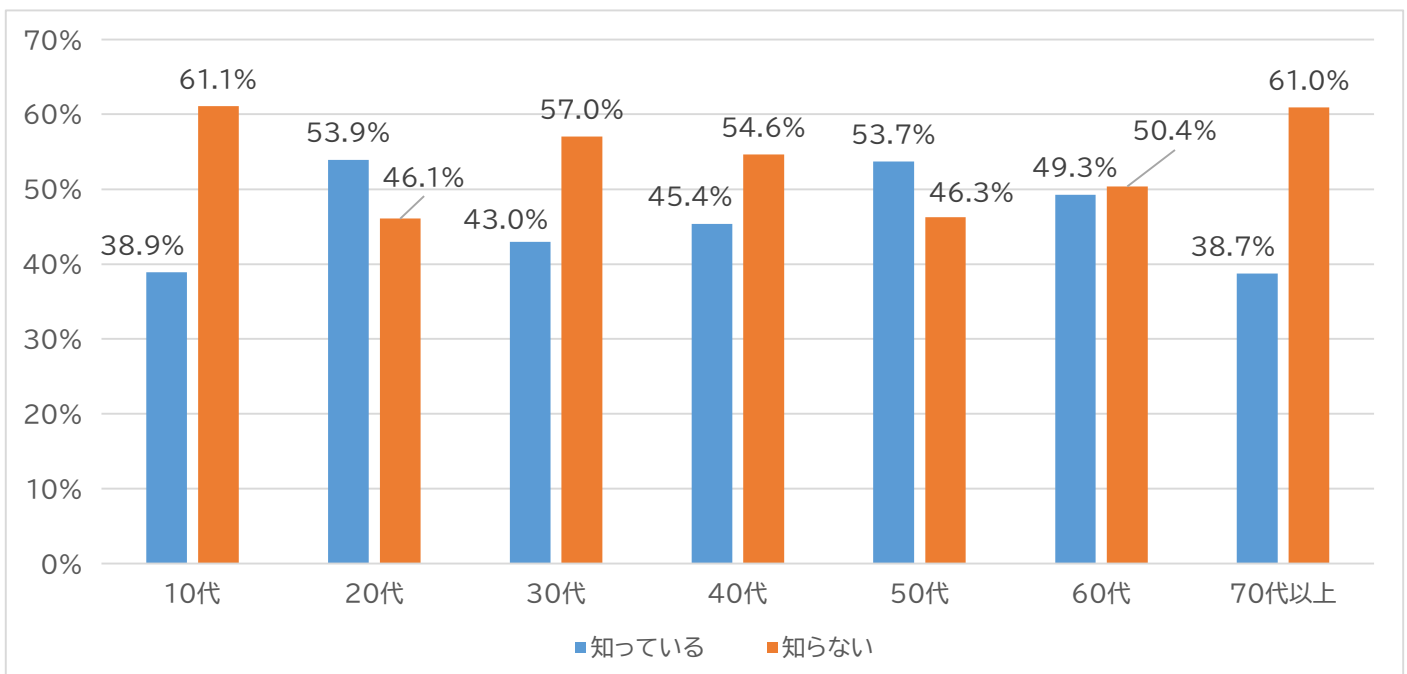
13 Web口座振替について

13 銀行窓口へ出向かなくてもパソコンやスマートフォンなどでインターネットを利用して市税などの口座振替の申込ができる「Webによる口座振替受付サービス」を知っていますか。

全体



年代別



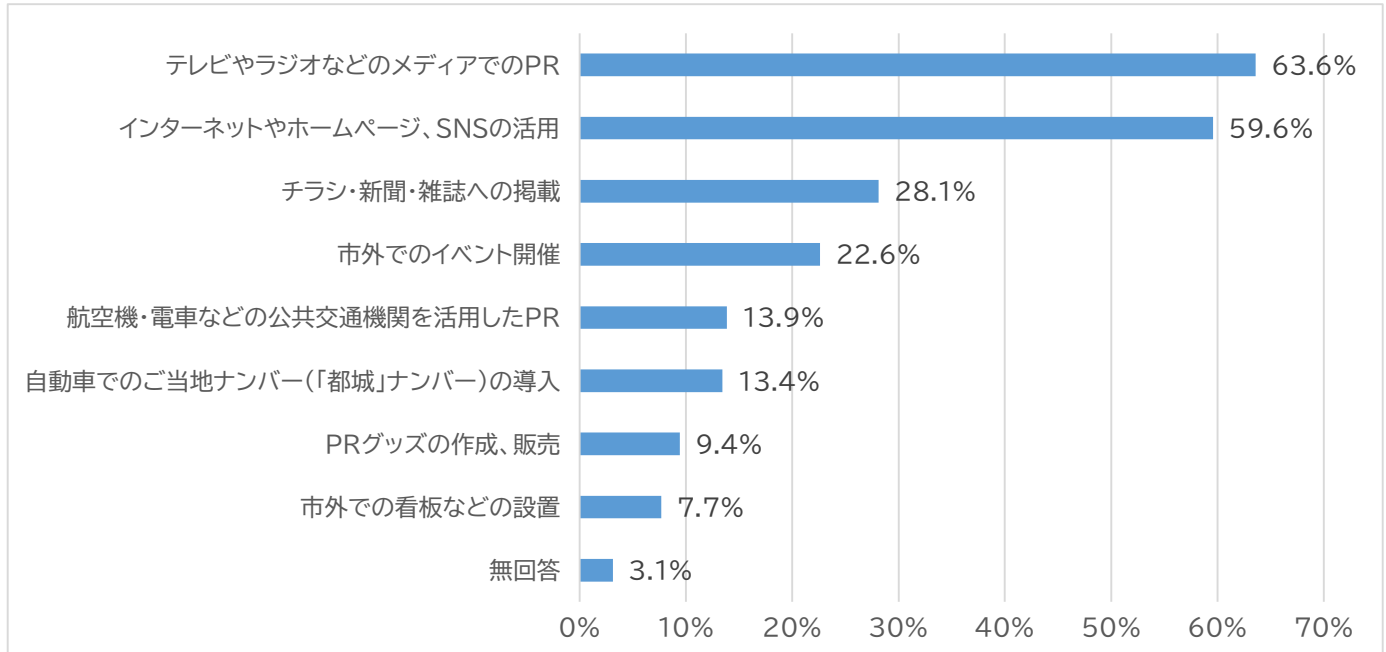
・「Webによる口座振替受付サービス」については、「知っている」と答えた人が46.0%、「知らない」と答えた人が53.8%と回答しており、「知らない」と答えた人が7.8ポイント多い結果となりました。

・年代別に見ても20代と50代を除いては、「知らない」と答える世代が多い結果となりました。

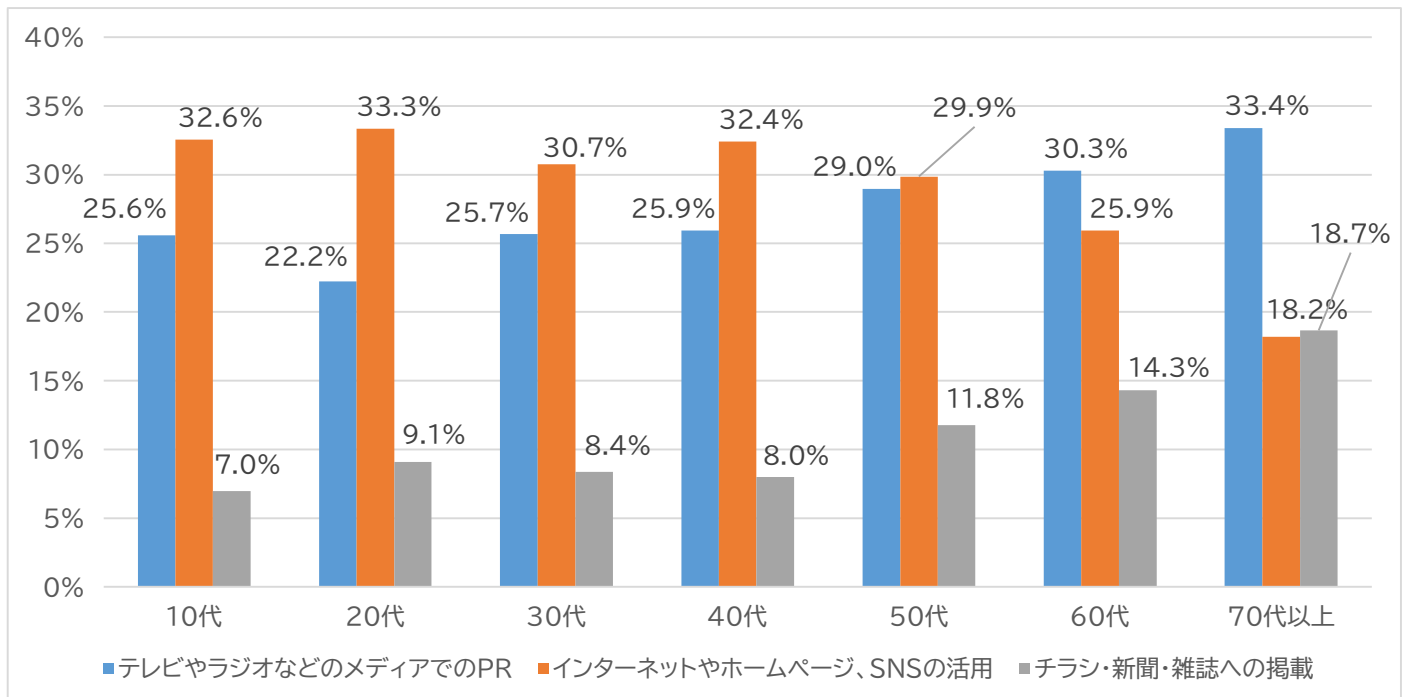
14 市の対外的PRについて

14 今後、市が対外的PRを推進する上で、どのようなものが効果的だと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

全体



年代別 (総計上位3項目)



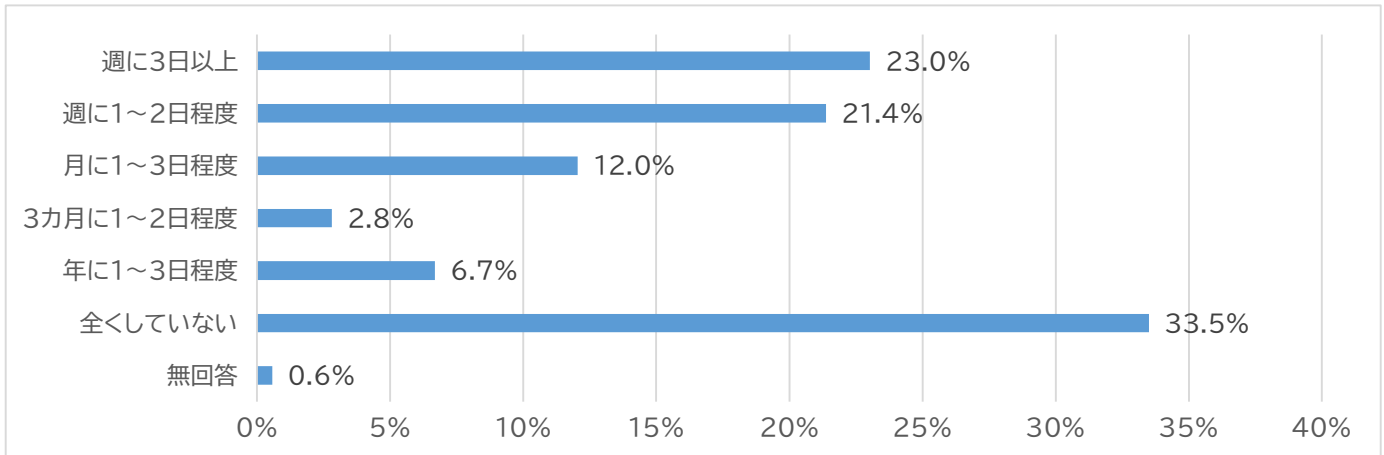
・「市が対外的PRを推進する上で、どのようなものが効果的か」については、「テレビやラジオなどのメディアでのPR」が63.6%と最も多く、次いで「インターネットやホームページ、SNSの活用」が59.6%となりました。

・総計上位3項目を年代別に見ると年代が下がるにつれ「インターネットやホームページ、SNSの活用」の割合が高くなり、年代が上がるにつれ「テレビやラジオなどのメディアでのPR」や「チラシ・新聞・雑誌への掲載」の割合が高くなる傾向となりました。

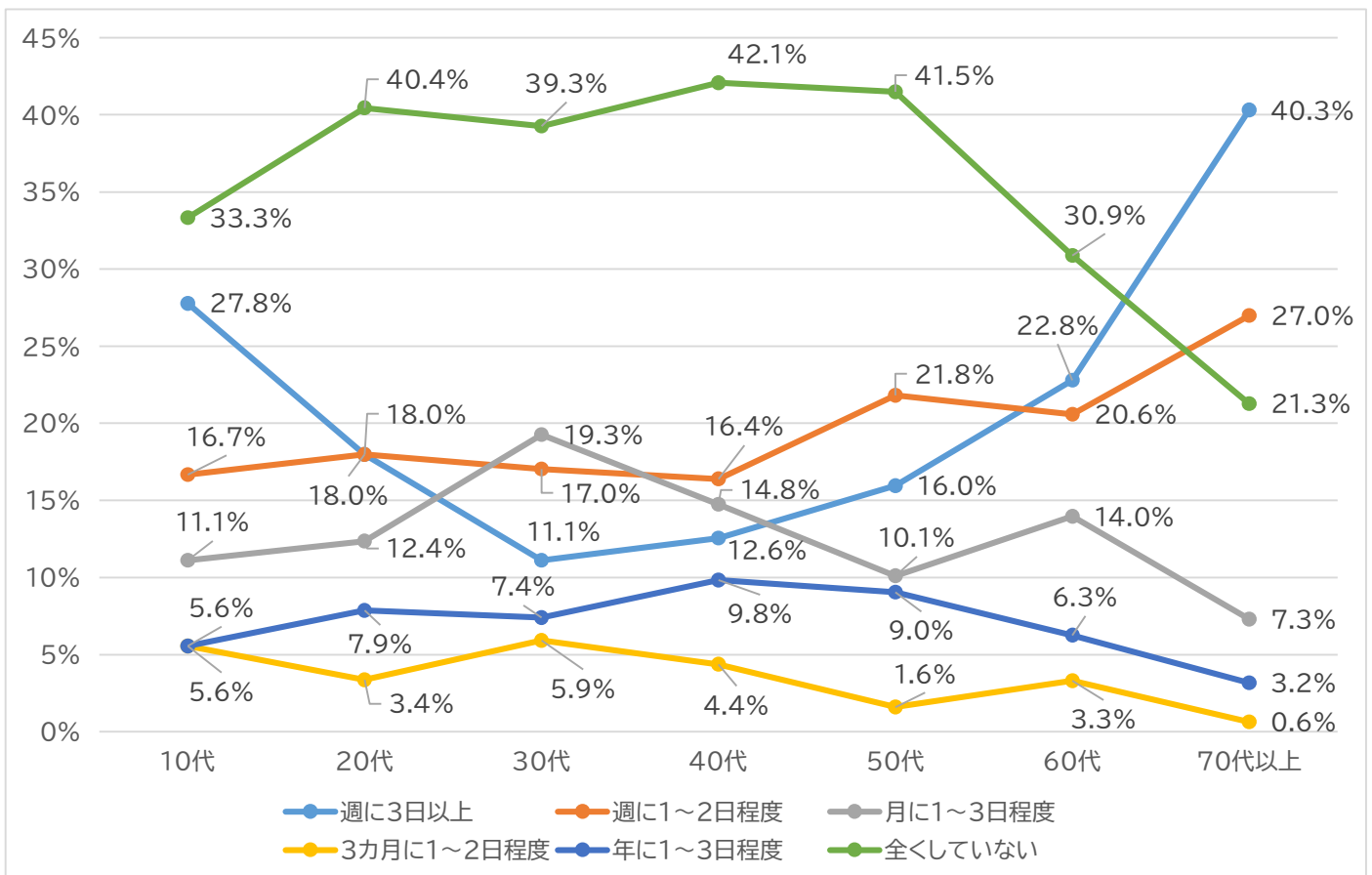
15 スポーツについて

15 あなたは、健康や楽しみなどのために、運動・スポーツ(体操やウォーキングなどを含む)を行っていますか。

全体



年代別

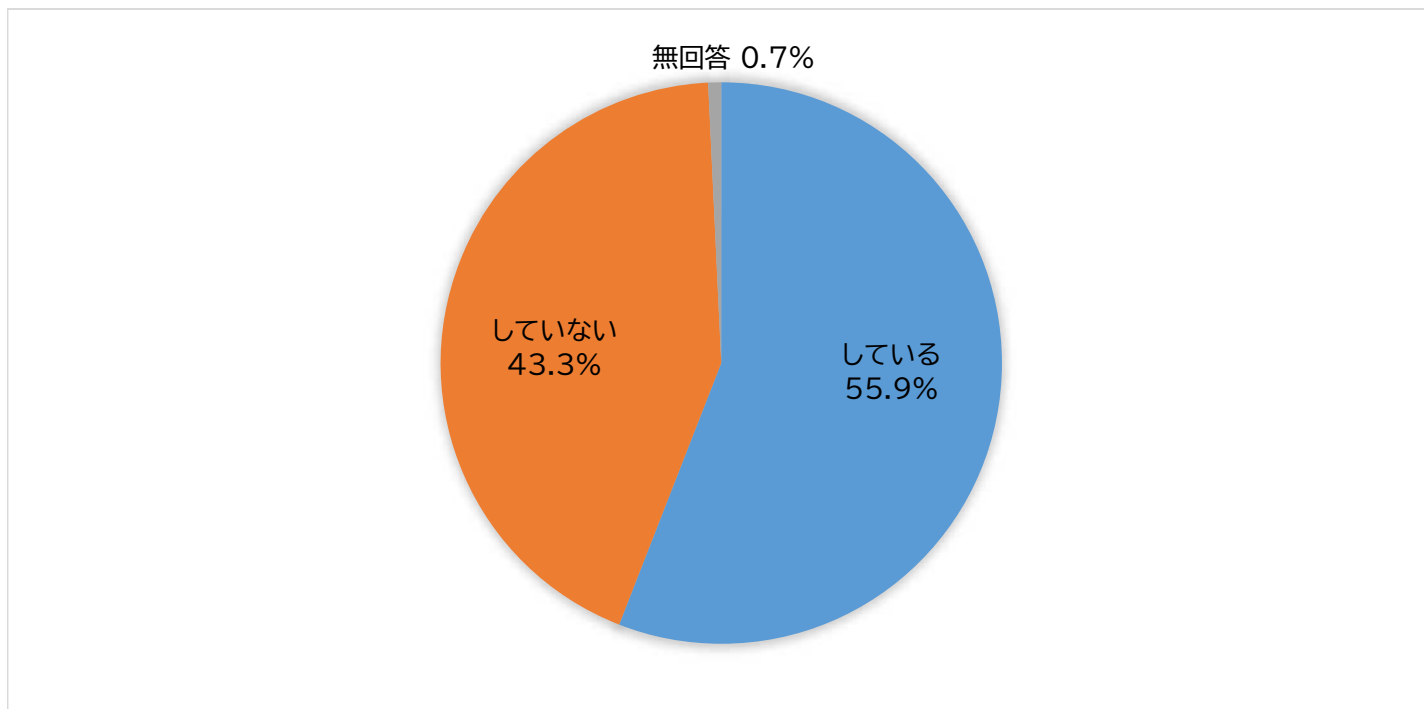


・「運動・スポーツ(体操やウォーキングなどを含む)を行っているか」について、「週に3日以上」と答えた人が23.0%、「週に1~2日程度」と答えた人が21.4%となりました。「週に3日以上」については、70代以上が40.3%、60代が22.8%と答えています。

・20代から50代の世代は、約40%の人が「全くしていない」と答えています。

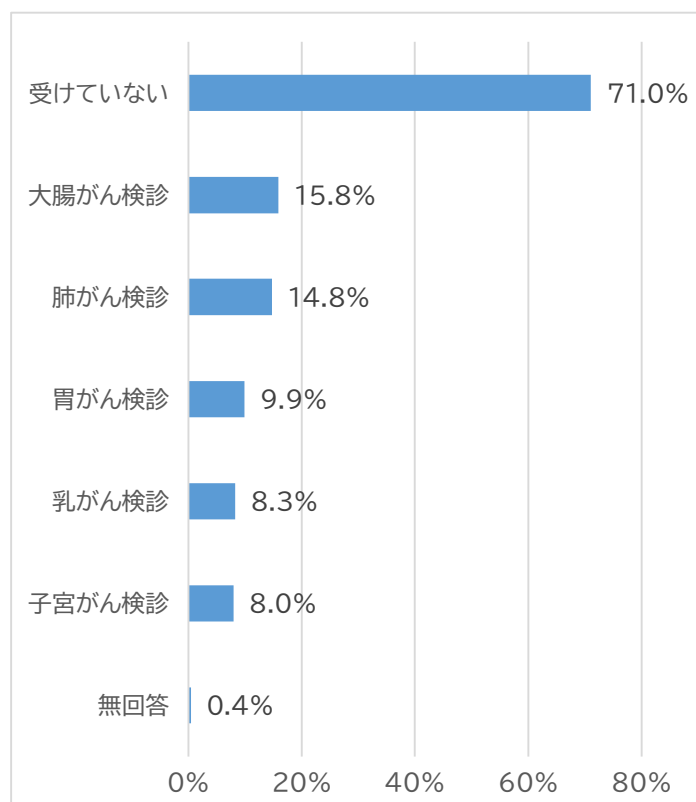
16 健康づくりについて

16-1 体重のコントロール(適正標準体重の維持や減量)をしていますか。

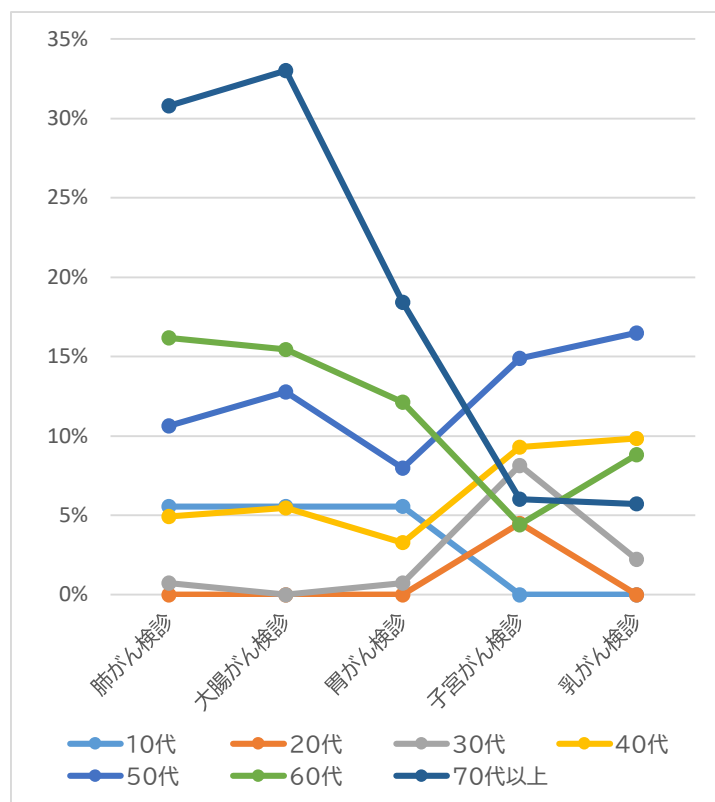


16-2 昨年度に市が実施したがん検診を受けましたか。(当てはまるもの全てに○)

全体

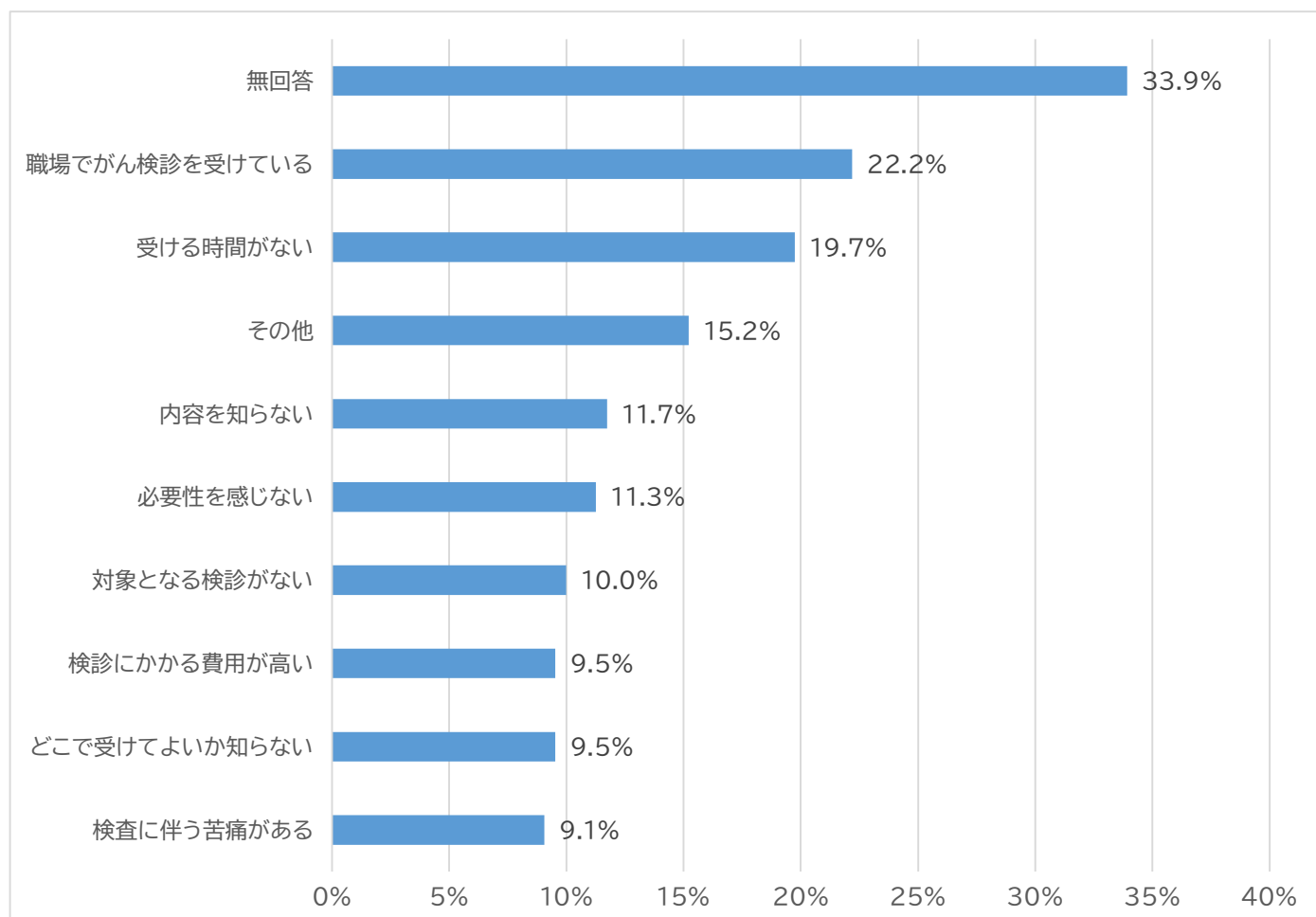


年代別 (受診した検診の割合)



16 健康づくりについて

16-3 ※質問16-2で「6.受けていない」を選んだ方へお尋ねします。受けられなかった理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)



・「体重のコントロール(適正標準体重の維持や減量)をしているか」については、55.9%の人が「している」と回答しています。前回(令和4年度)の58.2%と比較すると、2.3ポイントの減少となりました。

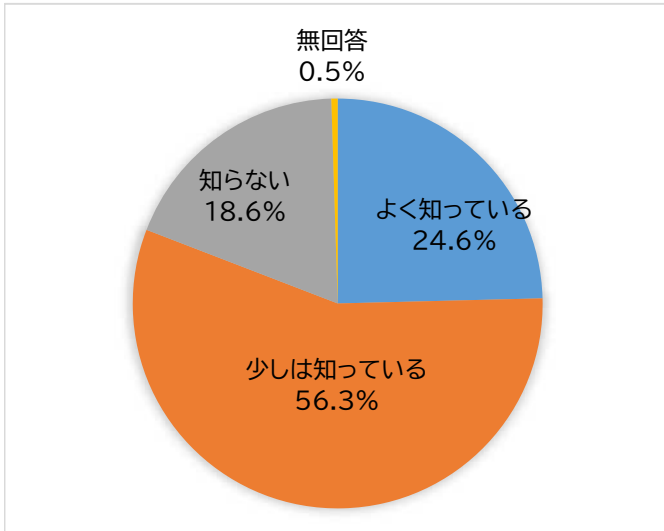
・「昨年度に市が実施したがん検診を受けているか」については、71.0%の人が「受けていない」と答えています。

・「市が実施したがん検診を受けられなかった理由」については、22.2%の人が「職場でがん検診を受けている」と回答し、19.7%の人が「受ける時間がない」と回答しました。

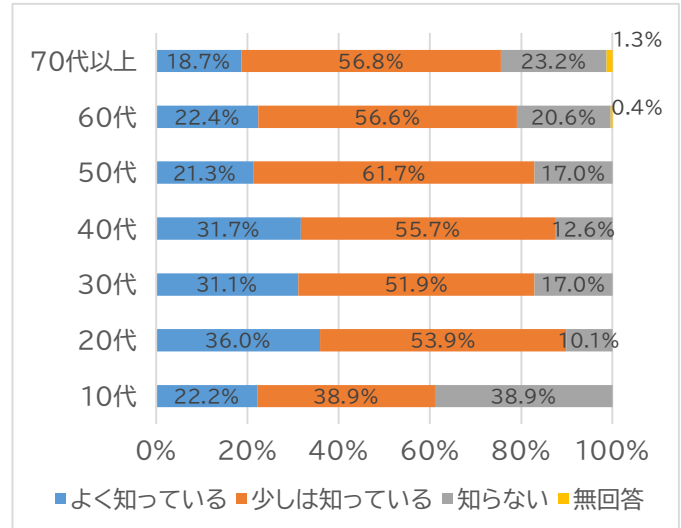
17 心の健康について

17-1 自殺で亡くなった人は、うつ病の人が多くと言われています。憂うつ、気分が重い、好きなこともやりたくないなどの「うつ病のサイン」を知っていますか。

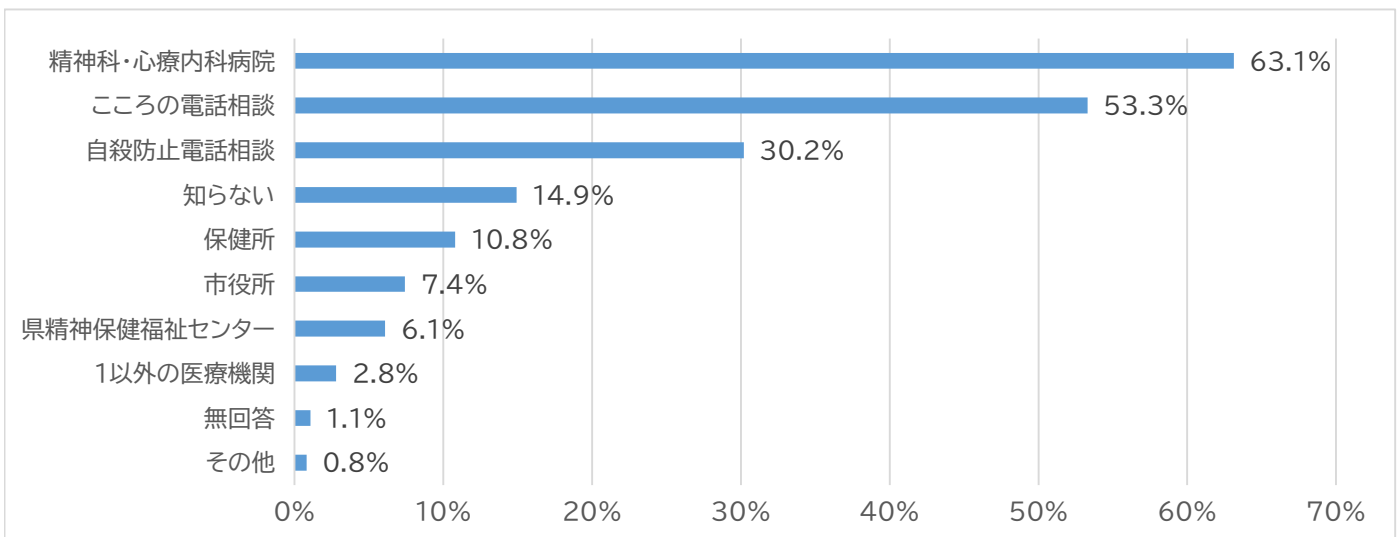
全体



年代別



17-2 こころの悩みの相談先として知っている窓口はどこですか。(当てはまるもの全てに○)

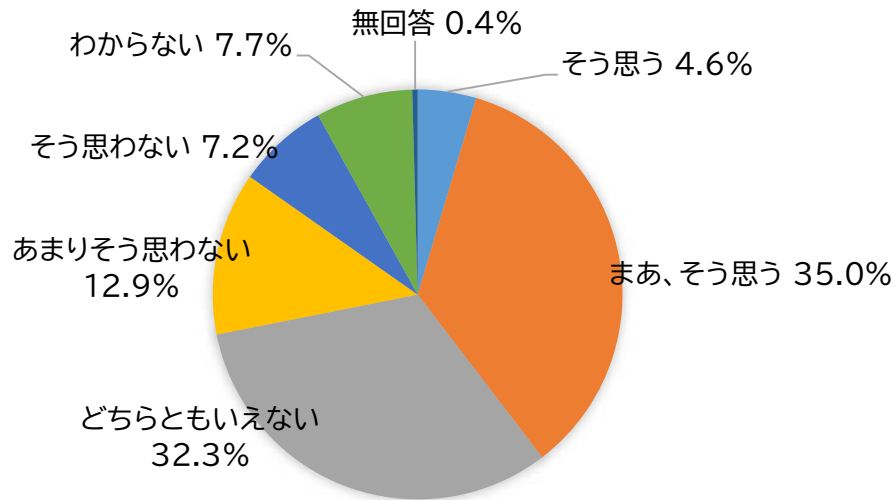


・「うつ病のサインを知っているか」について、「よく知っている」「少しは知っている」と答えた人の合計は80.9%となりました。年代別にみると、20代が最も高く89.9%、次いで40代の87.4%となりました。

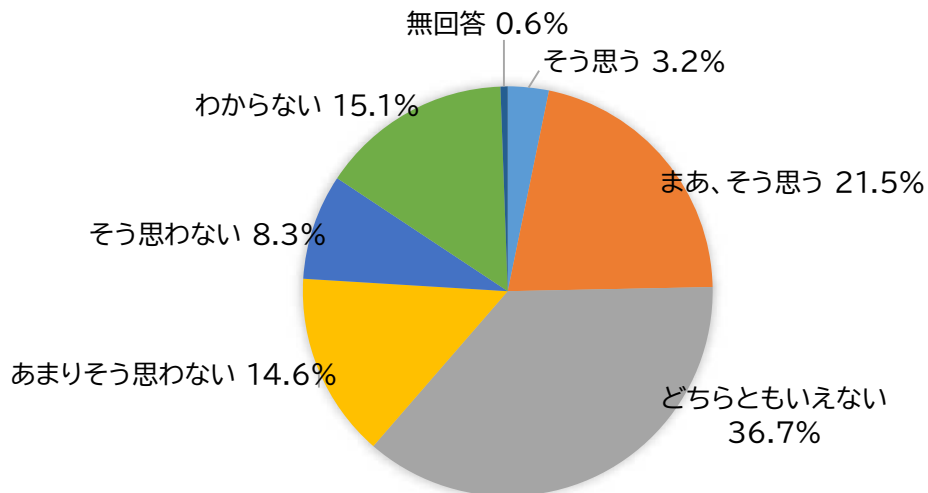
・「こころの悩みの相談先として知っている窓口」については、前回(令和4年度)と同じく「精神科・心療内科病院」が最も高く63.1%、次いで「こころの電話相談」の53.3%となりました。

18 福祉の充実について

18-1 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまちだと思いますか。



18-2 障がい者が社会に参加して安心して暮らせるまちだと思いますか。



・「高齢者が生きがいを持ち安心して暮らせるまちだと思うか」について、「そう思う」「まあ、そう思う」と答えた人の合計は39.6%となり、前回(令和4年度)の39.5%と比較して、0.1ポイント増加しました。

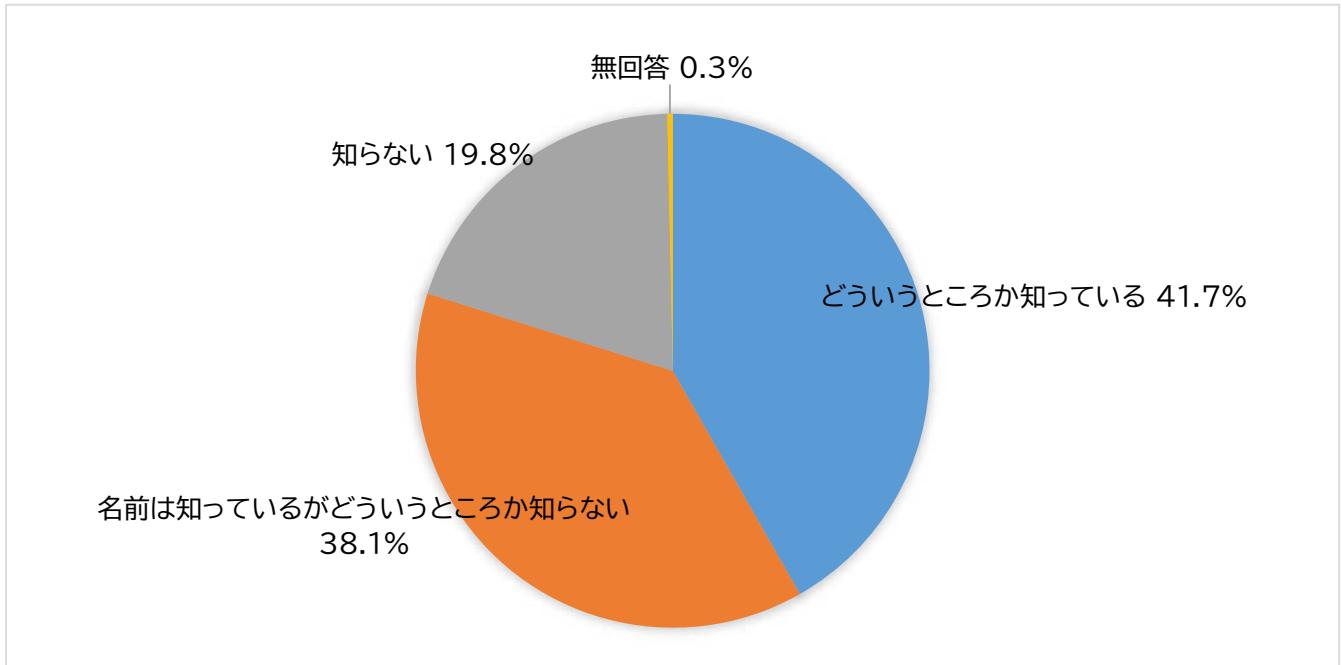
・「高齢者が生きがいを持ち安心して暮らせるまちだと思うか」について、「そう思わない」「あまりそう思わない」と答えた人の合計は20.1%となり、前回(令和4年度)の18.7%と比較して、1.4ポイント増加しました。

・「障がい者が社会に参加して安心して暮らせるまちだと思うか」について、「そう思う」「まあ、そう思う」と答えた人の合計は24.7%となりました。

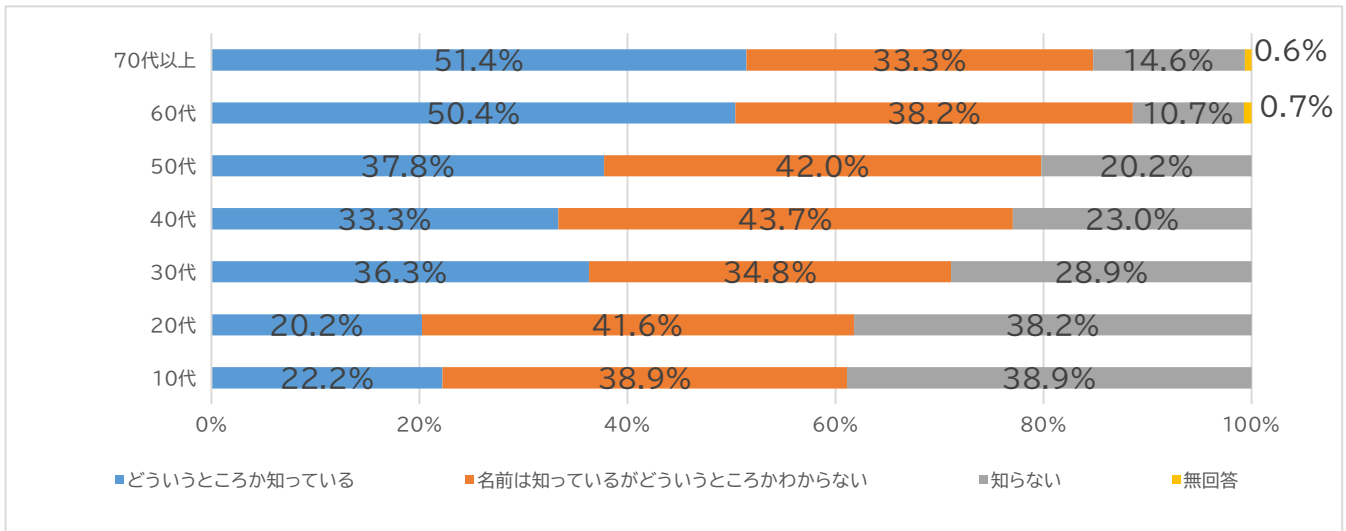
19 社会保障について

19 地域包括支援センターを知っていますか。

全体



年代別



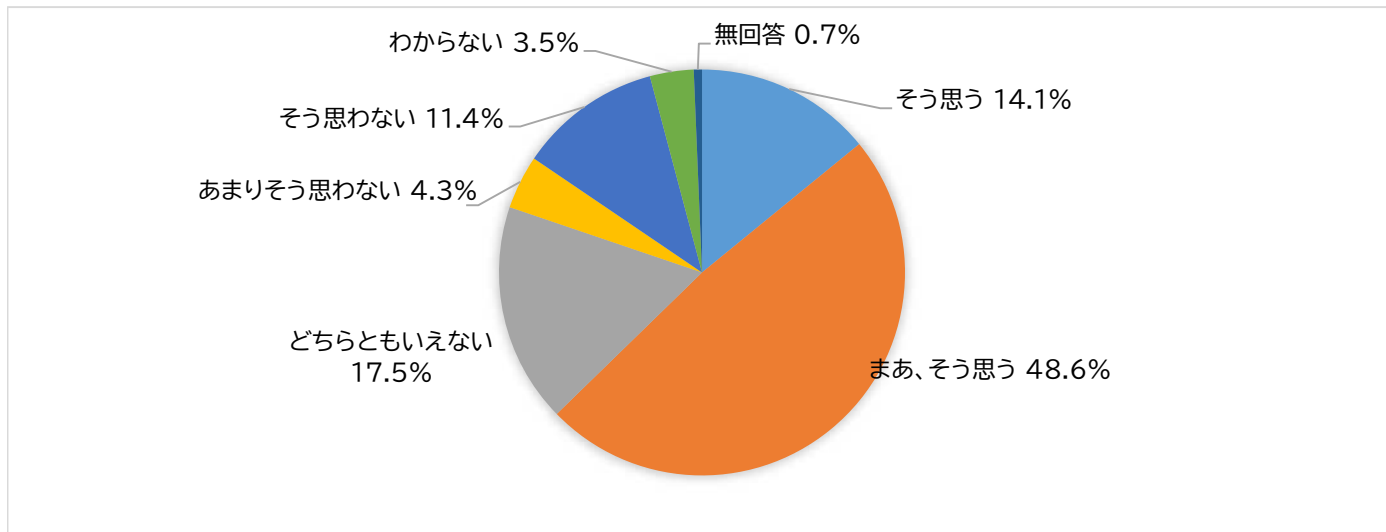
・「地域包括支援センターを知っているか」については、41.7%が「知っている」と答えています。前回(令和4年度)の40.5%と比較すると1.2ポイントの増加となっています。また、年代別では、年代が上がるにつれて「知っている」の割合が高くなっています。

・「知らない」と答えた人は19.8%となっており、前回(令和4年度)の22.4%と比較すると2.6ポイント減少しました。

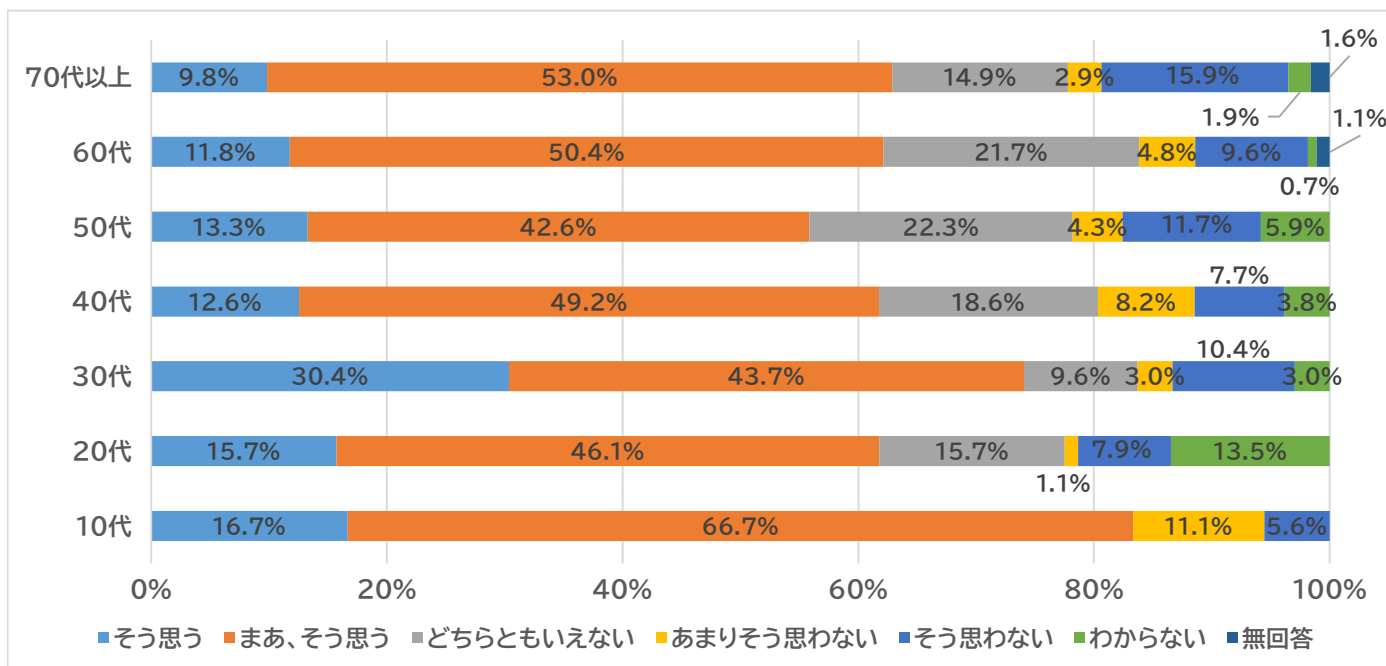
20 子育てについて

20 子育てしやすい、又は子育てにやさしいまちだと思いますか。

全体



年代別



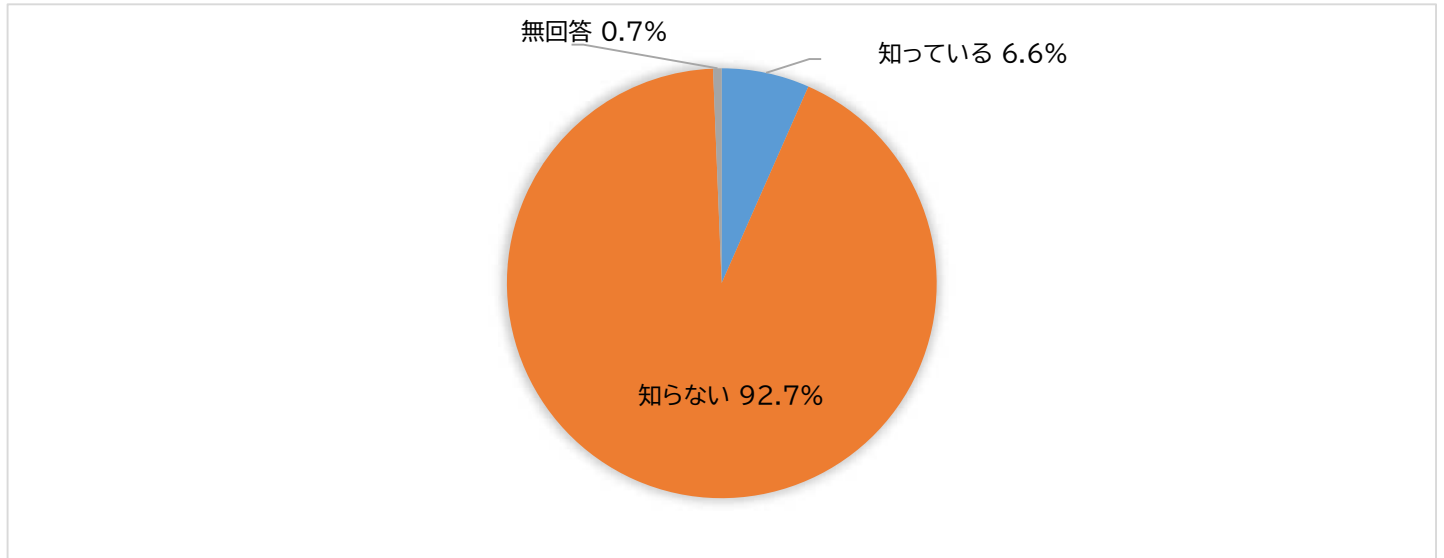
・「子育てしやすい、又は子育てにやさしいまちだと思うか」について、「そう思う」「まあ、そう思う」と答えた人の合計が62.7%となり、前回(令和4年度)の48.7%と比較すると14.0ポイント増加しました。

・年代別に見て「そう思う」「まあ、そう思う」の合計が最も高い結果となったのは10代の83.4%、次いで30代の74.1%でした。また、前回(令和4年度)と比較しても全ての年代において「そう思う」「まあ、そう思う」の合計の割合が増加しました。

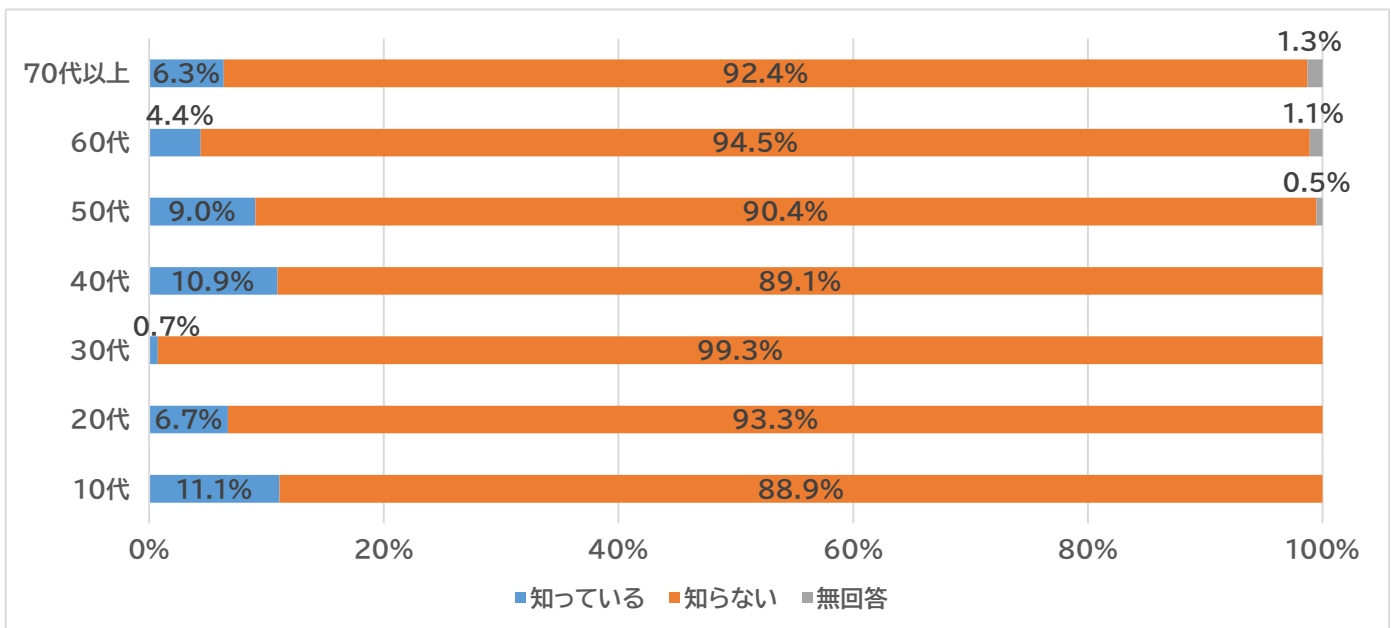
21 都城教育の日について

21 市では、一人一人が学びについて考え、教育への理解と関心を高める原点の日として、毎年2月18日を「都城教育の日」に制定していることを知っていますか。

全体



年代別



・「都城教育の日を知っているか」について、「知っている」と答えた人が6.6%、「知らない」と答えた人が92.7%と、「知らない」と答えた人が多い結果となりました。

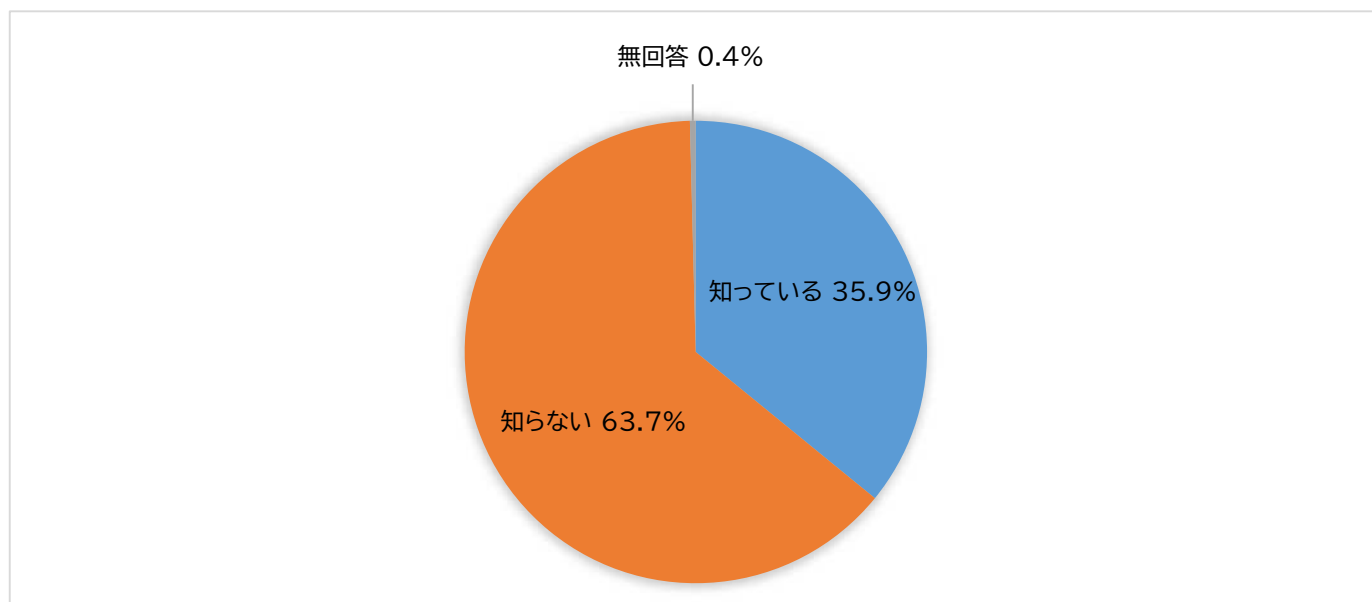
・前回(令和4年度)「知っている」と答えた人は6.1%でしたので、0.5ポイント増加した結果となりました。

・年代別にみると、「知っている」と答えた人の最も高い結果となったのは10代の11.1%でした。次いで40代の10.9%、50代以上の9.0%でした。

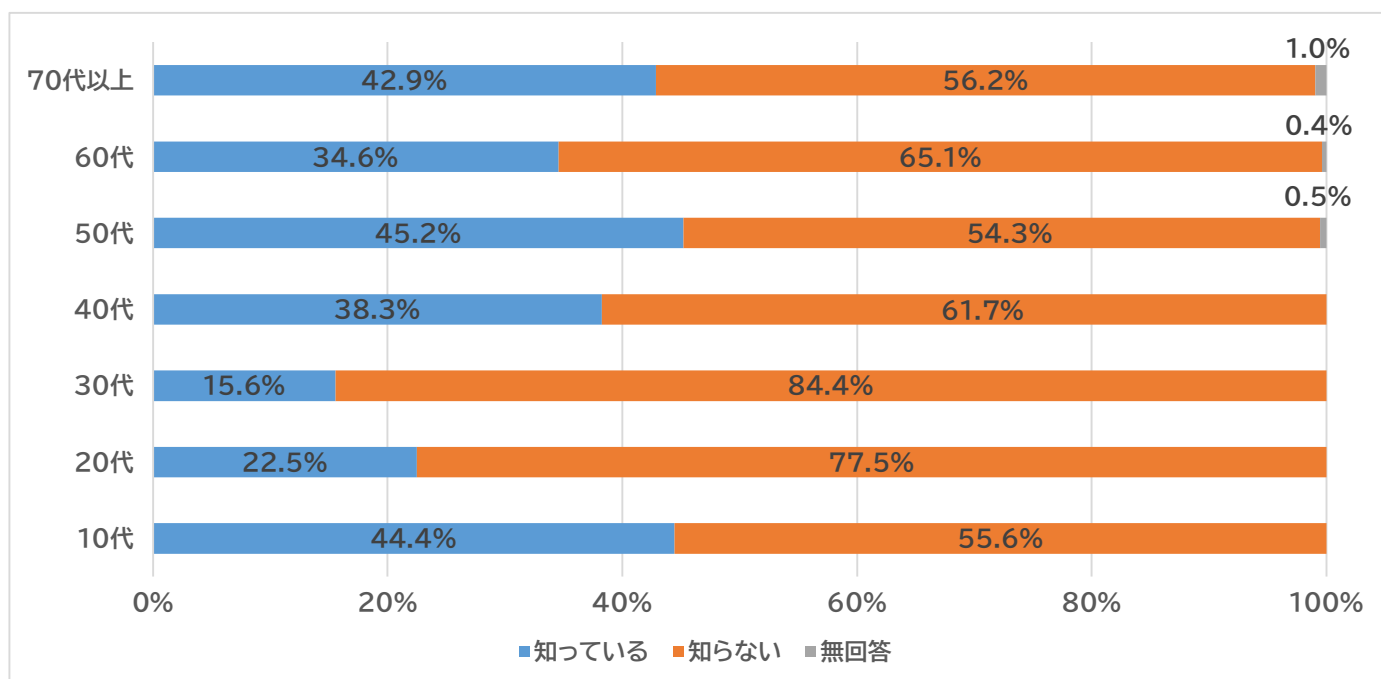
22 家庭の日について

22-1 宮崎県では青少年の健全な育成に関し、家庭の果たす役割についての理解を深めるため、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めていること知っていますか。

全体

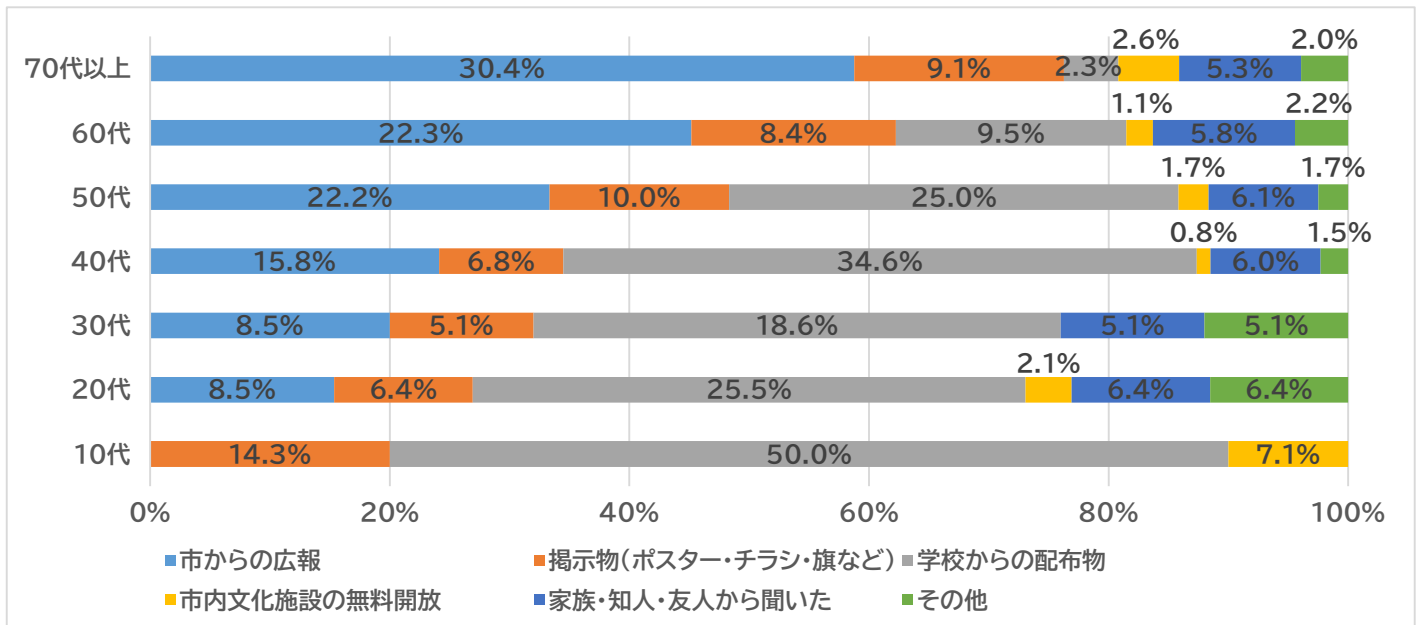


年代別

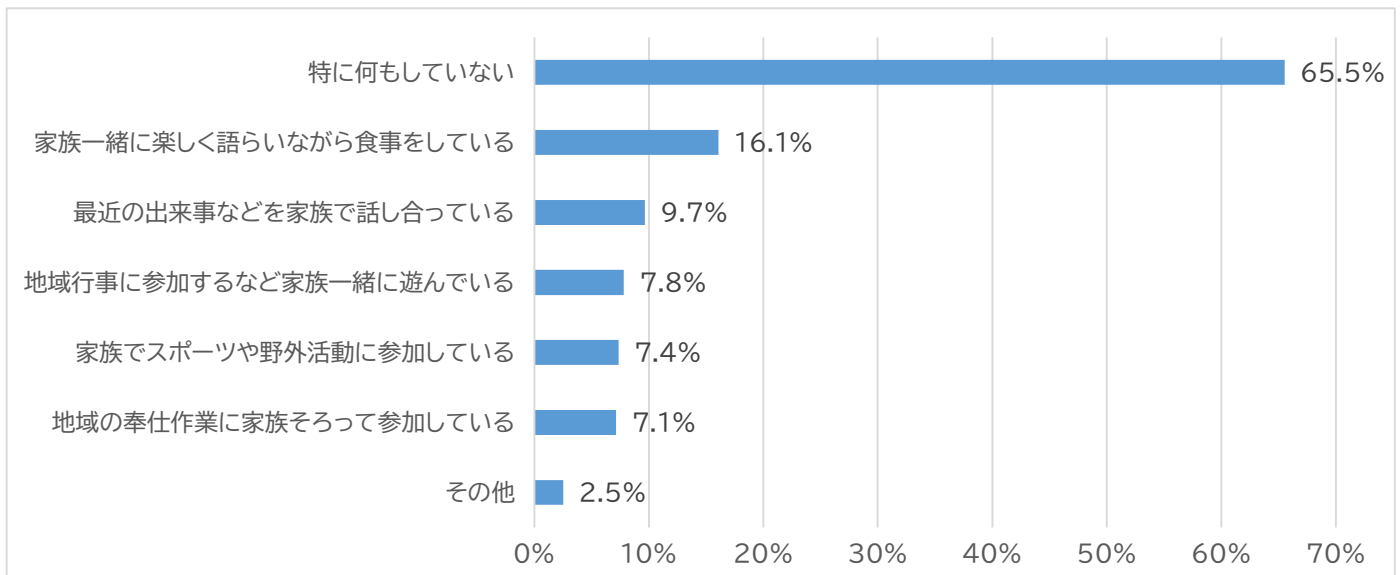


22 家庭の日について

22-2 質問22-1で「1.知っている」を選んだ方へお尋ねします。「家庭の日」を知ったきっかけを教えてください。(当てはまるもの全てに○)



22-3 質問22-1で「1.知っている」を選んだ方へお尋ねします。「家庭の日」にはどのような取り組みをしていますか。(当てはまるもの全てに○)



・「家庭の日を知っているか」について、「知っている」と答えた人が35.9%、「知らない」と答えた人が63.7%と、「知らない」と答えた人が多い結果となりました。年代別に見ると、20代と30代で75%以上の人が「知らない」と答えています。

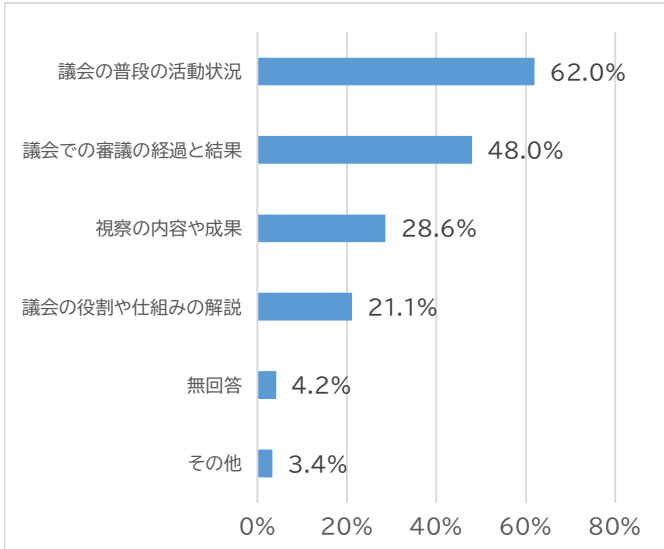
・「家庭の日を知ったきっかけ」について、「学校からの配布物」「市からの広報」と回答した人が多い結果となりました。

・「家庭の日の取り組み」については、「家族一緒に楽しく語らいながら食事をしている」の16.1%が最も多く、次いで「最近の出来事などを家族で話し合っている」の9.7%となりました。

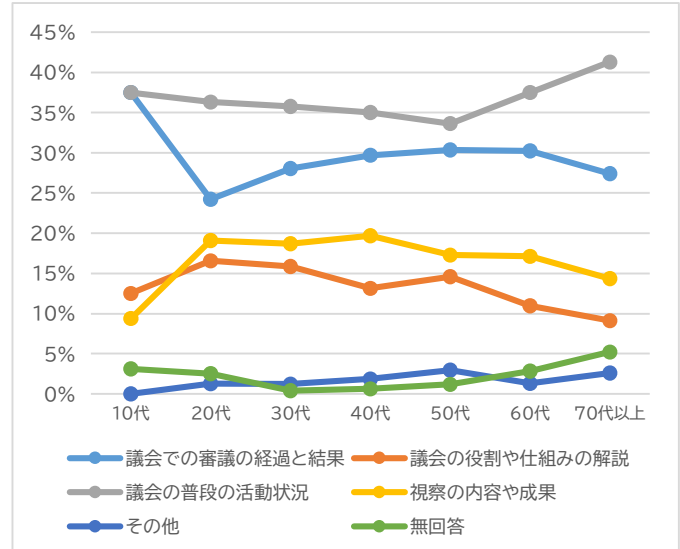
23 市議会活動について

23-1 市議会について詳しく知りたい内容は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

全体

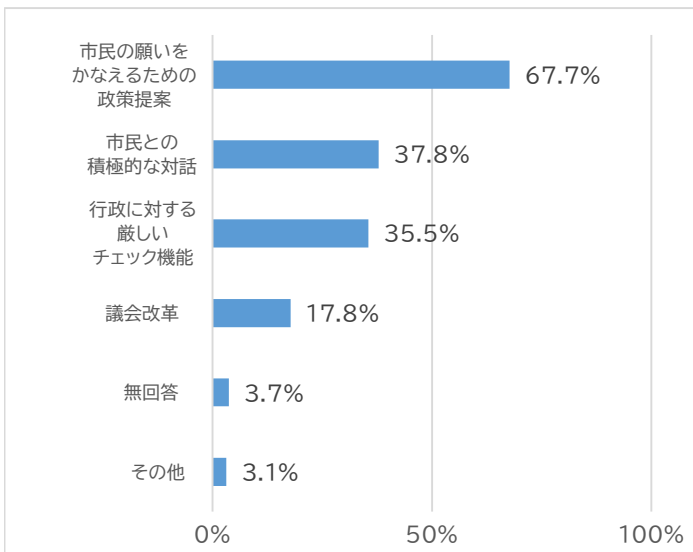


年代別

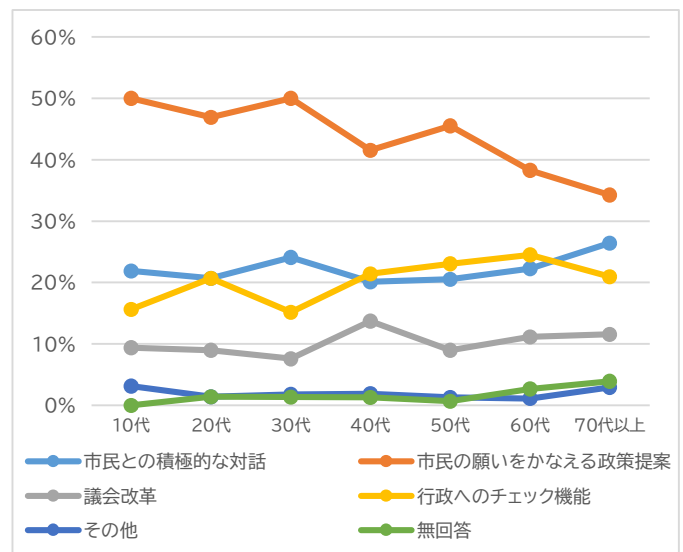


23-2 市議会に求めるものは何ですか。(複数回答)

全体



年代別



・「市議会について詳しく知りたい内容」については、「議会の普段の活動状況」が最も多く62.0%、次いで「議会での審議の経過と結果」の48.0%、「視察の内容や成果」の28.6%となっています。

・「市議会に求めるもの」については、「市民の願いをかなえるための政策提案」が67.7%と最も高い結果となりました。

第3章 資料

1 全体集計

1-1 性別を教えてください。(戸籍上ではなく、あなたの思う性別でお答えください。)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	男性	495	40.8%
(2)	女性	709	58.5%
(3)	その他	3	0.3%
	無回答	5	0.4%
	計	1,212	

1-2 年代を教えてください。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	10代	18	1.5%
(2)	20代	89	7.3%
(3)	30代	135	11.1%
(4)	40代	183	15.1%
(5)	50代	188	15.5%
(6)	60代	272	22.4%
(7)	70代以上	315	26.0%
(8)	答えたくない	5	0.4%
	無回答	7	0.6%
	計	1,212	

1-3 都城市での居住年数(通算)を教えてください。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	1年未満	17	1.4%
(2)	1年以上5年未満	74	6.1%
(3)	5年以上10年未満	54	4.5%
(4)	10年以上20年未満	121	10.0%
(5)	20年以上	931	76.8%
	無回答	15	1.2%
	計	1,212	

1-4 お住まいの地区を教えてください。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	姫城	83	6.8%
(2)	妻ヶ丘	142	11.7%
(3)	小松原	73	6.0%
(4)	祝吉	156	12.9%
(5)	五十市	130	10.7%
(6)	横市	98	8.1%
(7)	沖水	121	10.0%
(8)	志和池	31	2.6%
(9)	庄内	66	5.4%
(10)	西岳	16	1.3%
(11)	中郷	65	5.4%
(12)	山之口	55	4.5%
(13)	高城	67	5.5%
(14)	山田	46	3.8%
(15)	高崎	57	4.7%
	無回答	6	0.5%
	計	1,212	

2-1 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んで、下記の回答欄に番号(1～30)をご記入ください。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	農林畜産業の振興	146	12.0%
(2)	商工業の振興	43	3.5%
(3)	移住・定住の促進	212	17.5%
(4)	防災・消防対策	43	3.5%
(5)	防犯・交通安全対策	28	2.3%
(6)	保健・医療体制	127	10.5%
(7)	子育て支援	560	46.2%
(8)	福祉のまちづくり	76	6.3%
(9)	健康づくり	142	11.7%
(10)	学校教育の充実	58	4.8%
(11)	文化・芸術の振興	36	3.0%
(12)	生涯学習	25	2.1%
(13)	国際交流の振興	15	1.2%
(14)	スポーツの振興	109	9.0%
(15)	市民協働のまちづくり	16	1.3%
(16)	男女共同参画の推進	8	0.7%
(17)	人権の尊重	6	0.5%
(18)	まちなかの活性化	342	28.2%
(19)	計画的な市街地整備	61	5.0%
(20)	住環境の保全	14	1.2%
(21)	上下水道の整備	72	5.9%
(22)	道路の整備	155	12.8%
(23)	市の対外的PRの推進	123	10.1%
(24)	観光の振興	60	5.0%
(25)	自然環境の保護	19	1.6%
(26)	ごみ処理・リサイクル	366	30.2%
(27)	近隣市町との連携	14	1.2%
(28)	接遇の向上	29	2.4%
(29)	デジタル化の推進	239	19.7%
(30)	広報広聴活動	63	5.2%
	無回答	61	5.0%
	計	1,212	

2-2 市が行っている施策や事業の中から「今後、もっと力を入れてほしいもの」を3つまで選んで、下記の回答欄に番号(1～30)をご記入ください。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	農林畜産業の振興	117	9.7%
(2)	商工業の振興	128	10.6%
(3)	移住・定住の促進	127	10.5%
(4)	防災・消防対策	87	7.2%
(5)	防犯・交通安全対策	173	14.3%
(6)	保健・医療体制	284	23.4%
(7)	子育て支援	265	21.9%
(8)	福祉のまちづくり	207	17.1%
(9)	健康づくり	90	7.4%
(10)	学校教育の充実	170	14.0%
(11)	文化・芸術の振興	59	4.9%
(12)	生涯学習	52	4.3%
(13)	国際交流の振興	21	1.7%
(14)	スポーツの振興	59	4.9%
(15)	市民協働のまちづくり	40	3.3%
(16)	男女共同参画の推進	32	2.6%
(17)	人権の尊重	55	4.5%
(18)	まちなかの活性化	222	18.3%
(19)	計画的な市街地整備	140	11.6%
(20)	住環境の保全	158	13.0%
(21)	上下水道の整備	89	7.3%
(22)	道路の整備	352	29.0%
(23)	市の対外的PRの推進	35	2.9%
(24)	観光の振興	167	13.8%
(25)	自然環境の保護	79	6.5%
(26)	ごみ処理・リサイクル	119	9.8%
(27)	近隣市町との連携	51	4.2%
(28)	接遇の向上	28	2.3%
(29)	デジタル化の推進	55	4.5%
(30)	広報広聴活動	21	1.7%
	無回答	32	2.6%
	計	1,212	

3-1 これからも都城市に住み続けたいですか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	現在住んでいるところに住み続けたい	938	77.4%
(2)	市内の別の地域に住みたい	100	8.3%
(3)	市内には住みたくない	35	2.9%
(4)	わからない	126	10.4%
	無回答	13	1.1%
	計	1,212	

3-2 ※質問3-1で「1.現在住んでいるところに住み続けたい」と回答した方にお尋ねします。住み続けたいと答えた理由を教えてください。(複数回答)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	通勤や通学に便利だから	232	24.7%
(2)	買い物や通院に便利だから	434	46.3%
(3)	自然環境が良いから	257	27.4%
(4)	文化や教育面の環境が良いから	41	4.4%
(5)	住み慣れているから	592	63.1%
(6)	自分の家があるから	612	65.2%
(7)	親族が近くにいるから	212	22.6%
(8)	近所づきあいなど人間関係が良いから	209	22.3%
(9)	防災・防犯などの安心さから	127	13.5%
(10)	特に理由はない	15	1.6%
(11)	その他	14	1.5%
	無回答	169	18.0%
	計	938	

3-3 ※質問3-1で「2.市内の別の地域に住みたい」「3.市内には住みたくない」と回答した方にお尋ねします。別の地域に住みたい、市内には住みたくないと答えた理由を教えてください。(複数回答)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	通勤や通学に不便だから	25	18.5%
(2)	買い物や通院に不便だから	53	39.3%
(3)	自然環境が良くないから	8	5.9%
(4)	文化や教育面の環境が良くないから	10	7.4%
(5)	騒音など住環境が良くないから	15	11.1%
(6)	生まれ育った土地でないから	21	15.6%
(7)	地代や家賃が高いから	13	9.6%
(8)	近所づきあいなど人間関係が良くないから	23	17.0%
(9)	防災・防犯などが不安だから	16	11.9%
(10)	今の住居に不満があるから	29	21.5%
(11)	都会に住みたいから	8	5.9%
(12)	特に理由はない	12	8.9%
(13)	その他	27	20.0%
	無回答	0	0.0%
	計	135	

4-1 外国の方を身近に感じますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	身近に感じる	298	24.6%
(2)	身近に感じない	885	73.0%
	無回答	29	2.4%
	計	1,212	

4-2 都城市が、中国重慶市江津区およびモンゴル国ウランバートル市と友好交流都市の提携を行っていることを知っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	両都市との提携を知っている	172	14.2%
(2)	重慶市江津区との提携は知っている	12	1.0%
(3)	ウランバートル市との提携は知っている	294	24.3%
(4)	どちらの提携も知らない	720	59.4%
	無回答	14	1.2%
	計	1,212	

4-3 「多文化共生社会」を知っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	知っている	144	11.9%
(2)	聞いたことがある	392	32.3%
(3)	知らない	662	54.6%
(4)	無回答	14	1.2%
	計	1,212	

5-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような性別によって役割を固定する考え方についてどう思いますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	賛成	39	3.2%
(2)	どちらかといえば賛成	135	11.1%
(3)	どちらかといえば反対	393	32.4%
(4)	反対	492	40.6%
(5)	わからない	138	11.4%
	無回答	15	1.2%
	計	1,212	

5-2 「社会(政治や職場など)において、男女の地位は平等」だと思いませんか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	平等	112	9.2%
(2)	どちらかといえば平等	197	16.3%
(3)	どちらかといえば不平等	505	41.7%
(4)	不平等	298	24.6%
(5)	わからない	82	6.8%
	無回答	18	1.5%
	計	1,212	

6-1 最も関心のある環境問題を、1つだけ選んでください。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	生態系の保全	57	4.7%
(2)	地下水の保全	57	4.7%
(3)	大気環境の保全	34	2.8%
(4)	水環境の保全	60	5.0%
(5)	地球温暖化問題	469	38.7%
(6)	再生可能エネルギー対策	100	8.3%
(7)	ごみ問題	173	14.3%
(8)	環境にやさしい製品利用	35	2.9%
(9)	快適な生活空間の創出	61	5.0%
(10)	環境にやさしい農林畜産業	28	2.3%
(11)	地域における環境保全活動	31	2.6%
(12)	環境学習	10	0.8%
(13)	特にない	73	6.0%
(14)	その他	10	0.8%
	無回答	14	1.2%
	計	1,212	

6-2 「野生生物や希少な動植物の減少または絶滅」が環境問題となっていることを知っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	よく知っている	148	12.2%
(2)	知っている	803	66.3%
(3)	知らない	147	12.1%
(4)	わからない	103	8.5%
	無回答	11	0.9%
	計	1,212	

6-3 「外来生物による生態系への影響」が環境問題となっていることを知っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	よく知っている	202	16.7%
(2)	知っている	847	69.9%
(3)	知らない	96	7.9%
(4)	わからない	61	5.0%
	無回答	6	0.5%
	計	1,212	

7-1 家庭において白色トレイ、ペットボトルのリサイクルなど、ごみの減量化や資源化に取り組んでいますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	いつも取り組んでいる	825	68.1%
(2)	時々取り組んでいる	313	25.8%
(3)	取り組んでいない	69	5.7%
	無回答	5	0.4%
	計	1,212	

7-2 ※質問7-1で「1.いつも取り組んでいる」「2.時々取り組んでいる」を選んだ方へお尋ねします。次のうち、取り組んでいるものはどれですか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	缶	1,035	18.2%
(2)	瓶	942	16.5%
(3)	ペットボトル	1,049	18.4%
(4)	新聞紙	612	10.8%
(5)	ダンボール	858	15.1%
(6)	雑誌その他の紙	633	11.1%
(7)	白色トレイ	523	9.2%
	無回答	40	0.7%
	計	1,138	

8-1 都城の郷土料理だと知っている料理は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	いりこもち	542	44.7%
(2)	ゆべし	692	57.1%
(3)	かねんしゅい	116	9.6%
(4)	ふくれがし	754	62.2%
(5)	煮しめ	781	64.4%
(6)	あくまき	912	75.2%
(7)	ねったぼ	918	75.7%
(8)	がね	1,123	92.7%
(9)	その他	25	2.1%
(10)	全て知らない	36	3.0%
	無回答	4	0.3%
	計	1,212	

8-2 郷土料理を代々伝えていきたいと思いませんか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	伝えていきたい	838	69.1%
(2)	そう思わない	103	8.5%
(3)	わからない	254	21.0%
	無回答	17	1.4%
	計	1,212	

9-1 農林畜産業者の所得向上を目指す取り組みとして、6次産業化が地域に浸透していると思いますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	そう思う	79	6.5%
(2)	まあ、そう思う	214	17.7%
(3)	どちらともいえない	267	22.0%
(4)	あまりそう思わない	191	15.8%
(5)	そう思わない	75	6.2%
(6)	わからない	376	31.0%
	無回答	10	0.8%
	計	1,212	

9-2 道の駅都城などを活用した地場製品の販売促進と販路拡大への取り組みが進んでいると思いますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	そう思う	114	9.4%
(2)	まあ、そう思う	349	28.8%
(3)	どちらともいえない	238	19.6%
(4)	あまりそう思わない	162	13.4%
(5)	そう思わない	72	5.9%
(6)	わからない	272	22.4%
	無回答	5	0.4%
	計	1,212	

9-3 ふるさと納税でいただいた寄附金がどのように使われているかを知っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	知っている	65	5.4%
(2)	ある程度知っている	465	38.4%
(3)	知らない	678	55.9%
	無回答	4	0.3%
	計	1,212	

9-4 ふるさと納税でいただいた寄附金の使い道をどのような方法で知りたいですか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	市の広報紙	593	48.9%
(2)	市のホームページ	180	14.9%
(3)	市の公式LINE	207	17.1%
(4)	テレビ	181	14.9%
(5)	ラジオ	17	1.4%
(6)	その他	14	1.2%
	無回答	20	1.7%
	計	1,212	

10-1 中心市街地中核施設「Mallmall」が整備されて、中心市街地が活性化してきていると思いますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	そう思う	177	14.6%
(2)	まあ、そう思う	404	33.3%
(3)	どちらともいえない	210	17.3%
(4)	あまりそう思わない	216	17.8%
(5)	そう思わない	87	7.2%
(6)	わからない	107	8.8%
	無回答	11	0.9%
	計	1,212	

10-2 中心市街地中核施設「Mallmall」のどの施設を利用したことがありますか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	図書館	695	57.3%
(2)	未来創造ステーション	138	11.4%
(3)	まちなか広場	426	35.1%
(4)	まちなか交流センター	172	14.2%
(5)	保健センター	140	11.6%
(6)	ふれびか	143	11.8%
(7)	利用したことがない	369	30.4%
	無回答	8	0.7%
	計	1,212	

10-3 ※質問10-2で選択肢の「1～6の施設を利用した」と回答された方へお尋ねします。
施設利用の前後で、周辺商店街などを利用したことがありますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	ある	428	50.8%
(2)	ない	415	49.2%
	計	843	

10-4 ※質問10-2で「7.利用したことがない」と回答された方へお尋ねします。
施設を利用したことがない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	施設の中身がわからない	80	21.7%
(2)	特に用事(目的)がない	296	80.2%
(3)	行きたい施設がない	77	20.9%
(4)	交通手段がない	19	5.1%
(5)	時間がない	38	10.3%
(6)	その他	15	4.1%
	計	369	

11-1 都城志布志道路は、令和4年3月末に乙房IC(インターチェンジ)から志布志IC区間が開通していますが、どのくらいの頻度で利用されていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	ほぼ毎日	40	3.3%
(2)	週に1～3回	91	7.5%
(3)	月に数回	329	27.1%
(4)	年に数回	428	35.3%
(5)	利用したことがない	319	26.3%
	無回答	5	0.4%
	計	1,212	

11-2 ※質問11-1で都城志布志道路を利用したことがある方へお尋ねします。
どのような目的で利用されていますか。主な目的を1つ選んでください。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	通勤・通学	59	6.6%
(2)	仕事	122	13.7%
(3)	買い物	241	27.1%
(4)	通院	17	1.9%
(5)	旅行・レジャー	364	41.0%
(6)	その他	85	9.6%
	計	888	

11-3 ※質問11-1で都城志布志道路を利用したことがある方へお尋ねします。
主に乗り降りするインターチェンジを2つ教えてください。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	乙房	330	37.2%
(2)	横市	259	29.2%
(3)	平塚	253	28.5%
(4)	五十町	148	16.7%
(5)	今町	100	11.3%
(6)	梅北	120	13.5%
(7)	金御岳	91	10.2%
(8)	末吉	71	8.0%
(9)	松山	25	2.8%
(10)	有明北	9	1.0%
(11)	伊崎田	2	0.2%
(12)	有明東	6	0.7%
(13)	志布志	270	30.4%
	無回答	0	0.0%
	計	888	

12-1 あなたが市の情報(消防・防災含む)を収集するとき、利用しているSNSはどれですか。
(当てはまるもの全てに○)

(1)	Facebook(フェイスブック)	41	3.4%
(2)	Instagram(インスタグラム)	114	9.4%
(3)	Twitter(ツイッター) ※現 X(エックス)	63	5.2%
(4)	YouTube(ユーチューブ)	99	8.2%
(5)	LINE(ライン)	634	52.3%
(6)	利用しない	449	37.0%
	無回答	24	2.0%
	計	1,212	

13-1 銀行窓口へ出向かなくてもパソコンやスマートフォンなどでインターネットを利用して市税などの口座振替の申込ができる「Webによる口座振替受付サービス」を知っていますか。

(1)	知っている	558	46.0%
(2)	知らない	652	53.8%
	無回答	2	0.2%
	計	1,212	

14-1 今後、市が対外的PRを推進する上で、どのようなものが効果的だと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

(1)	テレビやラジオなどのメディアでのPR	771	63.6%
(2)	インターネットやホームページ、SNSの活用	722	59.6%
(3)	チラシ・新聞・雑誌への掲載	341	28.1%
(4)	市外でのイベント開催	274	22.6%
(5)	市外での看板などの設置	93	7.7%
(6)	PRグッズの作成、販売	114	9.4%
(7)	航空機・電車などの公共交通機関を活用したPR	168	13.9%
(8)	自動車でのご当地ナンバー(「都城」ナンバー)の導入	163	13.4%
	無回答	38	3.1%
	計	1,212	

15-1 あなたは、健康や楽しみなどのために、運動・スポーツ(体操やウォーキングなどを含む)を行っていますか。

(1)	週に3日以上	279	23.0%
(2)	週に1～2日程度	259	21.4%
(3)	月に1～3日程度	146	12.0%
(4)	3カ月に1～2日程度	34	2.8%
(5)	年に1～3日程度	81	6.7%
(6)	全くしていない	406	33.5%
	無回答	7	0.6%
	計	1,212	

16-1 体重のコントロール(適正標準体重の維持や減量)をしていますか。

(1)	している	678	55.9%
(2)	していない	525	43.3%
	無回答	9	0.7%
	計	1,212	

16-2 昨年度に市が実施したがん検診を受けましたか。(当てはまるもの全てに○)

(1)	肺がん検診	179	14.8%
(2)	大腸がん検診	192	15.8%
(3)	胃がん検診	120	9.9%
(4)	子宮がん検診	97	8.0%
(5)	乳がん検診	100	8.3%
(6)	受けていない	861	71.0%
	無回答	5	0.4%
	計	1,212	

16-3 ※質問16-2で「6.受けていない」を選んだ方へお尋ねします。受けられなかった理由は何ですか。
(当てはまるもの全てに○)

(1)	必要性を感じない	97	11.3%
(2)	検査に伴う苦痛がある	78	9.1%
(3)	内容を知らない	101	11.7%
(4)	どこで受けてよいか知らない	82	9.5%
(5)	検診にかかる費用が高い	82	9.5%
(6)	受ける時間がない	170	19.7%
(7)	職場でがん検診を受けている	191	22.2%
(8)	対象となる検診がない	86	10.0%
(9)	その他	131	15.2%
	無回答	292	33.9%
	計	861	

17-1 自殺で亡くなった人は、うつ病の人が多くと言われています。憂うつ、気分が重い、好きなこともやりたくないなどの「うつ病のサイン」を知っていますか。

(1)	よく知っている	298	24.6%
(2)	少しは知っている	682	56.3%
(3)	知らない	226	18.6%
	無回答	6	0.5%
	計	1,212	

17-2 こころの悩みの相談先として知っている窓口はどこですか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	精神科・心療内科病院	765	63.1%
(2)	1以外の医療機関	34	2.8%
(3)	保健所	131	10.8%
(4)	県精神保健福祉センター	74	6.1%
(5)	市役所	90	7.4%
(6)	こころの電話相談	646	53.3%
(7)	自殺防止電話相談	366	30.2%
(8)	知らない	181	14.9%
(9)	その他	10	0.8%
	無回答	13	1.1%
	計	1,212	

18-1 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまちだと思いますか。

(1)	そう思う	56	4.6%
(2)	まあ、そう思う	424	35.0%
(3)	どちらともいえない	391	32.3%
(4)	あまりそう思わない	156	12.9%
(5)	そう思わない	87	7.2%
(6)	わからない	93	7.7%
	無回答	5	0.4%
	計	1,212	

18-2 障がい者が社会に参加して安心して暮らせるまちだと思いますか。

(1)	そう思う	39	3.2%
(2)	まあ、そう思う	260	21.5%
(3)	どちらともいえない	445	36.7%
(4)	あまりそう思わない	177	14.6%
(5)	そう思わない	101	8.3%
(6)	わからない	183	15.1%
	無回答	7	0.6%
	計	1,212	

19-1 地域包括支援センターを知っていますか。

(1)	どういうところか知っている	506	41.7%
(2)	名前は知っているがどういうところか知らない	462	38.1%
(3)	知らない	240	19.8%
	無回答	4	0.3%
	計	1,212	

20-1 子育てしやすい、又は子育てにやさしいまちだと思いますか。

(1)	そう思う	171	14.1%
(2)	まあ、そう思う	589	48.6%
(3)	どちらともいえない	212	17.5%
(4)	あまりそう思わない	52	4.3%
(5)	そう思わない	138	11.4%
(6)	わからない	42	3.5%
	無回答	8	0.7%
	計	1,212	

21-1 市では、一人一人が学びについて考え、教育への理解と関心を高める原点の日として、毎年2月18日を「都城教育の日」に制定していることを知っていますか。

(1)	知っている	80	6.6%
(2)	知らない	1,124	92.7%
	無回答	8	0.7%
	計	1,212	

22-1 宮崎県では青少年の健全な育成に関し、家庭の果たす役割についての理解を深めるため、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めていること知っていますか。

(1)	知っている	435	35.9%
(2)	知らない	772	63.7%
	無回答	5	0.4%
	計	1,212	

22-2 質問22-1で「1.知っている」を選んだ方へお尋ねします。「家庭の日」を知ったきっかけを教えてください。(当てはまるもの全てに○)

(1)	市からの広報	237	54.5%
(2)	掲示物(ポスター・チラシ・旗など)	89	20.5%
(3)	学校からの配布物	155	35.6%
(4)	市内文化施設の無料開放	18	4.1%
(5)	家族・知人・友人から聞いた	60	13.8%
(6)	その他	24	5.5%
	計	435	

22-3 質問22-1で「1.知っている」を選んだ方へお尋ねします。「家庭の日」にはどのような取り組みをしていますか。(当てはまるもの全てに○)

(1)	地域行事に参加するなど家族一緒に遊んでいる	34	7.8%
(2)	最近の出来事などを家族で話し合っている	42	9.7%
(3)	家族一緒に楽しく語らいながら食事をしている	70	16.1%
(4)	家族でスポーツや野外活動に参加している	32	7.4%
(5)	地域の奉仕作業に家族そろって参加している	31	7.1%
(6)	特に何もしていない	285	65.5%
(7)	その他	11	2.5%
	計	435	

23-1 市議会について詳しく知りたい内容は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

(1)	議会での審議の経過と結果	582	48.0%
(2)	議会の役割や仕組みの解説	256	21.1%
(3)	議会の普段の活動状況	751	62.0%
(4)	視察の内容や成果	347	28.6%
(5)	その他	41	3.4%
	無回答	51	4.2%
	計	1,212	

23-2 市議会活動に求めるものは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

(1)	市民との積極的な対話	458	37.8%
(2)	市民の願いをかなえるための政策提案	820	67.7%
(3)	議会改革	216	17.8%
(4)	行政に対する厳しいチェック機能	430	35.5%
(5)	その他	38	3.1%
	無回答	45	3.7%
	計	1,212	

【調査票】

【回答に当たってのお願い】 全問回答目安時間：15分

- ◆ ご回答は、宛名のご本人様にお願いします。(代筆でもかまいません)
- ◆ ご回答は、あてはまる番号に直接○をつけてください。
なお、質問によっては、回答数を指定している質問や、番号を記入していただく質問がありますので、ご注意ください。
- ◆ ご回答が「その他()」にあてはまる場合は、()の中に、具体的にその内容をご記入ください。

【インターネット回答へのご協力のお願い】

本調査は、インターネットによる回答が便利です。
お手持ちのスマートフォンやタブレット等から、右のQRを読み取っていただくか
下のアドレスから、回答ページにお進みください。



---三つ折り線

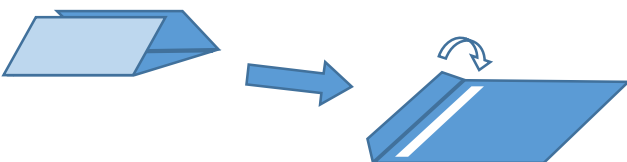
<アドレス>

<https://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp/ques/questionnaire.php?openid=1015>

※インターネット回答をされる方は、この調査票の返送は不要です。

郵送で回答される場合の返送手順

①
調査票を返信用封筒に入れてください。



②
封筒に付いているシールで
封をしてください。

③
切手を貼らずに
最寄りのポストに
投函してください。



---三つ折り線

本調査でお答えいただいた内容は、全て統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。お考えのままにお答えください。

調査期間：6月12日(月)から7月14日(金)まで

※7月14日(金)までに、ポストに投函していただくか、インターネットでの回答をお願いします。

● あなた自身のことについて

質問 1-1 性別を教えてください。(戸籍上ではなく、あなたの思う性別でお答えください。)

1. 男性 2. 女性 3. その他

質問 1-2 年代を教えてください。

1. 10代 2. 20代 3. 30代
4. 40代 5. 50代 6. 60代
7. 70代以上 8. 答えたくない

質問 1-3 都城市での居住年数(通算)を教えてください。

1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満 5. 20年以上

質問 1-4 お住まいの地区を教えてください。(下記「地区別町名一覧」をご参照ください)

1. 姫城 2. 妻ヶ丘 3. 小松原
4. 祝吉 5. 五十市 6. 横市
7. 沖水 8. 志和池 9. 庄内
10. 西岳 11. 中郷 12. 山之口
13. 高城 14. 山田 15. 高崎

【地区別町名一覧】

姫城地区	早鈴町、姫城町、甲斐元町、八幡町、松元町、牟田町、蔵原町、上町、中町、西町、下長飯町、都島町
妻ヶ丘地区	上東町、東町、天神町、中原町、上長飯町、一万城町、菖蒲原町、若葉町、妻ヶ丘町、花繰町、広原町
小松原地区	前田町、平江町、小松原町、北原町、大王町、宮丸町、志比田町、栄町
祝吉地区	千町、立野町、早水町、神之山町、年見町、上川東一～四丁目、下川東一～四丁目、郡元町、郡元一～四丁目、祝吉町、祝吉一～三丁目
五十市地区	今町、大岩田町、南鷹尾町、五十町、平塚町、久保原町、鷹尾一～五丁目
横市地区	横市町、南横市町、蓑原町、都原町
沖水地区	吉尾町、金田町、太郎坊町、高木町、都北町
志和池地区	上水流町、下水流町、岩満町、丸谷町、野々美谷町
庄内地区	乙房町、関之尾町、庄内町、菓子野町
西岳地区	美川町、高野町、吉之元町、御池町、夏尾町
中郷地区	梅北町、安久町、豊満町

● 市の取り組みについて

本市では、主に次のような施策や事業を行っています。

1. 農林畜産業の振興	2. 商工業の振興	3. 移住・定住の促進
4. 防災・消防対策	5. 防犯・交通安全対策	6. 保健・医療体制
7. 子育て支援	8. 福祉のまちづくり	9. 健康づくり
10. 学校教育の充実	11. 文化・芸術の振興	12. 生涯学習
13. 国際交流の振興	14. スポーツの振興	15. 市民協働のまちづくり
16. 男女共同参画の推進	17. 人権の尊重	18. まちなかの活性化
19. 計画的な市街地整備	20. 住環境の保全	21. 上下水道の整備
22. 道路の整備	23. 市の対外的PRの推進	24. 観光の振興
25. 自然環境の保護	26. ごみ処理・リサイクル	27. 近隣市町との連携
28. 接遇の向上	29. デジタル化の推進	30. 広報広聴活動

質問 2-1 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んで、下記の回答欄に番号(1~30)をご記入ください。

回答欄(1~30までの番号を記入してください)

2-1 良くなっているもの	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
---------------	----------------------	----------------------	----------------------

質問 2-2 市が行っている施策や事業の中から「今後、もっと力を入れてほしいもの」を3つまで選んで、下記の回答欄に番号(1~30)をご記入ください。

回答欄(1~30までの番号を記入してください)

2-2 今後もっと力を入れてほしいもの	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
---------------------	----------------------	----------------------	----------------------

● 住みやすさについて

質問 3-1 これからも都城市に住み続けたいですか。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 現在住んでいるところに住み続けたい | 2. 市内の別の地域に住みたい |
| 3. 市内には住みたくない | 4. わからない |

※質問 3-1 で「1.現在住んでいるところに住み続けたい」と回答した方にお尋ねします。

質問 3-2 住み続けたいと答えた理由を教えてください。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 通勤や通学に便利だから | 2. 買い物や通院に便利だから |
| 3. 自然環境が良いから | 4. 文化や教育面の環境が良いから |
| 5. 住み慣れているから | 6. 自分の家があるから |
| 7. 親族が近くにいるから | 8. 近所づきあいなど人間関係が良いから |
| 9. 防災・防犯などの安心さから | 10. 特に理由はない |
| 11. その他() | |

※質問 3-1 で「2.市内の別の地域に住みたい」「3.市内には住みたくない」と回答した方にお尋ねします。

質問 3-3 別の地域に住みたい、市内には住みたくないと答えた理由を教えてください。

(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 通勤や通学に不便だから | 2. 買い物や通院に不便だから |
| 3. 自然環境が良くないから | 4. 文化や教育面の環境が良くないから |
| 5. 騒音など住環境が良くないから | 6. 生まれ育った土地でないから |
| 7. 地代や家賃が高いから | 8. 近所づきあいなど人間関係が良くないから |
| 9. 防災・防犯などが不安だから | 10. 今の住居に不満があるから |
| 11. 都会に住みたいから | 12. 特に理由はない |
| 13. その他() | |

● あなたの考えや日頃の行動について

4 国際交流について

質問 4-1 外国の方を身近に感じますか。

1. 身近に感じる 2. 身近に感じない

質問 4-2 都城市が、中国重慶市江津区およびモンゴル国ウランバートル市と友好交流都市の提携を行っていることを知っていますか。

1. 両都市との提携を知っている 2. 重慶市江津区との提携は知っている
3. ウランバートル市との提携は知っている 4. どちらの提携も知らない

質問 4-3 「多文化共生社会」を知っていますか。

1. 知っている 2. 聞いたことがある 3. 知らない

5 男女共同参画について

質問 5-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような性別によって役割を固定する考え方についてどう思いますか。

1. 賛成 2. どちらかといえば賛成 3. どちらかといえば反対
4. 反対 5. わからない

質問 5-2 「社会（政治や職場など）において、男女の地位は平等」だと思いませんか。

1. 平等 2. どちらかといえば平等 3. どちらかといえば不平等
4. 不平等 5. わからない

6 環境問題について

質問 6-1 最も関心のある環境問題を、1つだけ選んでください。

1. 生態系の保全 2. 地下水の保全 3. 大気環境の保全
4. 水環境の保全 5. 地球温暖化問題 6. 再生可能エネルギー対策
7. ごみ問題 8. 環境にやさしい製品利用 9. 快適な生活空間の創出
10. 環境にやさしい農林畜産業 11. 地域における環境保全活動 12. 環境学習
13. 特にない 14. その他()

質問 6-2 「野生生物や希少な動植物の減少または絶滅」が環境問題となっていることを知っていますか。

1. よく知っている 2. 知っている
3. 知らない 4. わからない

質問 6-3 「外来生物による生態系への影響」が環境問題となっていることを知っていますか。

- | | |
|------------|----------|
| 1. よく知っている | 2. 知っている |
| 3. 知らない | 4. わからない |

7 エコ活動について

質問 7-1 家庭において白色トレイ、ペットボトルのリサイクルなど、ごみの減量化や資源化に取り組んでいますか。

- | | | |
|---------------|--------------|-------------|
| 1. いつも取り組んでいる | 2. 時々取り組んでいる | 3. 取り組んでいない |
|---------------|--------------|-------------|

※質問 7-1 で「1.いつも取り組んでいる」「2.時々取り組んでいる」を選んだ方へお尋ねします。

質問 7-2 次のうち、取り組んでいるものはどれですか。(当てはまるもの全てに○)

- | | | | |
|----------|------------|-----------|--------|
| 1. 缶 | 2. 瓶 | 3. ペットボトル | 4. 新聞紙 |
| 5. ダンボール | 6. 雑誌その他の紙 | 7. 白色トレイ | |

8 郷土料理について

質問 8-1 都城の郷土料理だと知っている料理は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- | | | |
|------------|--------|-----------|
| 1. いりこもち | 2. ゆべし | 3. かねんしゅい |
| 4. ふくれがし | 5. 煮しめ | 6. あくまき |
| 7. ねったぼ | 8. がね | 9. その他() |
| 10. 全て知らない | | |

質問 8-2 郷土料理を代々伝えていきたいと思いませんか。

- | | | |
|------------|-----------|----------|
| 1. 伝えていきたい | 2. そう思わない | 3. わからない |
|------------|-----------|----------|

9 地場産品やふるさと納税などについて

質問 9-1 農林畜産業者の所得向上を目指す取り組みとして、6次産業化が地域に浸透していると思いませんか。

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. まあ、そう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

質問 9-2 道の駅都城などを活用した地場産品の販売促進と販路拡大への取り組みが進んでいると思いませんか。

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. まあ、そう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

質問 9-3 ふるさと納税でいただいた寄附金がどのように使われているかを知っていますか。

- | | | |
|----------|--------------|---------|
| 1. 知っている | 2. ある程度知っている | 3. 知らない |
|----------|--------------|---------|

質問 9-4 ふるさと納税でいただいた寄附金の使い道をどのような方法で知りたいですか。

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 市の広報紙 | 2. 市のホームページ | 3. 市の公式LINE |
| 4. テレビ | 5. ラジオ | 6. その他() |

10 中心市街地中核施設「Mallmall（まるまる）」について

質問 10-1 中心市街地中核施設「Mallmall」が整備されて、中心市街地が活性化してきていると思いますか。

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. まあ、そう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

質問 10-2 中心市街地中核施設「Mallmall」のどの施設を利用したことがありますか。

(当てはまるもの全てに○)

- | | | |
|---------------|---------------------------------|-----------|
| 1. 図書館 | 2. 未来創造ステーション | 3. まちなか広場 |
| 4. まちなか交流センター | 5. 保健センター | 6. ふれぴか |
| 7. 利用したことがない | ※「6.ふれぴか」とは、子育て世代活動支援センターのことです。 | |

※質問 10-2 で選択肢の「1~6 の施設を利用した」と回答された方へお尋ねします。

質問 10-3 施設利用の前後で、周辺商店街などを利用したことがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

※質問 10-2 で「7.利用したことがない」と回答された方へお尋ねします。

質問 10-4 施設を利用したことがない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 施設の中身がわからない | 2. 特に用事(目的)がない | 3. 行きたい施設がない |
| 4. 交通手段がない | 5. 時間がない | 6. その他() |

11 都城志布志道路について

質問 11-1 都城志布志道路は、令和4年3月末に乙房IC(インターチェンジ)から志布志IC区間が開通していますが、どのくらいの頻度で利用されていますか。

- | | | |
|---------|--------------|---------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に1~3回 | 3. 月に数回 |
| 4. 年に数回 | 5. 利用したことがない | |

※質問 11-1 で都城志布志道路を利用したことがある方へお尋ねします。

質問 11-2 どのような目的で利用されていますか。主な目的を1つ選んでください。

- | | | |
|----------|------------|-----------|
| 1. 通勤・通学 | 2. 仕事 | 3. 買い物 |
| 4. 通院 | 5. 旅行・レジャー | 6. その他() |

※質問 11-1 で都城志布志道路を利用したことがある方へお尋ねします。

質問 11-3 主に乗り降りするインターチェンジを2つ教えてください。

- | | | | | | | |
|-------|-------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 1. 乙房 | 2. 横市 | 3. 平塚 | 4. 五十町 | 5. 今町 | 6. 梅北 | 7. 金御岳 |
| 8. 末吉 | 9. 松山 | 10. 有明北 | 11. 伊崎田 | 12. 有明東 | 13. 志布志 | |

12 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用について

質問 12 あなたが市の情報（消防・防災含む）を収集するとき、利用しているSNSはどれですか。
（当てはまるもの全てに○）

- | | | |
|----------------------|-----------------------|-------------------|
| 1. Facebook（フェイスブック） | 2. Instagram（インスタグラム） | 3. Twitter（ツイッター） |
| 4. YouTube（ユーチューブ） | 5. LINE（ライン） | 6. 利用しない |

13 Web口座振替について

質問 13 銀行窓口へ出向かなくてもパソコンやスマートフォンなどでインターネットを利用して市税などの口座振替の申込ができる「Webによる口座振替受付サービス」を知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

14 市の対外的PRについて

質問 14 今後、市が対外的PRを推進する上で、どのようなものが効果的だと思いますか。
（当てはまるもの全てに○）

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. テレビやラジオなどのメディアでのPR | 2. インターネットやホームページ、SNSの活用 |
| 3. チラシ・新聞・雑誌への掲載 | 4. 市外でのイベント開催 |
| 5. 市外での看板などの設置 | 6. PRグッズの作成、販売 |
| 7. 航空機・電車などの公共交通機関を活用したPR | 8. 自動車でのご当地ナンバー（「都城」ナンバー）の導入 |

15 スポーツについて

質問 15 あなたは、健康や楽しみなどのために、運動・スポーツ（体操やウォーキングなどを含む）を行っていますか。

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 1. 週に3日以上 | 2. 週に1～2日程度 | 3. 月に1～3日程度 |
| 4. 3カ月に1～2日程度 | 5. 年に1～3日程度 | 6. 全くしていない |

16 健康づくりについて

質問 16-1 体重のコントロール（適正標準体重の維持や減量）をしていますか。

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

質問 16-2 昨年度に市が実施したがん検診を受けましたか。（当てはまるもの全てに○）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 肺がん検診 | 2. 大腸がん検診 | 3. 胃がん検診 |
| 4. 子宮がん検診 | 5. 乳がん検診 | 6. 受けていない |

※質問 16-2 で「6.受けていない」を選んだ方へお尋ねします。

質問 16-3 受けられなかった理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- | | | |
|------------------|----------------|-------------|
| 1. 必要性を感じない | 2. 検査に伴う苦痛がある | 3. 内容を知らない |
| 4. どこで受けてよいか知らない | 5. 検診にかかる費用が高い | 6. 受ける時間がない |
| 7. 職場でがん検診を受けている | 8. 対象となる検診がない | 9. その他() |

17 心の健康について

質問 17-1 自殺で亡くなった人は、うつ病の人が多いと言われています。憂うつ、気分が重い、好きなこともやりたくないなどの「うつ病のサイン」を知っていますか。

- | | | |
|------------|-------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 少しは知っている | 3. 知らない |
|------------|-------------|---------|

質問 17-2 こころの悩みの相談先として知っている窓口はどこですか。(当てはまるもの全てに○)

- | | | |
|----------------|--------------|-------------|
| 1. 精神科・心療内科病院 | 2. 1 以外の医療機関 | 3. 保健所 |
| 4. 県精神保健福祉センター | 5. 市役所 | 6. こころの電話相談 |
| 7. 自殺防止電話相談 | 8. 知らない | 9. その他() |

18 福祉の充実について

質問 18-1 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまちだと思いますか。

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. まあ、そう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

質問 18-2 障がい者が社会に参加して安心して暮らせるまちだと思いますか。

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. まあ、そう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

19 社会保障について

質問 19 地域包括支援センターを知っていますか。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. どういうところか知っている | 2. 名前は知っているが、どういう所か知らない |
| 3. 知らない | |

20 子育てについて

質問 20 子育てしやすい、又は子育てにやさしいまちだと思いますか。

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. まあ、そう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 5. わからない |

2 1 都城教育の日について

質問 21 市では、一人一人が学びについて考え、教育への理解と関心を高める原点の日として、毎年2月18日を「都城教育の日」に制定していることを知っていますか。

- 1.知っている 2.知らない

2 2 家庭の日について

質問 22-1 宮崎県では青少年の健全な育成に関し、家庭の果たす役割についての理解を深めるため、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めていること知っていますか。

- 1.知っている 2.知らない

※質問 22-1 で「1.知っている」を選んだ方へお尋ねします。

質問 22-2 「家庭の日」を知ったきっかけを教えてください。(当てはまるもの全てに○)

- 1.市からの広報 2.掲示物(ポスター・チラシ・旗など)
3.学校からの配布物 4.市内文化施設の無料開放
5.家族・知人・友人から聞いた 6.その他()

※質問 22-1 で「1.知っている」を選んだ方へお尋ねします。

質問 22-3 「家庭の日」にはどのような取り組みをしていますか。(当てはまるもの全てに○)

- 1.地域行事に参加するなど家族一緒に遊んでいる 2.最近の出来事などを家族で話し合っている
3.家族一緒に楽しく語らいながら食事をしている 4.家族でスポーツや野外活動に参加している
5.地域の奉仕作業に家族そろって参加している 6.特に何もしていない
7.その他()

2 3 市議会活動について

質問 23-1 市議会について詳しく知りたい内容は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- 1.議会での審議の経過と結果 2.議会の役割や仕組みの解説 3.議会の普段の活動状況
4.視察の内容や成果 5.その他()

質問 23-2 市議会活動に求めるものは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- 1.市民との積極的な対話 2.市民の願いをかなえるための政策提案
3.議会改革 4.行政に対する厳しいチェック機能
5.その他()

24 市政に関するご意見・ご要望について

市政に関するご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください。

アンケートにご回答いただいた方のうち希望された方には、抽選で10名様に地場産品をプレゼントいたします。

プレゼントの抽選を希望される方は、次の項目に氏名・住所・電話番号をご記入ください。
なお、当選の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

【プレゼント応募希望者】

氏名	住所	電話番号

※プレゼントの応募を希望されない方は、氏名・住所・電話番号のご記入は不要です。



以上で、アンケートは終了です。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

【問い合わせ先】

〒885-8555

都城市姫城町6街区21号

都城市役所 秘書広報課 広聴担当

直通電話 0986-23-3174

新
域



幸せ上々、みやこのじょう

日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統